

道志村総合計画・総合戦略 検証アンケート調査報告書

令和4年3月



公益財団法人 山梨総合研究所

目次

調査概要	1
F1：性別 (SA)	2
F2：年齢 (SA)	2
F3：居住地区 (SA)	2
F4：道志村に住んでいる通算年数 (SA)	3
F5：家族構成 (SA)	4
F6：主な職業 (SA)	5
F7(1)：通勤・通学 (SA)	6
F7(2)：主な勤務地または通学地 (SA)	7
F8：日用品の主な買物先 (SA)	9
問1：道志村を住みやすいところだと思うか (SA)	11
問2：「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と思う主な理由 (MA)	12
問3：これからも道志村に住み続けたいと思うか (SA)	14
問4：道志村の施策についての評価 (SA)	15
問5：理想とする道志村の人口 (SA)	20
問6：今後、村が行政改革に取り組み、行政運営をしていくためどのような方向で考えていくべきと思うか (SA)	22
問7：今後、どんな村を目指すべきか (SA)	24
問8：今後、道志村と他の市町村との関係についてどうあるべきだと考えるか (SA)	25
問9：道志村にとって今後取り組むべき最も重要な施策 (MA)	27
問10：身近な生活環境の中で特に整備が必要だと考える施設 (MA)	30
問11：地震、水害など大規模災害時の備えとして必要だと感じること (MA)	32
問12：村の産業振興のため、取り組むべきことはどのようなことだと考えるか (MA)	35
問13：村の観光産業の活性化を図るため、重要だと考える取り組み (MA)	37
問14：横浜市との関係をよりよいものにしていくためには、村はどのような取り組みを進めるべきだと思うか (MA)	40
問15：高齢社会を踏まえ、保健・医療・福祉分野に関して、不安や不満に感じること (MA)	43
問16：少子化の現状を踏まえ、若い世代が充実した生活を送り、安心して子どもを産み育てたいと思える社会にするために何が必要だと考えるか (MA)	46
問17：学校教育、生涯学習活動や芸術文化活動、スポーツ活動等に関して、もっと取り組んでほしいこと (MA)	49
問18：結婚しているか (SA)	52
問19：今後結婚したいと思うか (SA)	53
問20：理想的な子どもの数 (SA)	54
問21：道志村で子どもを多く生み、育ててもらうために、必要だと思う施策 (SA)	55
問22：道志村外に在住したことがあるか (SA)	57
問23：道志村に転入してきた理由 (MA)	59

問 24 (1) : 他市町村と比較した、道志村の良い点 (MA)	61
問 24 (2) : 他市町村と比較した、道志村の良くない点 (MA)	63
問 25 : 若年層をはじめ、村民の定住を促進するために、道志村として、どのようなことが特に必要だと思うか (MA)	65
問 26 : 参加してもよいと考える公共的な活動 (MA)	68
問 27 : 情報を入手する手段 (SA)	70
問 28 : 時間があれば今以上に積極的に取り組みたいこと (SA)	72
問 29 (1) : 道志村がこれまで実施してきた新型コロナウイルス感染症対策の主な事業をあなたはどうか評価するか (SA)	75
問 29 (2) : 新型コロナウイルス感染症対策で、今後実施したほうがよいと思う対策があれば記入してください (FA)	76
問 30 : 道志村の将来像、未来の道志村の村づくりについての考えや、意見を自由記述してください (FA)	79

調査概要

① 調査の目的

「道志村総合計画」および「道志村人口ビジョン」の実現に向けた「道志村総合戦略」の推進状況の検証のほか、今後の計画推進のための資料とするため、広く村民の意見を聞くことを目的とする。

② 調査時期

アンケート期間：令和4年2月1日（火）～2月15日（火）＝2021年度

③ 調査対象

- 道志村に在住する18歳以上の村民から無作為抽出
- 調査対象者数：1,000人

④ 調査方法

郵送による配布・回収

⑤ 回収結果

- ・回収数 471件
- ・うち有効回収数 470件
- ・有効回収率 47.0%

⑥ 本報告書中の記号、調査結果の数値等について

(S A) …… 単一回答 (Single Answer) の略。選択回答は1項目のみ。

(M A) …… 複数回答 (Multi Answer) の略。一部回答を限定しているものもある。
また、回答率は100%を超える場合がある。

(N A) …… 数値回答 (Numeric Answer) の略。該当する数値を記入するもの。

(F A) …… 自由回答 (Free Answer) の略。回答者の考えを自由に記入するもの。

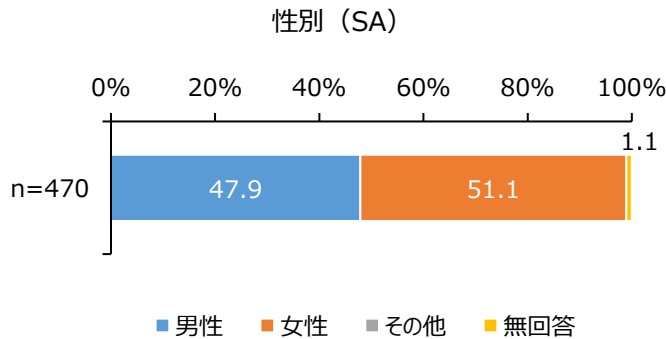
n …… 回答者数 (number) を表す。「n = 100」は、回答者数が100人ということ。

前回調査…… 現行の道志村総合計画策定の際実施した「道志村総合計画アンケート調査」
(平成27年9～10月＝2015年度、有効回収数460件、有効回収率46.0%)を示す。

回答項目の構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各項目の合計が100%にならない場合もある。

F1：性別 (SA)

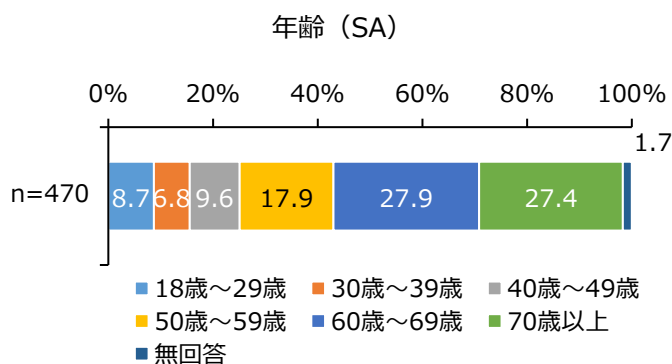
回答者の内訳を性別で見ると、「男性」が47.9%、「女性」が51.1%となっている。



	n	%
男性	225	47.9
女性	240	51.1
その他	0	0.0
無回答	5	1.1
	470	100.0

F2：年齢 (SA)

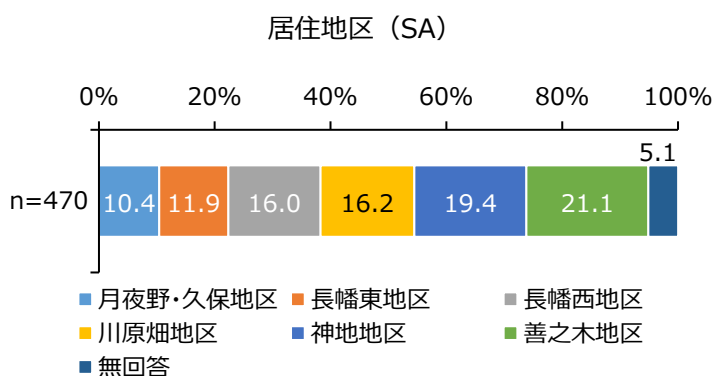
回答者の内訳を年齢別で見ると、「60歳～69歳」が27.9%で最も多く、以下、「70歳以上」が27.4%、「50歳～59歳」が17.9%と続いている。



	n	%
18歳～29歳	41	8.7
30歳～39歳	32	6.8
40歳～49歳	45	9.6
50歳～59歳	84	17.9
60歳～69歳	131	27.9
70歳以上	129	27.4
無回答	8	1.7
	470	100.0

F3：居住地区 (SA)

回答者の内訳を居住地区別で見ると、「善之木地区」が21.1%で最も多く、以下、「神地地区」が19.4%、「川原畑地区」が16.2%と続いている。

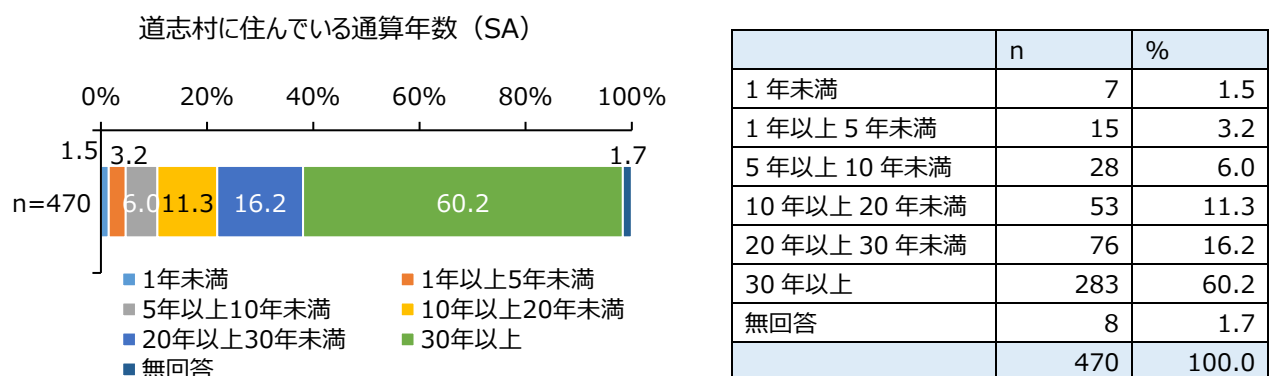


	n	%
月夜野・久保地区	49	10.4
長幡東地区	56	11.9
長幡西地区	75	16.0
川原畑地区	76	16.2
神地地区	91	19.4
善之木地区	99	21.1
無回答	24	5.1
	470	100.0

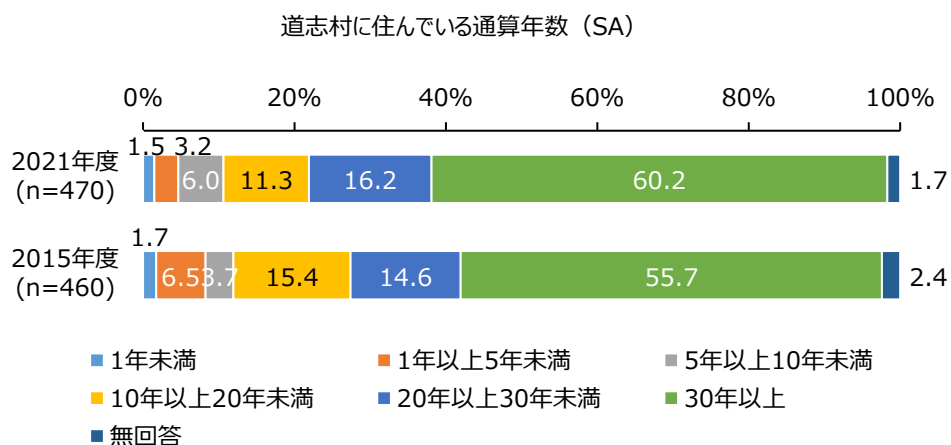
F4：道志村に住んでいる通算年数（SA）

回答者の内訳を道志村に住んでいる通算年数別で見ると、「30年以上」が60.2%を占めて最も多く、以下、「20年以上30年未満」が16.2%、「10年以上20年未満」が11.3%と続いている。

前回調査（調査概要参照）と比べて、「30年以上」が55.7%から4.5ポイント、「20年以上30年未満」が14.6%から1.6ポイント、「5年以上10年未満」が3.7%から2.3ポイントそれぞれ増えており、回答者の居住年数は伸びている。



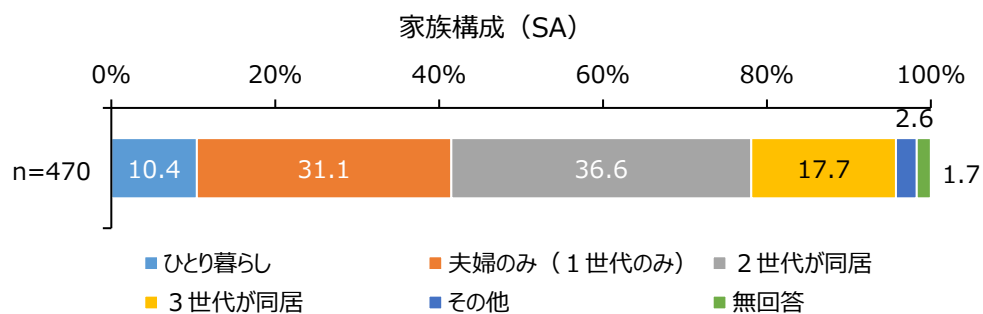
【前回比較】



F5：家族構成（SA）

回答者の内訳を家族構成別で見ると、「2世代が同居」が36.6%で最も多く、以下、「夫婦のみ（1世代のみ）」が31.1%、「3世代が同居」が17.7%、「ひとり暮らし」が10.4%と続いている。

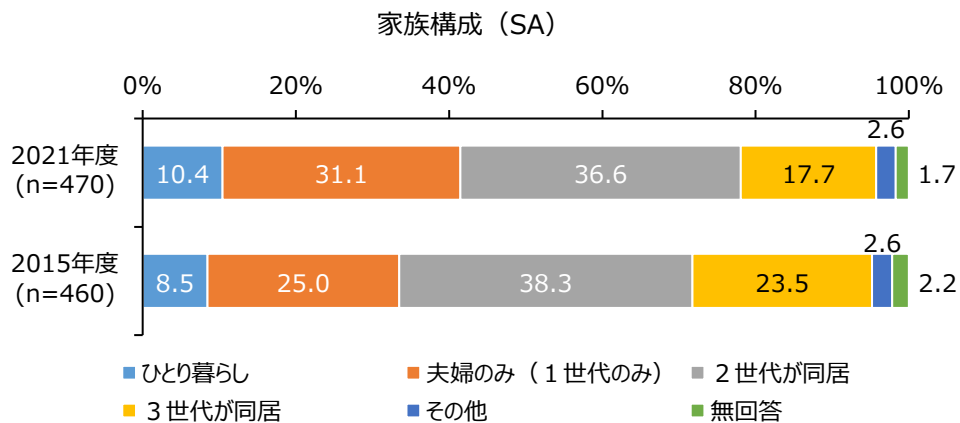
前回調査と比べて、順位は変わらないが、「2世代が同居」は38.3%から1.7ポイント減、「夫婦のみ（1世代のみ）」は25.0%から6.1ポイント増、「3世代が同居」は23.5%から5.8ポイント減、「ひとり暮らし」は8.5%から1.9ポイント増と、「夫婦のみ（1世代のみ）」「ひとり暮らし」の割合が増加傾向にあり、「ひとり暮らし」は二けたとなった。



	n	%
ひとり暮らし	49	10.4
夫婦のみ（1世代のみ）	146	31.1
2世代が同居	172	36.6
3世代が同居	83	17.7
その他	12	2.6
無回答	8	1.7
	470	100.0

その他	n
3人暮らし	1
同居人有り	1
無回答	10
計	12

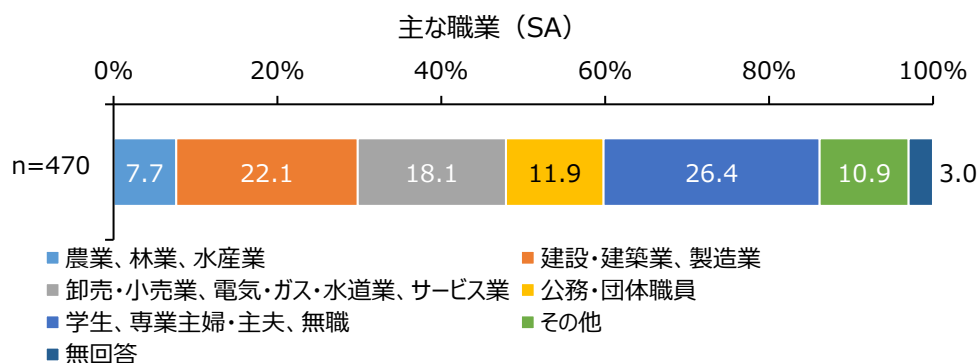
【前回比較】



F6：主な職業（SA）

回答者の内訳を主な職業別でみると、「学生、専業主婦・主夫、無職」が26.4%で最も多く、次いで「建設・建築業、製造業」が22.1%、「卸売・小売業、電気・ガス・水道業、サービス業」が18.1%と続いている。

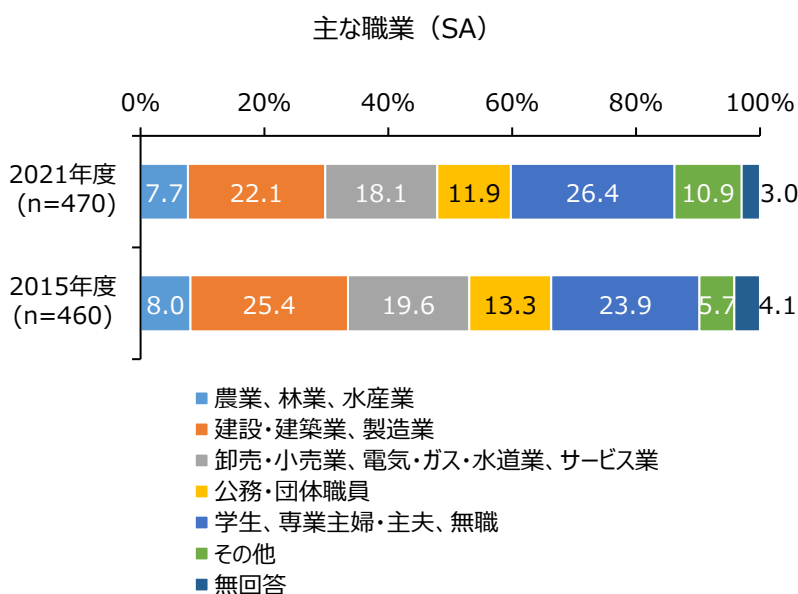
前回調査と比べると、最も多かった「建設・建築業、製造業」は25.4%から3.3ポイント減り、2番目に多かった「学生、専業主婦・主夫、無職」が23.9%から2.5ポイント増えてトップに入れ替わった。



職業	n	%
農業、林業、水産業	36	7.7
建設・建築業、製造業	104	22.1
卸売・小売業、電気・ガス・水道業、サービス業	85	18.1
公務・団体職員	56	11.9
学生、専業主婦・主夫、無職	124	26.4
その他	51	10.9
無回答	14	3.0
	470	100.0

その他	n
保険・営業職	1
福祉関係	1
自営	1
事務	1
契約社員	1
介護職員	1
介護職	1
介護	1
音響業	2
医療	1
パート（バイト）	1
パート	3
クラフト作家その他	1
無回答	35
計	51

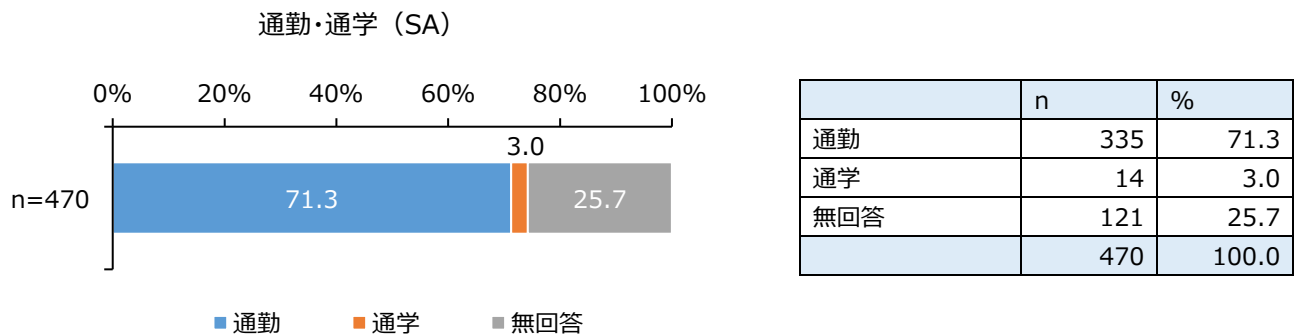
【前回比較】



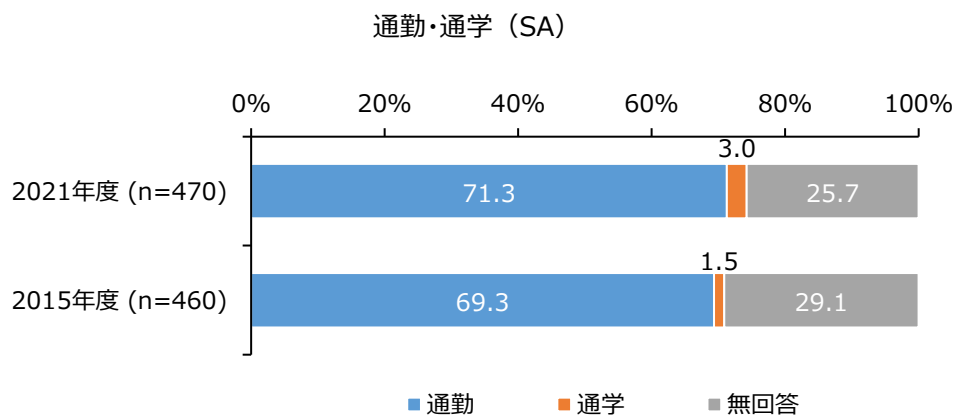
F7(1)：通勤・通学（SA）

回答者の内訳を通勤、通学の別で見ると、「通勤」が 71.3%を占め、「通学」は 3.0%にとどまっている。

前回調査と比べると、「通勤」が 69.3%から 2.0 ポイント、「通学」も 1.5%から 1.5 ポイント増加し、「通学」は倍増している。



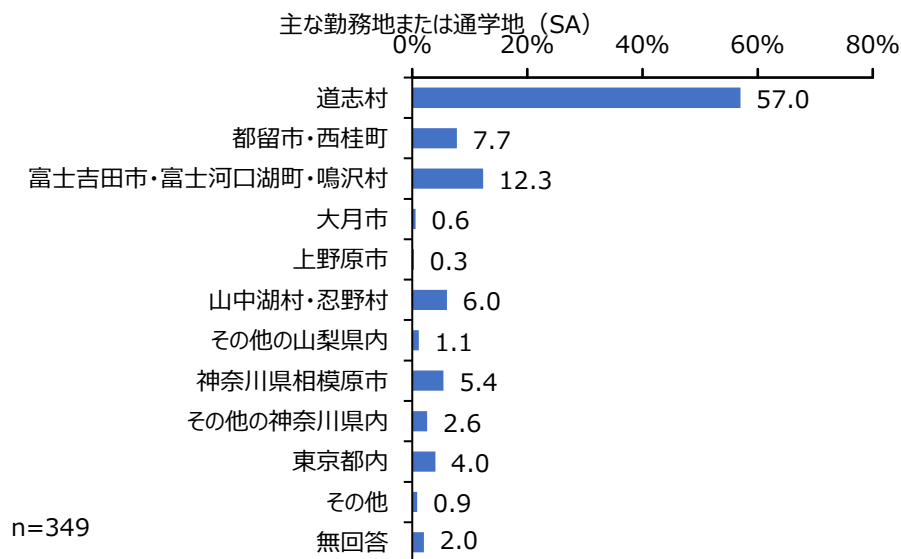
【前回比較】



F7(2)：主な勤務地または通学地（SA）

回答者の内訳を通勤地・通学地別で見ると、「道志村」が57.0%（前回54.6%）と2.4ポイント増えて6割に迫り、前回3位だった「富士吉田市・富士河口湖町・鳴沢村」が12.3%（同9.5%）と2.8ポイント増えて2位に、前回2位だった「都留市・西桂町」が7.7%（同11.0%）と3.3ポイント減少して3位となった。

なお、県外関係では、「神奈川県相模原市」が前回の4.9%から5.4%へ0.5ポイント、「東京都内」が3.1%から4.0%へ0.9ポイントそれぞれ増加している。



※F7(1)で「通勤・通学している」と回答した方

	n	%
道志村	199	57.0
都留市・西桂町	27	7.7
富士吉田市・富士河口湖町・鳴沢村	43	12.3
大月市	2	0.6
上野原市	1	0.3
山中湖村・忍野村	21	6.0
その他の山梨県内	4	1.1
神奈川県相模原市	19	5.4
その他の神奈川県内	9	2.6
東京都内	14	4.0
その他	3	0.9
無回答	7	2.0
	349	100.0

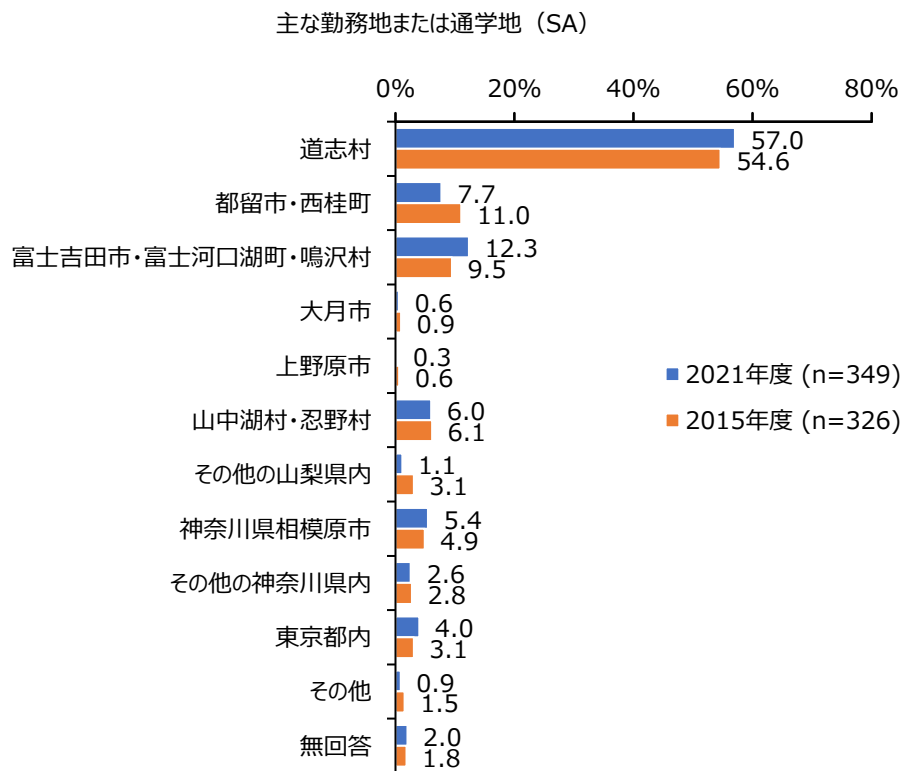
その他の山梨県内	n
甲府市	2
甲州市	1
無回答	1
計	4

その他の神奈川県内	n
箱根・小田原	1
厚木市	1
海老名市	1
横浜市	1
愛川町	1
無回答	4
計	9

東京都内	n
世田谷区	2
八王子市	1
町田市	1
小平市	1
小金井市	1
あきる野市	1
無回答	7
計	14

その他	n
静岡市	1
静岡県	1
埼玉県	1
計	3

【前回比較】

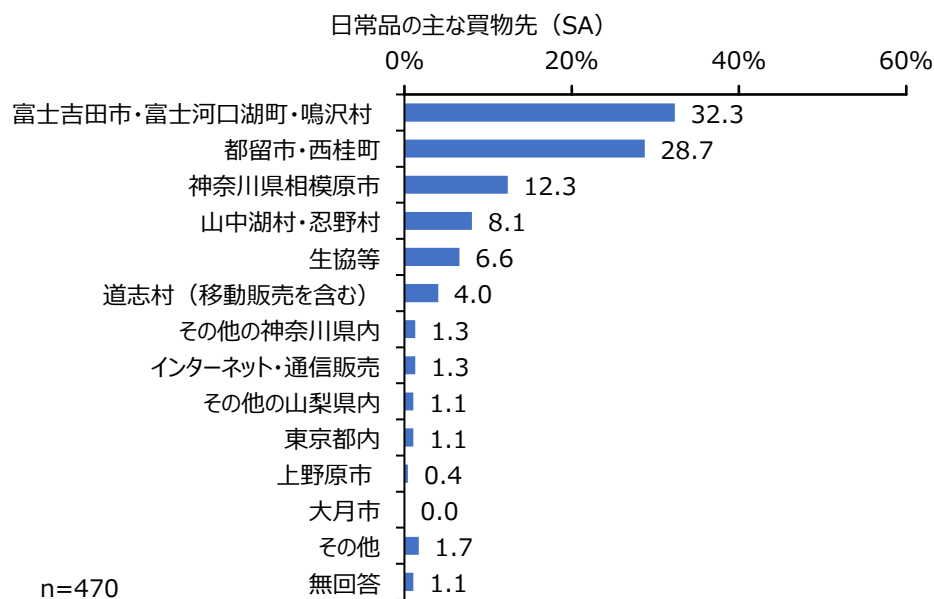


F8：日用品の主な買物先（SA）

回答者の内訳を日用品の主な買物先別でみると、「富士吉田市・富士河口湖町・鳴沢村」が32.3%で最も多く、「都留市・西桂町」が28.7%、「神奈川県相模原市」が12.3%と続いている。

前回調査と比較すると、「富士吉田市・富士河口湖町・鳴沢村」が40.2%から7.9ポイント減少、「都留市・西桂町」が24.8%から3.9ポイント増加、「神奈川県相模原市」が11.1%から1.2ポイントの微増、「山中湖村・忍野村」が6.5%から1.6ポイントの微増となった。

このほか、「生協等」が3.9%から2.7ポイント増加、「道志村（移動販売を含む）」も3.0%から1.0ポイントの微増となった。



	n	%
富士吉田市・富士河口湖町・鳴沢村	152	32.3
都留市・西桂町	135	28.7
神奈川県相模原市	58	12.3
山中湖村・忍野村	38	8.1
生協等	31	6.6
道志村（移動販売を含む）	19	4.0
その他の神奈川県内	6	1.3
インターネット・通信販売	6	1.3
その他の山梨県内	5	1.1
東京都内	5	1.1
上野原市	2	0.4
大月市	0	0.0
その他	8	1.7
無回答	5	1.1
	470	100.0

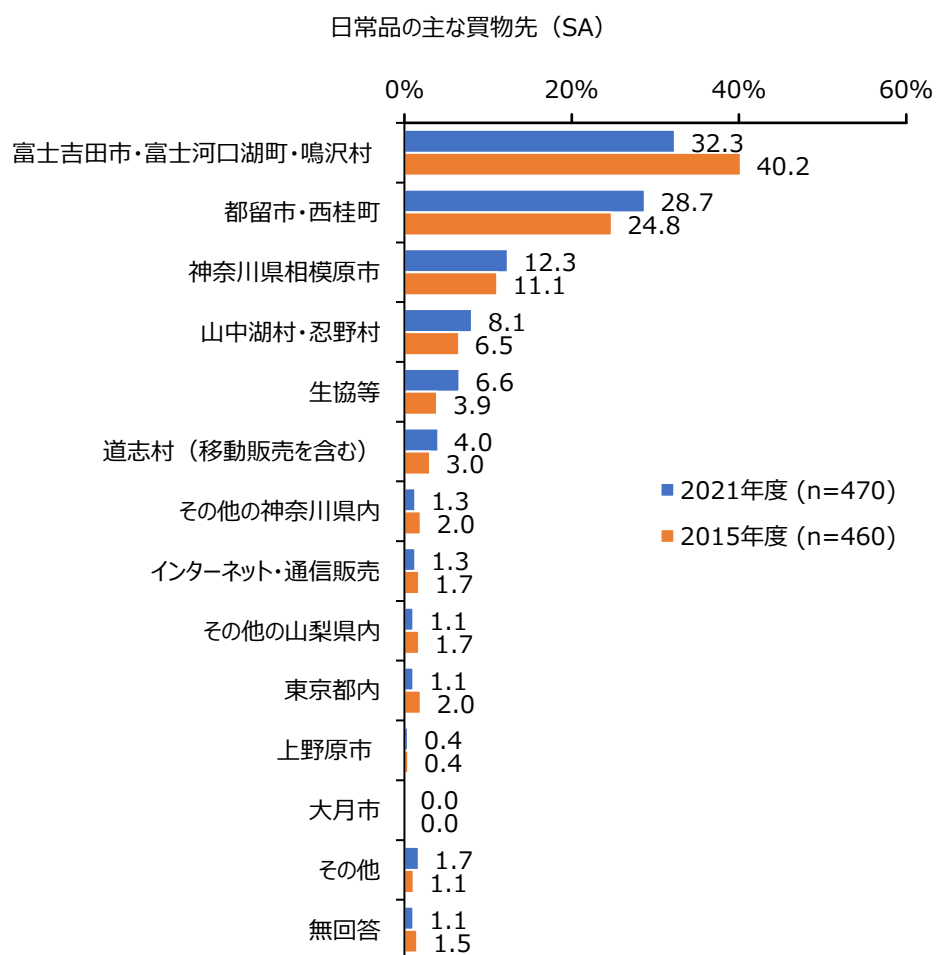
その他の山梨県内	n
甲府市	1
甲州市	1
無回答	3
計	5

その他の神奈川県内	n
橋本市	2
愛川町	1
無回答	3
計	6

東京都内	n
世田谷区	1
無回答	4
計	5

その他	n
静岡県御殿場市	4
いろいろです	1
無回答	3
計	8

【前回比較】

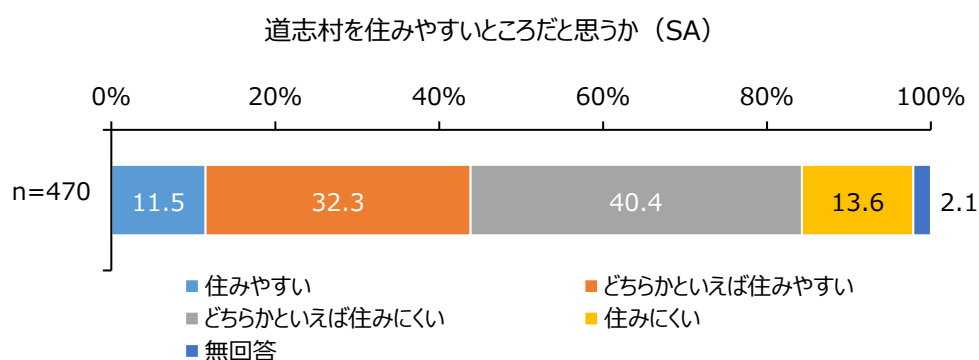


問1：道志村を住みやすいところだと思うか（SA）

道志村の住みやすさについては、「どちらかといえば住みにくい」が40.4%で最も多く、「どちらかといえば住みやすい」が32.3%、「住みにくい」13.6%と続いている。

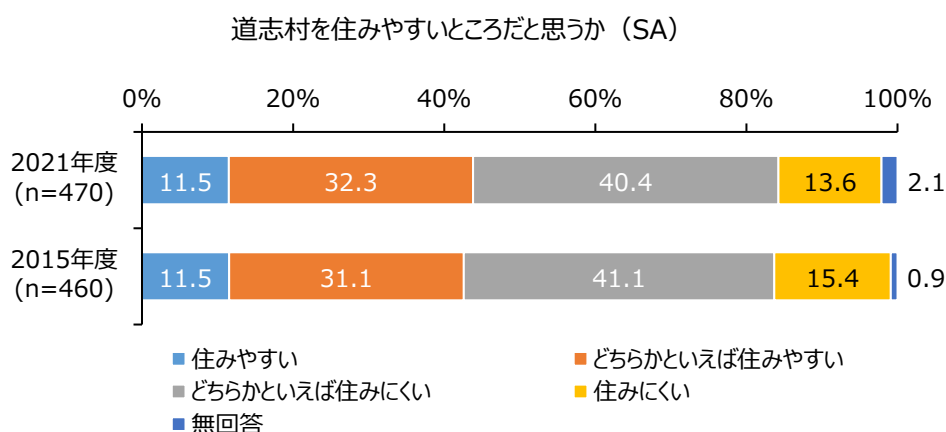
「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた「住みやすい派」は43.8%で、前回調査の42.6%から1.2ポイント増加する一方で、「住みにくい」と「どちらかというに住みにくい」を合わせた「住みにくい派」は54.0%で前回調査の56.5%から2.5ポイント減少している。「住みにくい派」と「住みやすい派」の差は若干縮まっているものの、「住みにくい派」が過半数を占めていることは変わらない。

年齢別にみると、「70歳以上」のみ「住みやすい派」（61.3%）が「住みにくい派」（34.9%）の1.76倍と、「住みやすい派」が「住みにくい派」を上回っているが、その他のすべての年代では「住みにくい派」が上回っている。



	n	%
住みやすい	54	11.5
どちらかといえば住みやすい	152	32.3
どちらかといえば住みにくい	190	40.4
住みにくい	64	13.6
無回答	10	2.1
	470	100.0

【前回比較】

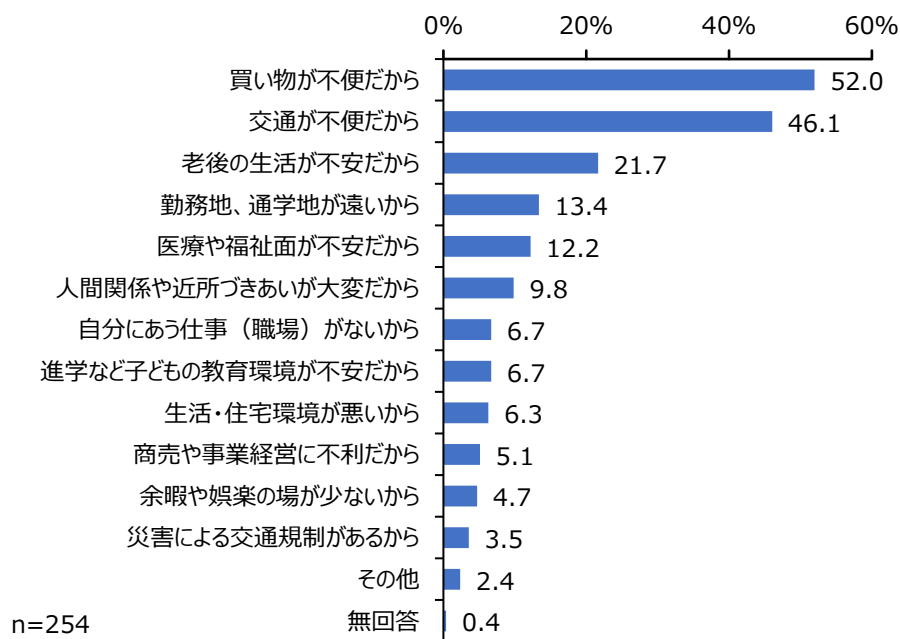


問2：「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と思う主な理由（MA）

「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と回答した方がそう思う主な理由については（2項目まで選択）、「買い物が不便だから」が52.0%（前回調査37.7%）で14.3ポイント上昇してトップになり、前回調査で最も多かった「交通が不便だから」も46.1%（同38.8%）に7.3ポイント上昇し、この二つが前回調査同様に「住みにくい」主な理由といえる。

年齢別にみると、「買い物が不便だから」「交通が不便だから」はすべての世代で1～2番目に多くなっている。また、「老後の生活が不安だから」は「50歳～59歳」以上で20～30%台の数値を示し、「勤務地、通学地が遠いから」は「18歳～29歳」で20.8%、「50歳～59歳」で22.6%の人が理由に挙げている。このほか「人間関係や近所づきあいが大変だから」は「30歳～39歳」の5人に1人（20.0%）が理由に挙げ、「進学など子どもの教育環境が不安だから」は「30歳～39歳」の4人に1人（25.0%）が挙げている。

「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と思う主な理由（MA）



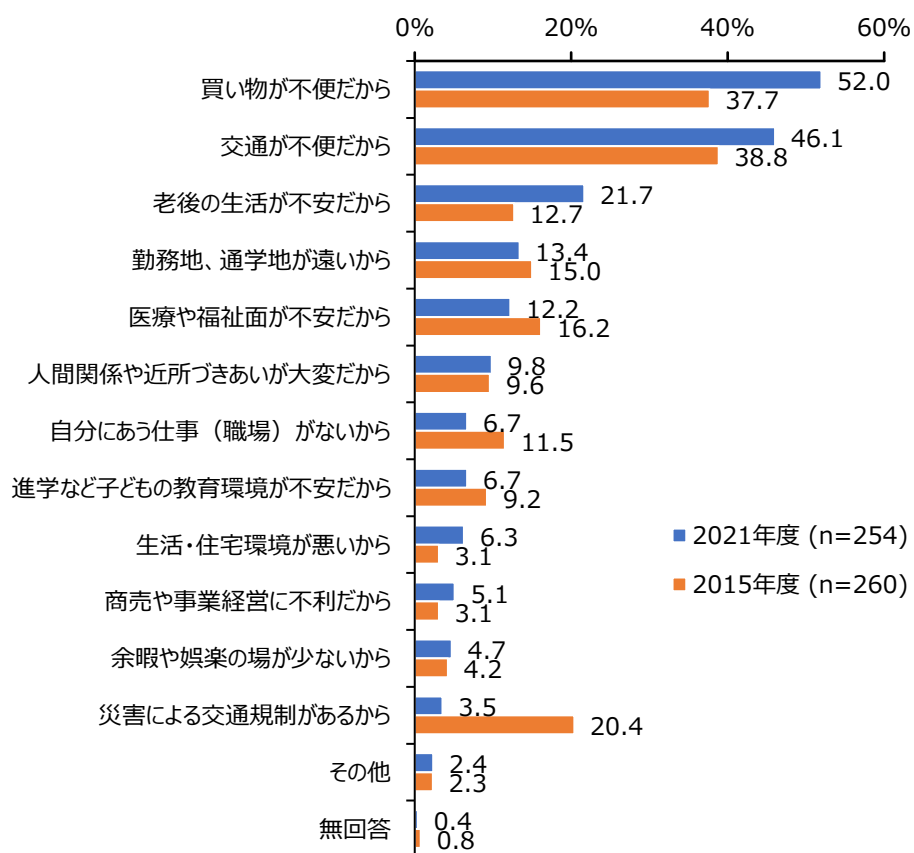
※問1で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と回答した方

	n	%
買い物が不便だから	132	52.0
交通が不便だから	117	46.1
老後の生活が不安だから	55	21.7
勤務地、通学地が遠いから	34	13.4
医療や福祉面が不安だから	31	12.2
人間関係や近所づきあいが大変だから	25	9.8
自分にあう仕事（職場）がないから	17	6.7
進学など子どもの教育環境が不安だから	17	6.7
生活・住宅環境が悪いから	16	6.3
商売や事業経営に不利だから	13	5.1
余暇や娯楽の場が少ないから	12	4.7
災害による交通規制があるから	9	3.5
その他	6	2.4
無回答	1	0.4
	254	100.0

その他	n
村の政策に期待が持てないから。	2
役場関係者（特に年輩）が職務上の情報をベラベラ話しすぎ（職務上の守秘義務違反）	1
特に高齢者の方に多い。野焼き（自宅に庭でプラゴミなどを燃やす）をやめてほしい。火災のリスクだけでなく、周囲の方々に健康上の悪影響がある。	1
若い人がいない。	1
災害がどこで起きてもおかしくない状況だから。	1
計	6

【前回比較】

「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と思う主な理由（MA）

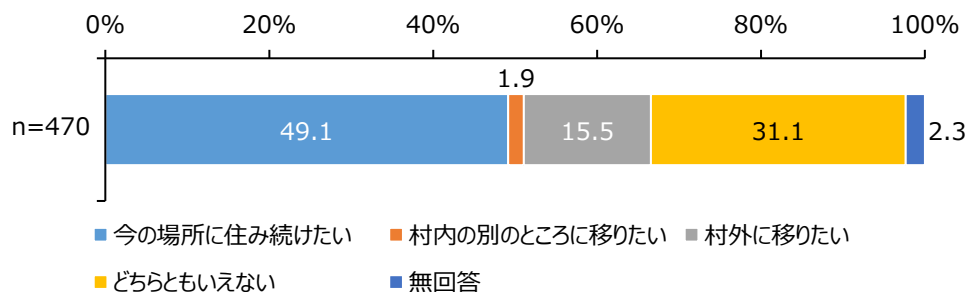


問3：これからも道志村に住み続けたいと思うか（SA）

これからも道志村に住み続けたいかという設問については、「今の場所に住み続けたい」が49.1%（前回調査49.8%）で最も多く、以下、「どちらともいえない」が31.1%（同33.9%）、「村外に移りたい」が15.5%（同13.3%）と続いている。

年齢別にみると、「60歳～69歳」以上では「今の場所に住み続けたい」が59.2%と約6割を占めているが、「50歳～59歳」以下は総じて「村外に移りたい」「どちらともいえない」が過半数を占め、移住について考え、迷っていることがうかがわれる。特に「18歳～29歳」では「村外に移りたい」（43.9%）、「どちらともいえない」（31.7%）を合わせると75.6%になり、4人に3人が村外への転出もしくは転出に迷っていることになり、若者の定住促進対策は喫緊の課題となっている。

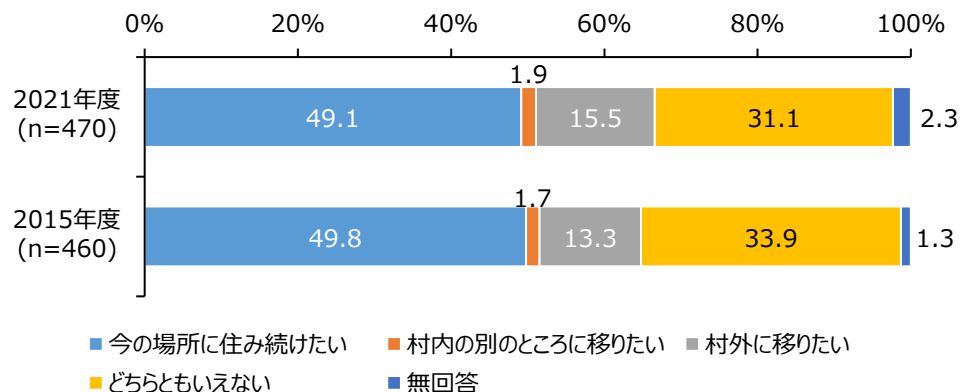
これからも道志村に住み続けたいと思うか（SA）



	n	%
今の場所に住み続けたい	231	49.1
村内の別のところに移りたい	9	1.9
村外に移りたい	73	15.5
どちらともいえない	146	31.1
無回答	11	2.3
	470	100.0

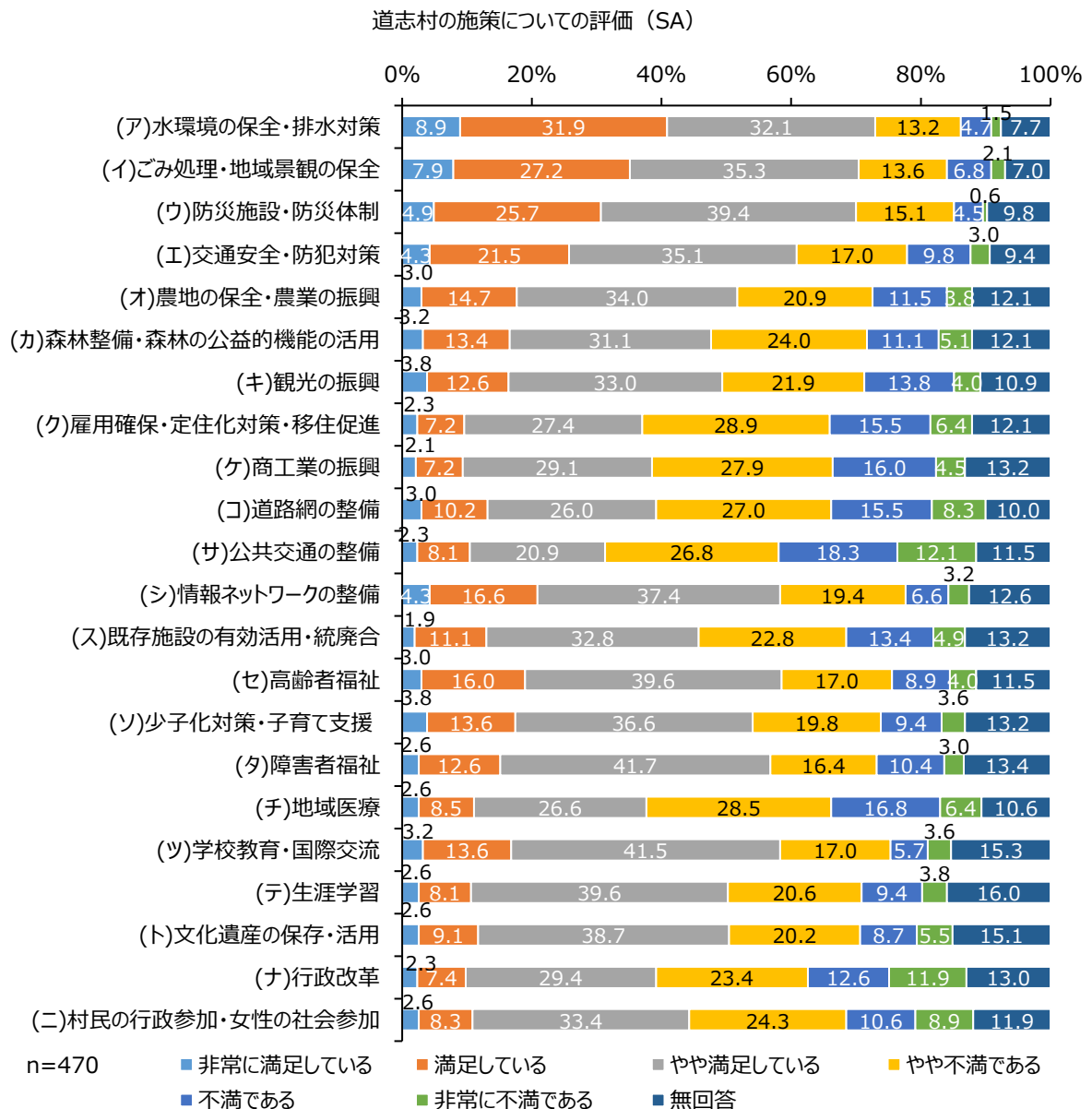
【前回比較】

これからも道志村に住み続けたいと思うか（SA）



問4：道志村の施策についての評価（SA）

道志村が実施している各種施策についての村民の評価について、「非常に満足している」「満足している」「やや満足している」の「満足傾向」の合計値をみると、「水環境の保全・排水対策」が最大の73.0%（前回調査75.2%）に達し、以下、「ごみ処理・地域景観の保全」が70.4%（同 63.5%）、「防災施設・防災体制」が70.0%（同 66.3%）、「交通安全・防犯対策」が60.9%（同 52.4%）、「高齢者福祉」が58.5%（同 57.6%）、「情報ネットワークの整備」と「学校教育・国際交流」が各々58.3%（同 65.9%、同 58.0%）と続いている。

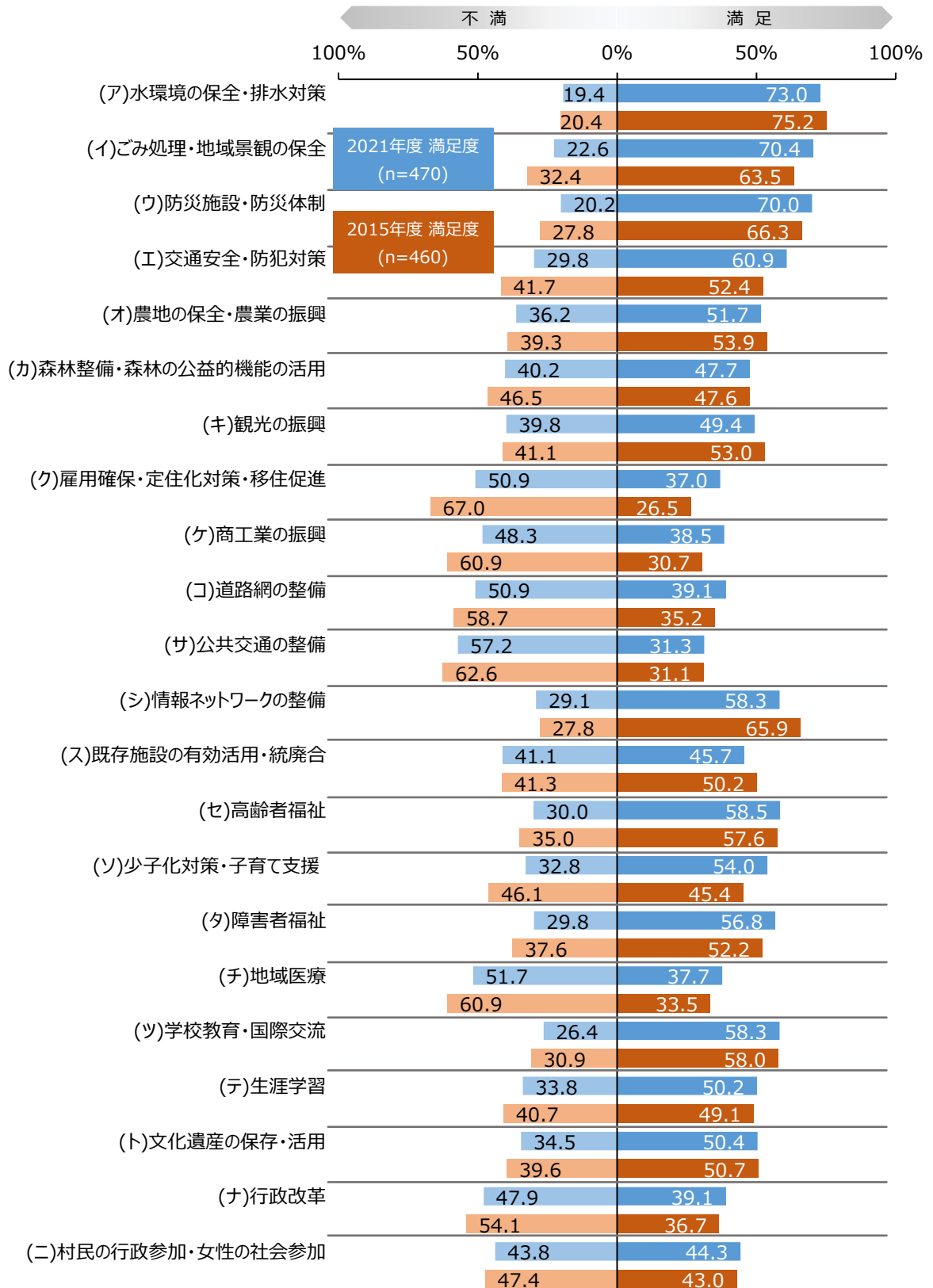


一方、「非常に不満である」「不満である」「やや不満である」の「不満傾向」の合計値をみると、「公共交通の整備」が57.2%（前回調査62.6%）と最も多く、「地域医療」が51.7%（同60.9%）、「雇用確保・定住化対策・移住促進」「道路網の整備」が各々50.9%（同67.0%、同58.7%）、「商工業の振興」が48.3%（同60.9%）、「行政改革」が47.9%（同54.1%）と続いている。

	非常に満足している	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	非常に不満である	無回答	計
(ア)水環境の保全・排水対策	42	150	151	62	22	7	36	470
(イ)ごみ処理・地域景観の保全	37	128	166	64	32	10	33	470
(ウ)防災施設・防災体制	23	121	185	71	21	3	46	470
(エ)交通安全・防犯対策	20	101	165	80	46	14	44	470
(オ)農地の保全・農業の振興	14	69	160	98	54	18	57	470
(カ)森林整備・森林の公益的機能の活用	15	63	146	113	52	24	57	470
(キ)観光の振興	18	59	155	103	65	19	51	470
(ク)雇用確保・定住化対策・移住促進	11	34	129	136	73	30	57	470
(ケ)商工業の振興	10	34	137	131	75	21	62	470
(コ)道路網の整備	14	48	122	127	73	39	47	470
(サ)公共交通の整備	11	38	98	126	86	57	54	470
(シ)情報ネットワークの整備	20	78	176	91	31	15	59	470
(ス)既存施設の有効活用・統廃合	9	52	154	107	63	23	62	470
(セ)高齢者福祉	14	75	186	80	42	19	54	470
(ソ)少子化対策・子育て支援	18	64	172	93	44	17	62	470
(タ)障害者福祉	12	59	196	77	49	14	63	470
(チ)地域医療	12	40	125	134	79	30	50	470
(ツ)学校教育・国際交流	15	64	195	80	27	17	72	470
(テ)生涯学習	12	38	186	97	44	18	75	470
(ト)文化遺産の保存・活用	12	43	182	95	41	26	71	470
(ナ)行政改革	11	35	138	110	59	56	61	470
(ニ)村民の行政参加・女性の社会参加	12	39	157	114	50	42	56	470

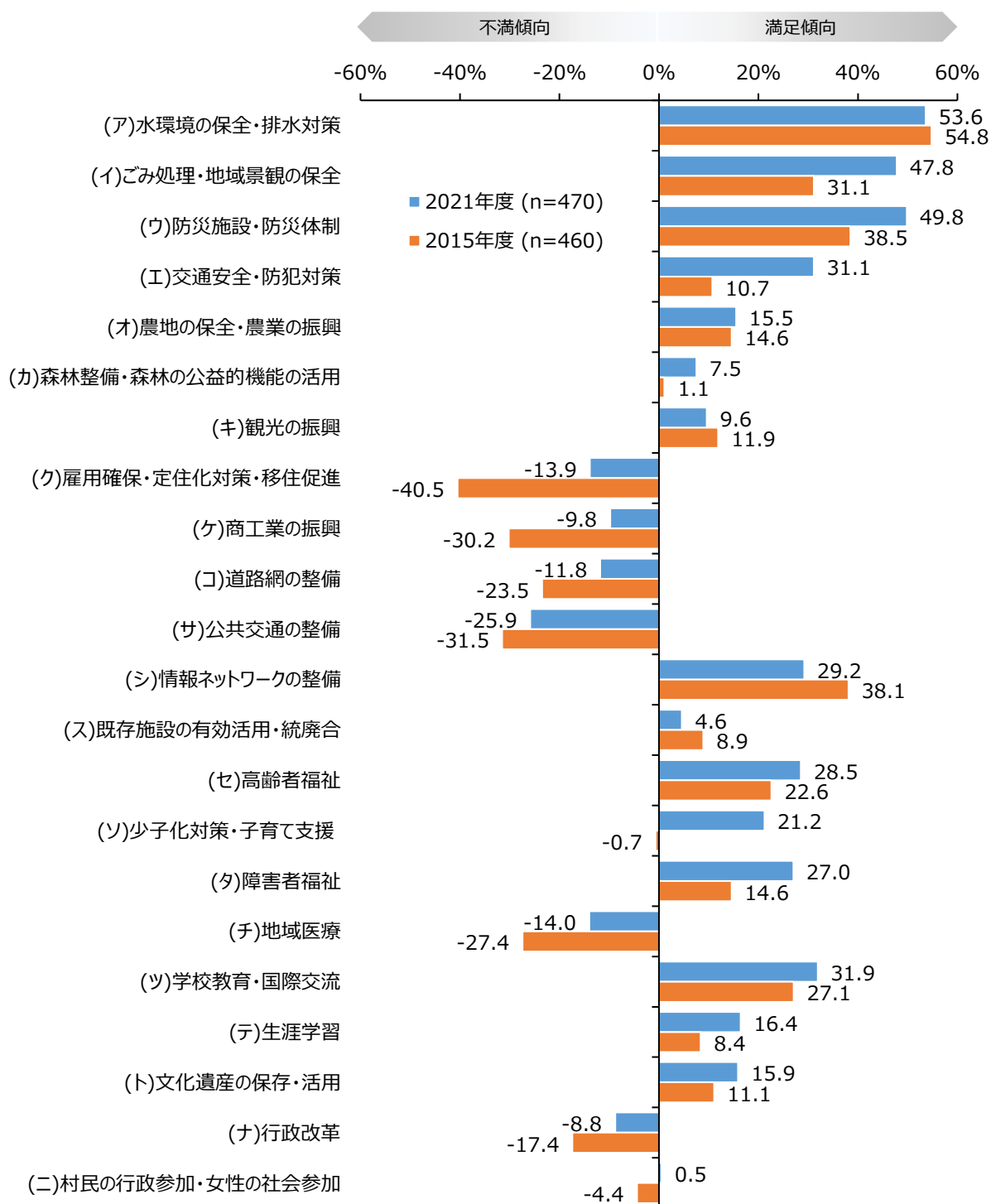
【前回比較】

道志村の施策についての評価



【前回比較】

道志村の施策についての評価（満足度）



これを「満足度」という指標（注1）でみると、全22項目中、満足度がプラスになっているのは16項目、マイナスになっているのは6項目となっており、総体的にはプラスの項目数の方が多かった。前回調査と比べると2項目でマイナス評価がプラス評価に転じた。

これをみると、「水環境の保全・排水対策」が最も高く 53.6%、次いで「防災施設・防災体制」が 49.8%と上位 2 項目は前回調査と同じ項目となっており、以下、「ごみ処理・地域景観の保全」が 47.8%、「学校教育・国際交流」が 31.9%、「交通安全・防犯対策」が 31.1%、「情報ネットワークの整備」が 29.2%と続いている。

一方、最も低いのは「公共交通の整備」で -25.9%となっており、以下、「地域医療」が -14.0%、「雇用確保・定住化対策・移住促進」が -13.9%、「道路網の整備」が -11.8%、「商工業の振興」が -9.8%、「行政改革」が -8.8%となっている。

(注 1) 満足度 = 「非常に満足している」 + 「満足している」 + 「やや満足している」

− 「やや不満である」 − 「不満である」 − 「非常に不満である」

「満足度」がプラスの場合、総体的に満足度が高く、マイナスの場合不満が高いとみることができる。

満足度を前回調査と比べてみると、満足度の向上が大きいのは、「雇用確保・定住化対策・移住促進」の 26.6 ポイント上昇であるが、水準としては「不満傾向」の方が上回る -13.9%の状態である。

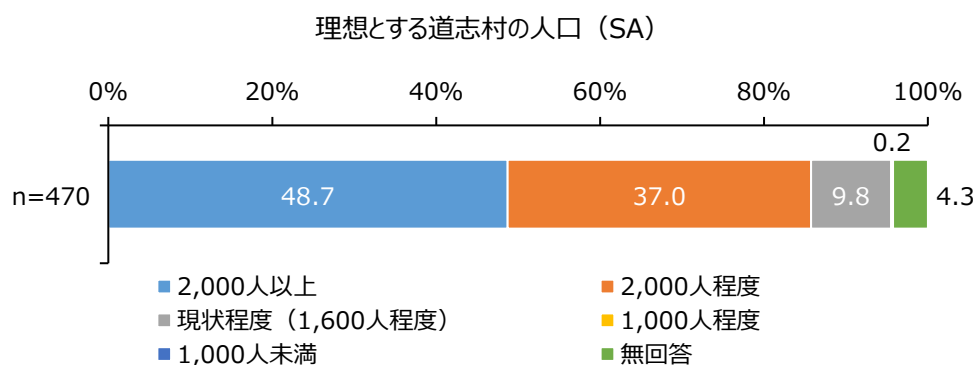
次いで上昇度が大きい項目は満足度 21.2%の「少子化対策・子育て支援」で 21.9 ポイントの上昇、満足度 31.1%の「交通安全・防犯対策」、満足度 -9.8%の「商工業の振興」で各々 20.4 ポイントの上昇となっている。

一方、満足度の低下が最も大きいのは満足度 29.2%の「情報ネットワークの整備」で 8.9 ポイントの低下となっている。

問5：理想とする道志村の人口（SA）

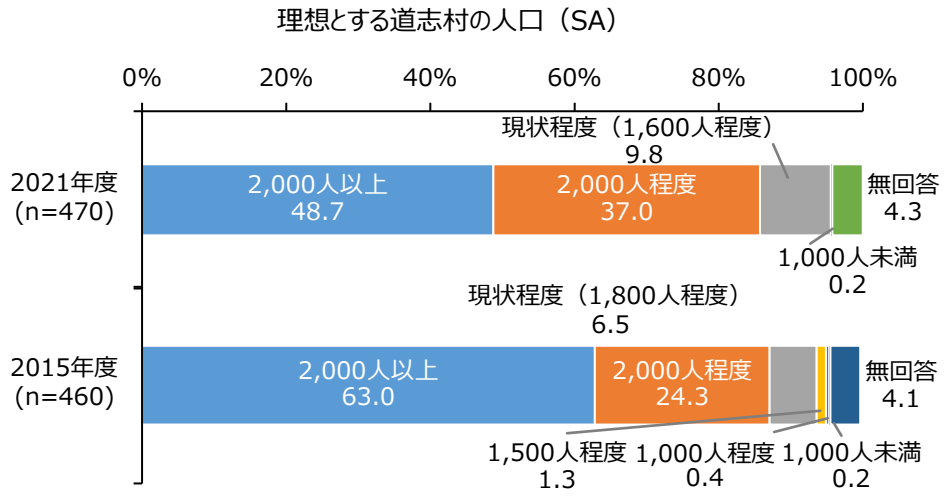
理想とする道志村の人口については、「2,000人以上」が48.7%と最も多く、以下、「2,000人程度」が37.0%、「現状程度（1,600人程度）」が9.8%と続いている。減少傾向が今後も見込まれる中で、「2,000人以上」「2,000人程度」の回答が合計8割強に上り、以前のような賑わい復活への期待がうかがえる。ただし、前回調査に比べ、「2,000人以上」は14.3ポイント低下したのに対し、「2,000人程度」は12.7ポイント増となっており、理想の人口は「2,000人程度」にシフトしつつあることがうかがえる。

なお、年齢別にみると、「現状程度（1,600人程度）」は「40歳～49歳」（11.1%）、「50歳～59歳」（13.1%）、「60歳～69歳」（10.7%）で1割を超えているものの、どの年代も「2,000人以上」または「2,000人程度」の回答率が最も高い。その中で、「30歳～39歳」は「2,000人程度」と回答した人が最多で、「40歳～49歳」も「2,000人程度」と回答した人が「2,000人以上」と並んで多かった。



	n	%
2,000人以上	229	48.7
2,000人程度	174	37.0
現状程度（1,600人程度）	46	9.8
1,000人程度	0	0.0
1,000人未満	1	0.2
無回答	20	4.3
	470	100.0

【前回調査との一部比較】

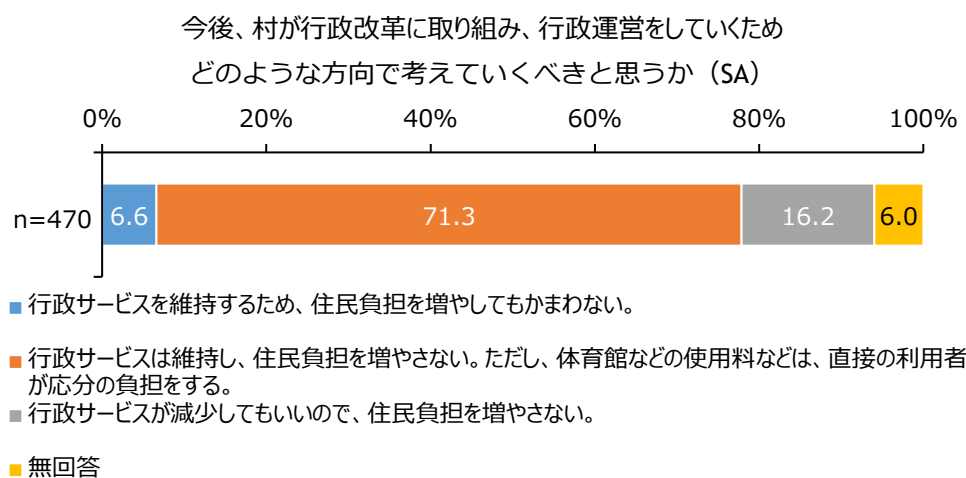


問6：今後、村が行政改革に取り組み、行政運営をしていくためどのような方向で考えていくべきと思うか（SA）

行政サービスと住民負担のあり方については、「行政サービスは維持し、住民負担を増やさない。ただし、体育館などの使用料などは、直接の利用者が応分の負担をする。」が71.3%（前回調査70.4%）と最も多く、以下、「行政サービスが減少してもいいので、住民負担を増やさない。」が16.2%（同15.4%）、「行政サービスを維持するため、住民負担を増やしてもかまわない。」が6.6%（同8.9%）の順で、ほぼ前回調査同様の数値となった。

年齢別にみると、「18歳～29歳」は「行政サービスを維持するため、住民負担を増やしてもかまわない。」を選んだ人が年代別では最も比率が高かったものの9.8%にとどまり、「行政サービスは維持し、住民負担を増やさない。ただし、体育館などの使用料などは、直接の利用者が応分の負担をする。」が68.3%、「行政サービスが減少してもいいので、住民負担を増やさない。」が17.1%に上った。

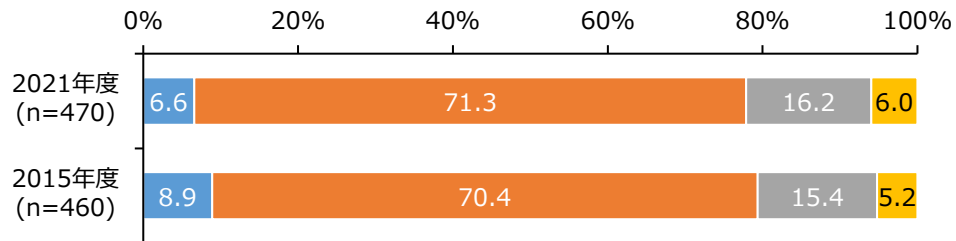
なお、「行政サービスは維持し、住民負担を増やさない。ただし、体育館などの使用料などは、直接の利用者が応分の負担をする。」の比率は高い順に、「30歳～39歳」（78.1%）、「60歳～69歳」（74.8%）、「70歳以上」（72.1%）となった。



	n	%
行政サービスを維持するため、住民負担を増やしてもかまわない。	31	6.6
行政サービスは維持し、住民負担を増やさない。ただし、体育館などの使用料などは、直接の利用者が応分の負担をする。	335	71.3
行政サービスが減少してもいいので、住民負担を増やさない。	76	16.2
無回答	28	6.0
	470	100.0

【前回比較】

今後、村が行政改革に取り組み、行政運営をしていくため
どのような方向で考えていくべきと思うか（SA）

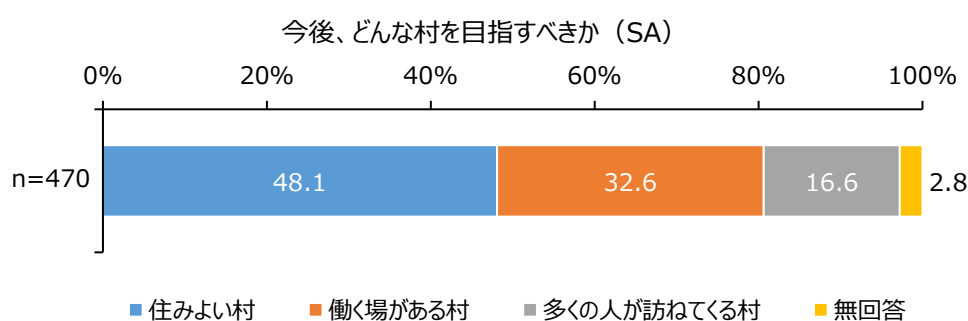


- 行政サービスを維持するため、住民負担を増やしてもかまわない。
- 行政サービスは維持し、住民負担を増やさない。ただし、体育館などの使用料などは、直接の利用者が応分の負担をする。
- 行政サービスが減少してもいいので、住民負担を増やさない。
- 無回答

問7：今後、どんな村を目指すべきか（SA）

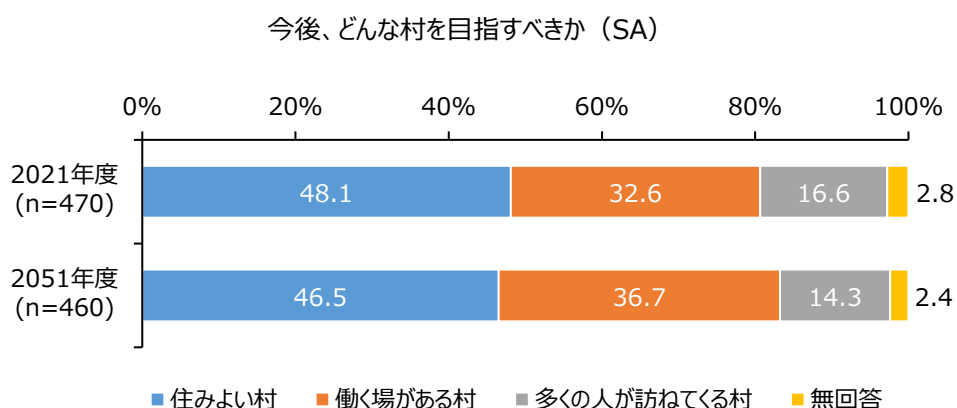
今後目指すべき村の姿としては、「住みよい村」が48.1%と最も多く、以下、「働く場がある村」が32.6%、「多くの人が訪ねてくる村」が16.6%となった。前回調査の「住みよい村」（46.5%）、「働く場がある村」（36.7%）、「多くの人が訪ねてくる村」（14.3%）と比べると数ポイントの変動はあるものの、ほぼ同様の傾向は続いている。雇用の確保（「働く場がある村」）や観光などによる交流人口の増加（「多くの人が訪ねてくる村」）を必要としつつも、そこに暮らす村民の生活環境の向上を第一に期待する姿がうかがえる。

年齢別では、大きな違いはみられないものの、「18～29歳」「60～69歳」「70歳以上」の各年代の3人に1人が「働く場がある村」を望んでいる。



	n	%
住みよい村	226	48.1
働く場がある村	153	32.6
多くの人が訪ねてくる村	78	16.6
無回答	13	2.8
	470	100.0

【前回比較】



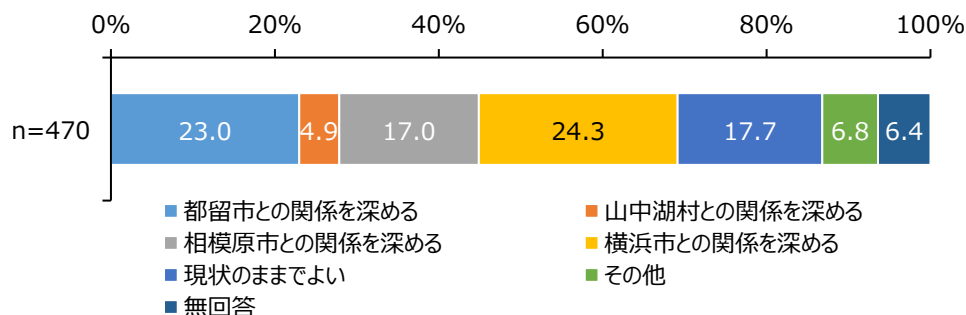
問 8：今後、道志村と他の市町村との関係についてどうあるべきだと考えるか (SA)

他の市町村との関係（連携のあり方）については、「横浜市との関係を深める」が 24.3%（前回調査 31.3%）と最も多く、以下、「都留市との関係を深める」が 23.0%（同 17.2%）、「相模原市との関係を深める」が 17.0%（同 16.3%）で、「横浜市との関係を深める」が 7.0 ポイント減り、「都留市との関係を深める」が 5.8 ポイント伸びているものの、上位 3 自治体の順位は前回調査と変動がなかった。神奈川県内自治体との連携を重視する傾向は変わらないが、隣の都留市との関係をもっと深めたいと考える村民も少なくないことがうかがえる。

なお、「現状のままでよい」の意見も 17.7%で 3 位であった。また、「その他」（6.8%）の回答の中では「特定の市町村だけではなく、いろいろな市町村との関係を深める」といった複数の自治体との関係を深めるべきという意見が一定数あった。

年齢別にみると、「横浜市との関係を深める」は高齢層で高い傾向があり、「60 歳～69 歳」では 22.9%、「70 歳以上」は 29.5%で最多となっている。「都留市との関係を深める」は「30 歳～39 歳」が 40.6%と最も高くなっている。

今後、道志村と他の市町村との関係についてどうあるべきだと考えるか（SA）

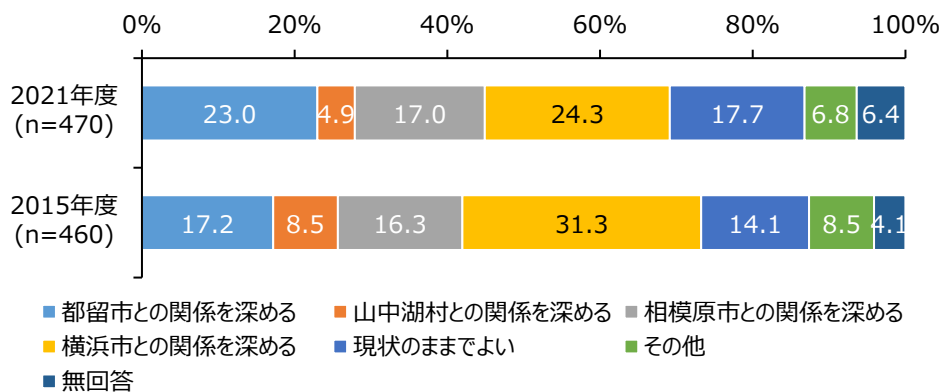


	n	%
都留市との関係を深める	108	23.0
山中湖村との関係を深める	23	4.9
相模原市との関係を深める	80	17.0
横浜市との関係を深める	114	24.3
現状のままでよい	83	17.7
その他	32	6.8
無回答	30	6.4
	470	100.0

その他	n
特定の市町村だけではなく、いろいろな市町村との関係を深める	4
今の体制ではどこの市町村とも関係を深める能力がない。	2
1つの市町村だけでなく、周辺の市町村との関係を深める	2
密な交流と交通網の充実	1
表記の自治体と東京都も含めて深める。	1
特定の市町村ではなく、関係市町村全部	1
丹波山村など、地域性が類似している村	1
村の長さを考えれば地域により違う。	1
村の活性からいえば、より多く（それぞれの利点を選んで）関係を深めるべきだ。	1
神奈川の方面に、道路をつくる。	1
山北町、R76（山北藤野線）と関係を深める。防災トンネルがここがあればと残念です。	1
近隣市町村との連携により、交通網の利便性を向上させてほしい。	1
近隣の自治会ともっと連携をとる	1
何処の市町村も近隣なので一つと決めずに関わり合いがあった方が、災害時や何が起こるか分からない事が多い時世なので、助け合い等大事ではないでしょうか。	1
横浜市民ふるさと村の促進と国道413号沿道市町村との交流	1
横浜市及び近隣の市町村との連携を深める	1
わからない	3
無回答	8
計	32

【前回比較】

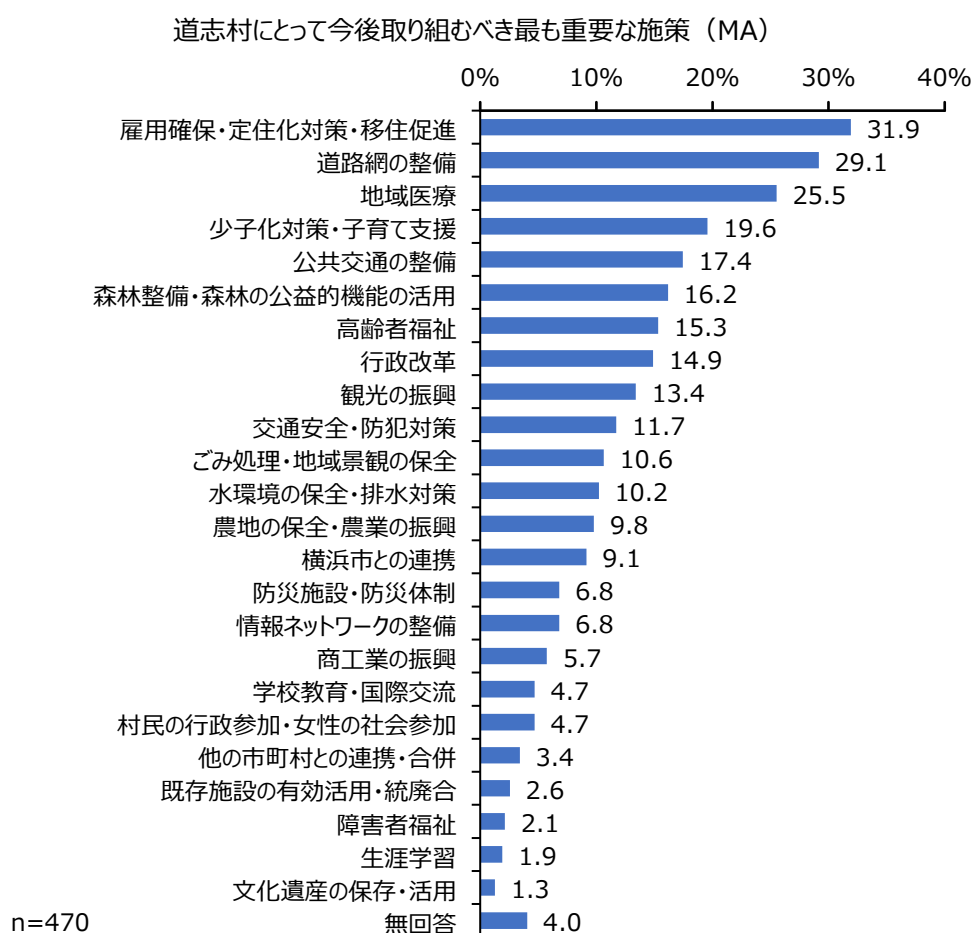
今後、道志村と他の市町村との関係についてどうあるべきだと考えるか（SA）



問9：道志村にとって今後取り組むべき最も重要な施策（MA）

道志村にとって今後取り組むべき最も重要な施策は（3項目まで選択）、「雇用確保・定住化対策・移住促進」が31.9%（前回調査40.2%）で最も多く、「道路網の整備」が29.1%（同34.1%）と続き、上位2位は変わらない。前回5位だった「地域医療」が25.5%（同17.8%）と伸び3位となり、4位に前回3位だった「少子化対策・子育て支援」が19.6%（同28.5%）で続いている。

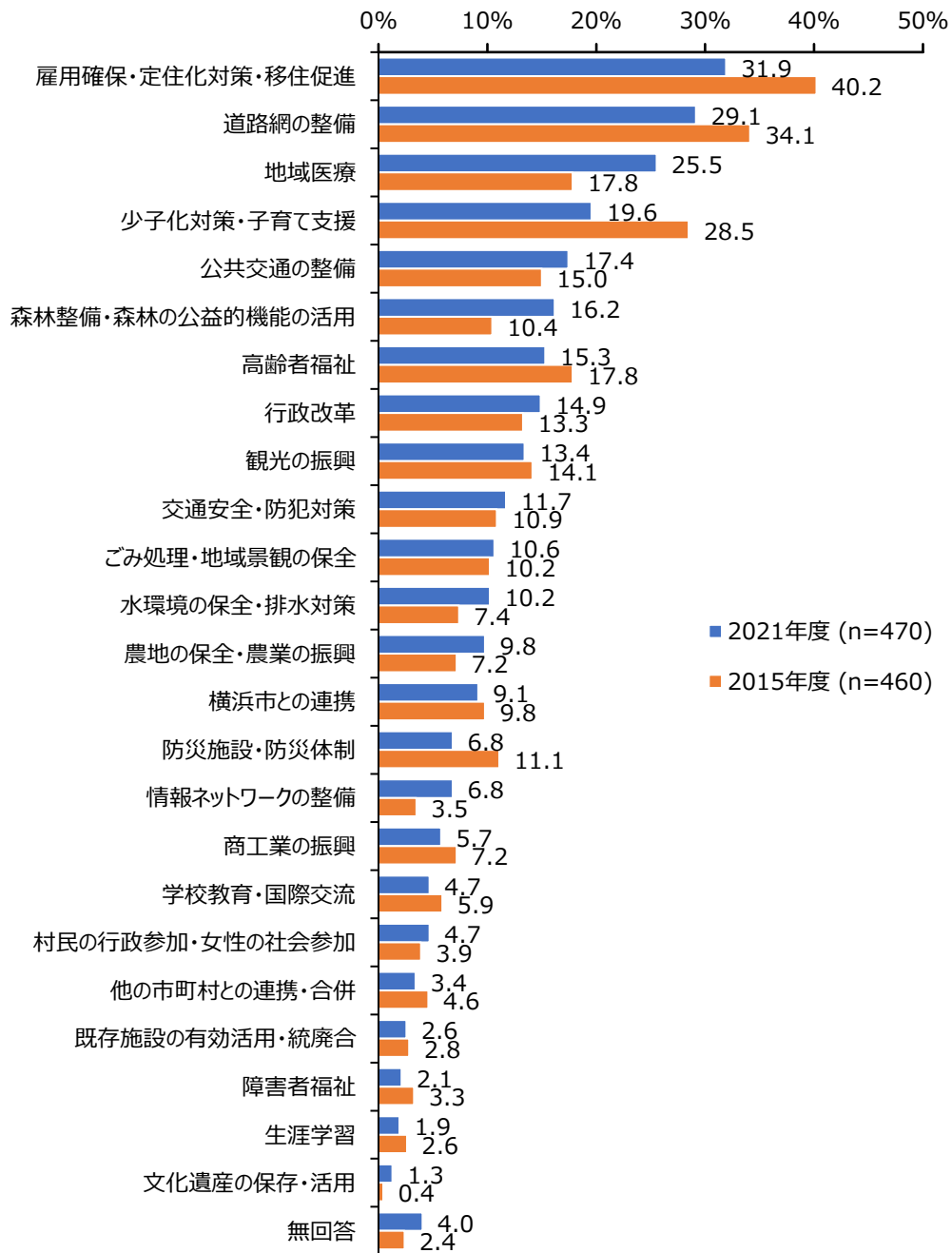
年齢別にみると、若年層では「少子化対策・子育て支援」の支持が相対的に高く、「70歳以上」で「森林整備・森林の公益的機能の活用」、「高齢者福祉」が比較的高い傾向がみられる。



	n	%
雇用確保・定住化対策・移住促進	150	31.9
道路網の整備	137	29.1
地域医療	120	25.5
少子化対策・子育て支援	92	19.6
公共交通の整備	82	17.4
森林整備・森林の公益的機能の活用	76	16.2
高齢者福祉	72	15.3
行政改革	70	14.9
観光の振興	63	13.4
交通安全・防犯対策	55	11.7
ごみ処理・地域景観の保全	50	10.6
水環境の保全・排水対策	48	10.2
農地の保全・農業の振興	46	9.8
横浜市との連携	43	9.1
防災施設・防災体制	32	6.8
情報ネットワークの整備	32	6.8
商工業の振興	27	5.7
学校教育・国際交流	22	4.7
村民の行政参加・女性の社会参加	22	4.7
他の市町村との連携・合併	16	3.4
既存施設の有効活用・統廃合	12	2.6
障害者福祉	10	2.1
生涯学習	9	1.9
文化遺産の保存・活用	6	1.3
無回答	19	4.0
	470	100.0

【前回比較】

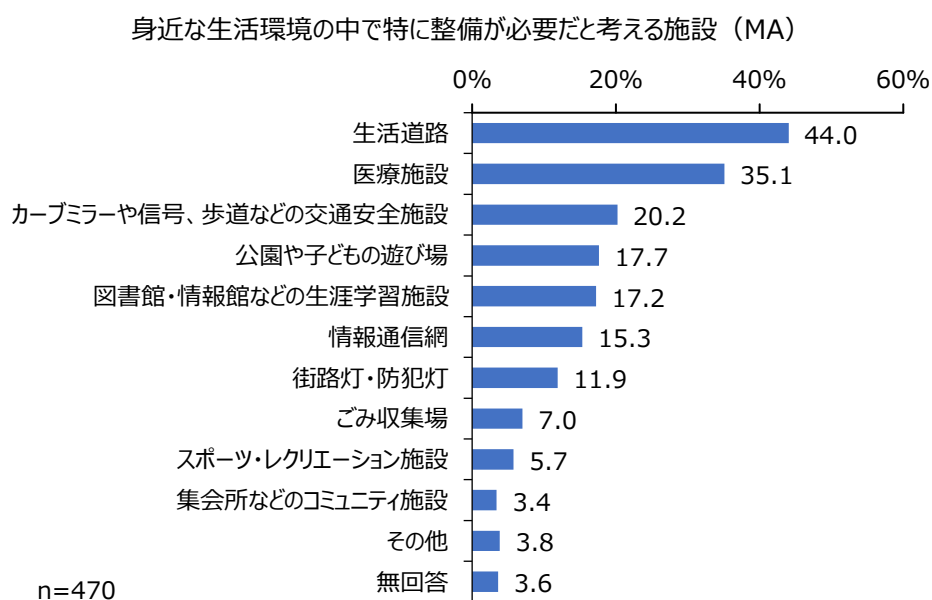
道志村にとって今後取り組むべき最も重要な施策（MA）



問 10：身近な生活環境の中で特に整備が必要だと考える施設（MA）

身近な生活環境の中で整備が必要だと考える施設は（2項目まで選択）、「生活道路」が44.0%（前回調査48.5%）で最も多く、次いで「医療施設」が35.1%（同34.1%）と上位2位は前回調査と同順位となった。以下、前回調査で4位の「カーブミラーや信号、歩道などの交通安全施設」が20.2%（同20.0%）で3位となり、前回3位であった「公園や子どもの遊び場」が17.7%（同21.7%）で続いた。

年齢別にみると、「公園や子どもの遊び場」、「図書館・情報館などの生涯学習施設」は若年層で、生活インフラである「生活道路」や「カーブミラーや信号、歩道などの交通安全施設」のほか、「医療施設」はあらゆる世代で高い傾向となった。

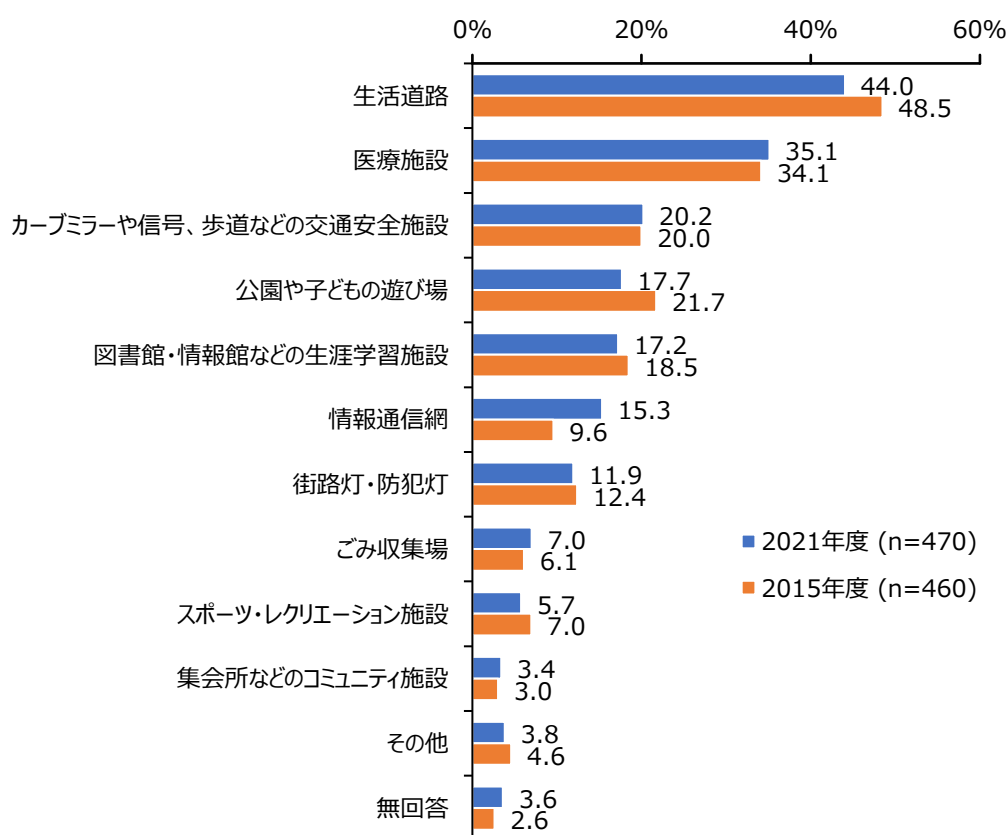


	n	%
生活道路	207	44.0
医療施設	165	35.1
カーブミラーや信号、歩道などの交通安全施設	95	20.2
公園や子どもの遊び場	83	17.7
図書館・情報館などの生涯学習施設	81	17.2
情報通信網	72	15.3
街路灯・防犯灯	56	11.9
ごみ収集場	33	7.0
スポーツ・レクリエーション施設	27	5.7
集会所などのコミュニティ施設	16	3.4
その他	18	3.8
無回答	17	3.6
	470	100.0

その他	n
コンビニ、商店	4
防犯カメラ	2
フリーマーケット	1
公共交通機関	1
自然環境保全を活用	1
住宅地	1
心、親切	1
村外者の集まる場所（B級グルメ、バイクのパーツ）など	1
道志村で胃カメラできるようにしてもらいたい	1
道路わきの水路に土砂がおちて、いく年も夫と二人で土砂をとっていましたが、年をとって肩を痛めてしまい、できなくなりました。よろしくお願いします。	1
農道、登山道の整備	1
夜間の車の取り締まり	1
無回答	2
総計	18

【前回比較】

身近な生活環境の中で特に整備が必要だと考える施設（MA）



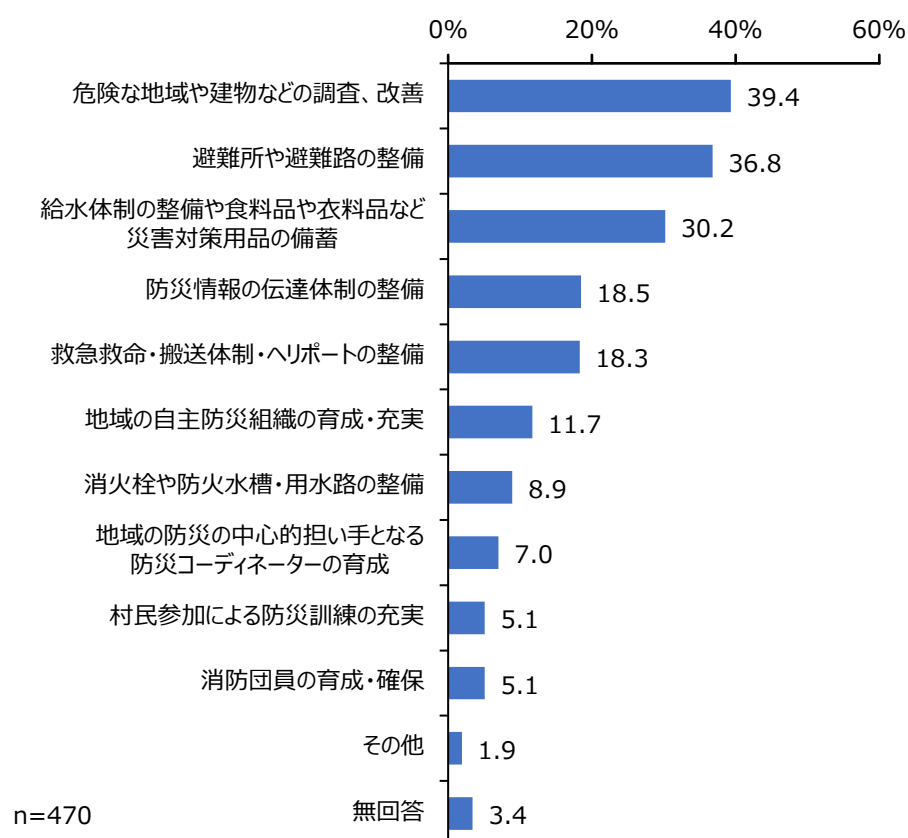
問 11：地震、水害など大規模災害時の備えとして必要だと感じること（MA）

地震や水害などの大規模災害時の備えとして必要だと感じることは（2項目まで選択）、「危険な地域や建物などの調査、改善」が39.4%（前回調査38.9%）で最も多かった。また、前回3位だった「避難所や避難路の整備」が36.8%（同32.8%）で2位に上昇し、前回2位だった「救急救命・搬送体制・ヘリポートの整備」は18.3%（前回33.3%）とほぼ半減し、5位に後退している。

年齢別では、「30歳～39歳」以下で「避難所や避難路の整備」が最も多く、「危険な地域や建物などの調査、改善」は「40歳～49歳」以上で最も多い。

地区ごとに見ると、「長幡西地区」では「避難所や避難路の整備」が最も多く、「長幡東地区」、「神地地区」、「善之木地区」では「危険な地域や建物などの調査、改善」が多く、「月夜野・久保地区」、「川原畑地区」では、「給水体制の整備や食料品や衣料品など災害対策用品の備蓄」が最も多かった。

地震、水害など大規模災害時の備えとして必要だと感じること（MA）

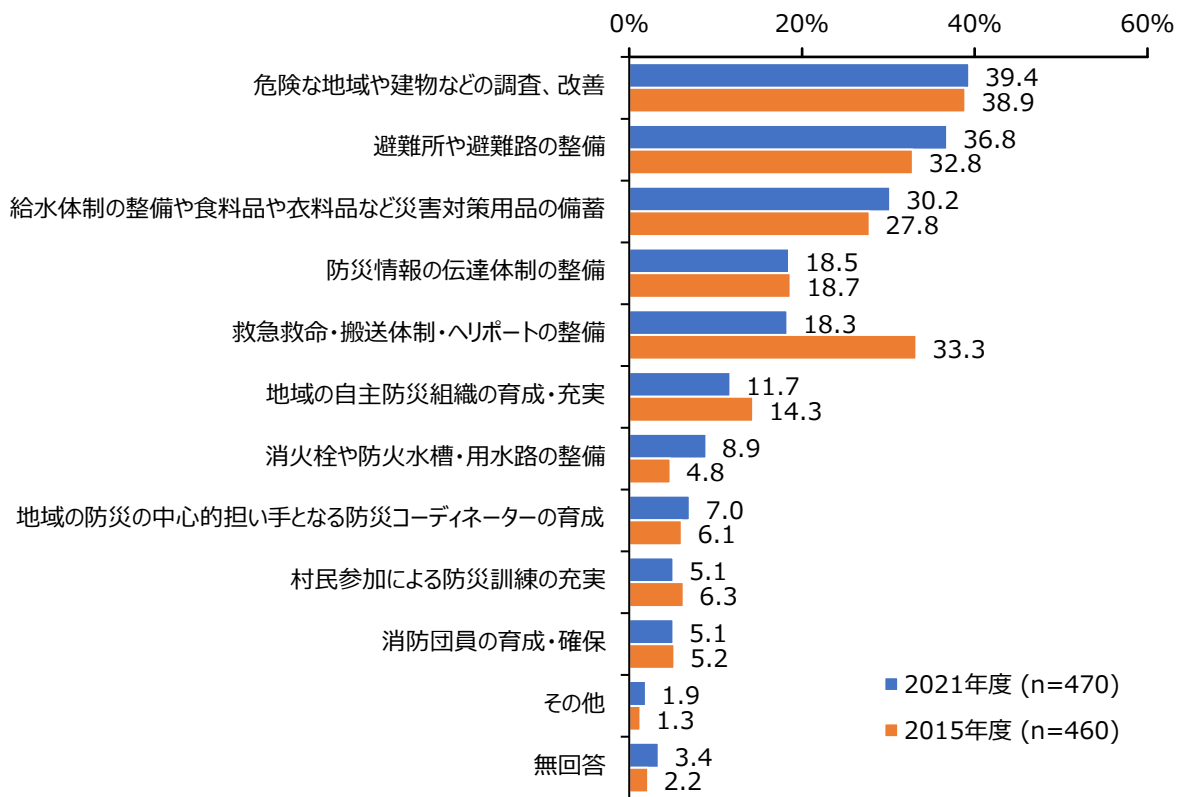


	n	%
危険な地域や建物などの調査、改善	185	39.4
避難所や避難路の整備	173	36.8
給水体制の整備や食料品や衣料品など災害対策用品の備蓄	142	30.2
防災情報の伝達体制の整備	87	18.5
救急救命・搬送体制・ヘリポートの整備	86	18.3
地域の自主防災組織の育成・充実	55	11.7
消火栓や防火水槽・用水路の整備	42	8.9
地域の防災の中心的担い手となる防災コーディネーターの育成	33	7.0
村民参加による防災訓練の充実	24	5.1
消防団員の育成・確保	24	5.1
その他	9	1.9
無回答	16	3.4
	470	100.0

その他	n
他市町からの援助	1
若者定住	1
高齢者をいかに守り、孤立させないか。	1
旧道志小グラウンドの防災センターとしての活用	1
ダンボールのベッド、個室になるように	1
なし	1
無回答	3
計	9

【前回比較】

地震、水害など大規模災害時の備えとして必要だと感じること（MA）



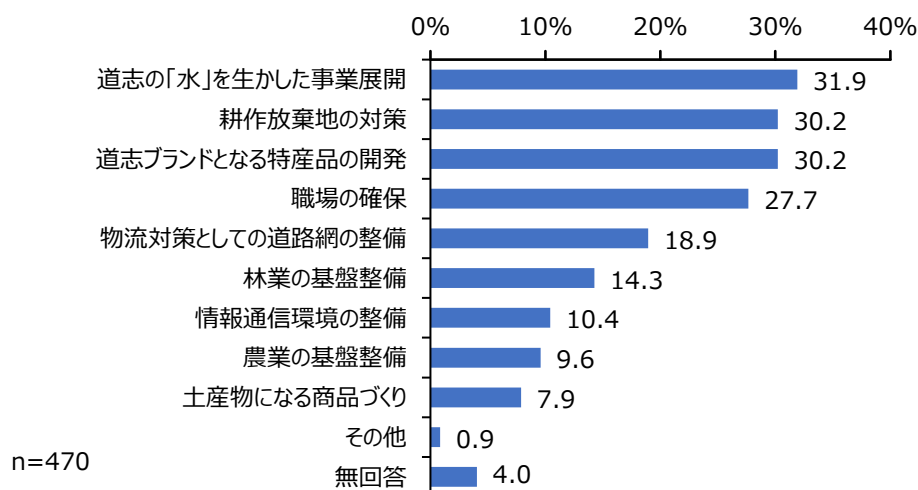
問 12：村の産業振興のため、取り組むべきことはどのようなことだと考えるか (MA)

村の産業振興（農林水産業・商業・工業）のため、取り組むべきことは（2項目まで選択）、「道志の『水』を生かした事業展開」が31.9%（前回調査38.5%）で最も多く、次いで前回調査で5位だった「耕作放棄地の対策」（同24.3%）、前回3位だった「道志ブランドとなる特産品の開発」（同31.1%）が30.2%の同率で続いた。さらに前回2位だった「職場の確保」が27.7%（同37.0%）となり、この4項目が上位になった。

年齢別にみると、「道志の『水』を生かした事業展開」「職場の確保」は若年層で、「耕作放棄地の対策」「林業の基盤整備」は高齢層で比較的多い。

前回調査と比べると、「耕作放棄地の対策」「林業の基盤整備」「情報通信環境の整備」「農業の基盤整備」「土産物になる商品づくり」の5項目で増えた一方で、「物流対策としての道路網の整備」「道志の『水』を生かした事業展開」「職場の確保」が6～9ポイント台の大きな減少となった。

村の産業振興のため、取り組むべきこと (MA)

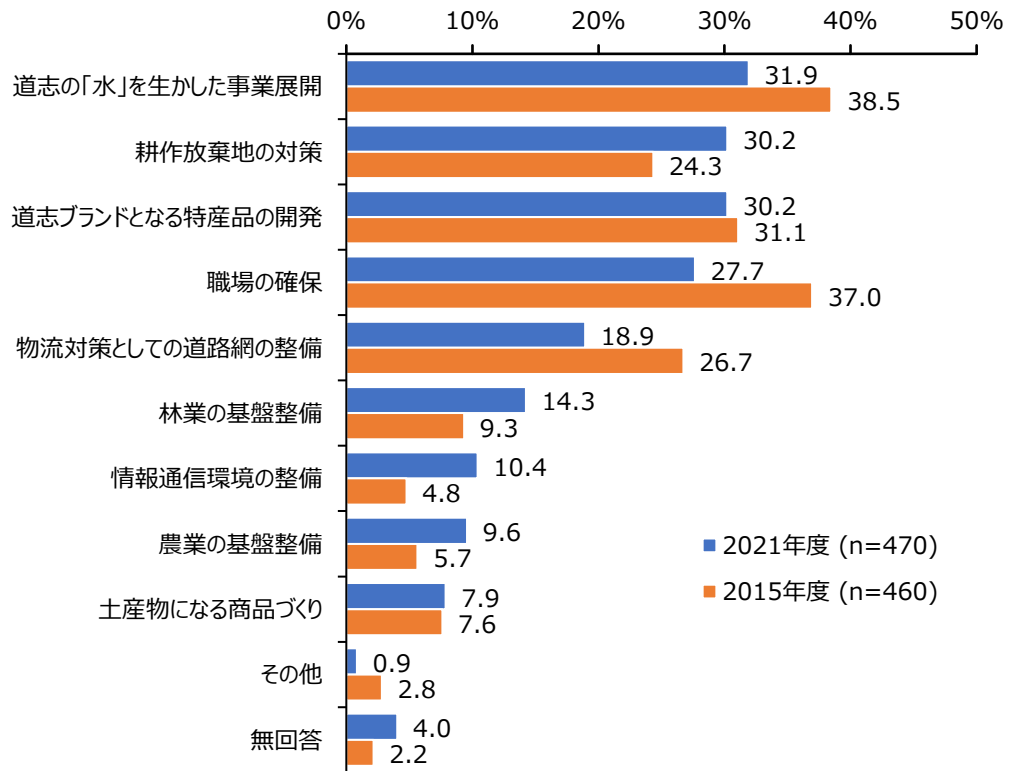


	n	%
道志の「水」を生かした事業展開	150	31.9
耕作放棄地の対策	142	30.2
道志ブランドとなる特産品の開発	142	30.2
職場の確保	130	27.7
物流対策としての道路網の整備	89	18.9
林業の基盤整備	67	14.3
情報通信環境の整備	49	10.4
農業の基盤整備	45	9.6
土産物になる商品づくり	37	7.9
その他	4	0.9
無回答	19	4.0
	470	100.0

その他	n
有機栽培など	1
若者定住	1
無回答	2
計	4

【前回比較】

村の産業振興のため、取り組むべきこと（MA）



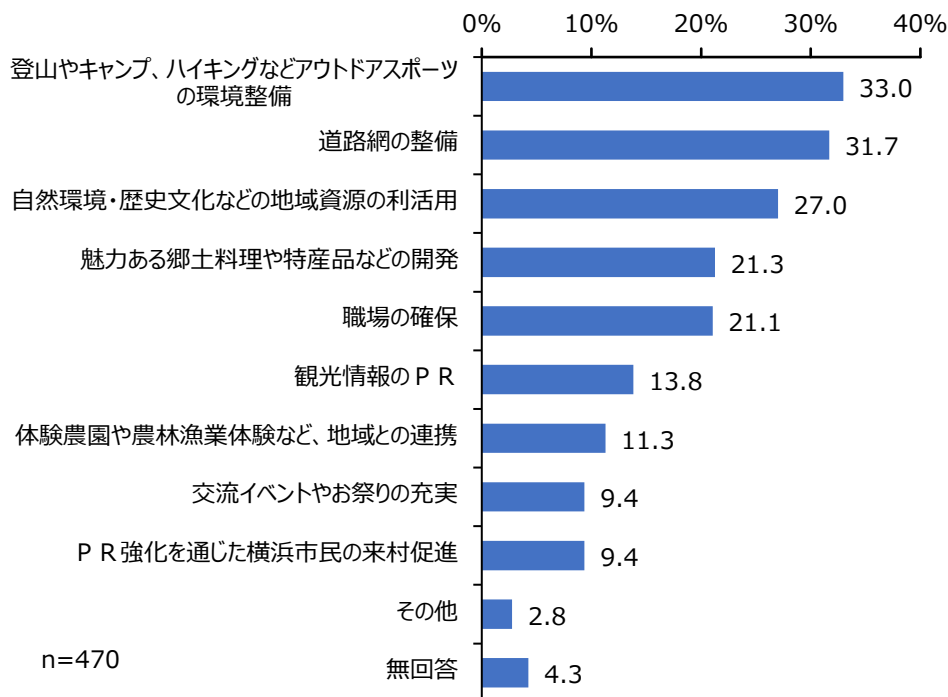
問 13：村の観光産業の活性化を図るため、重要だと考える取り組み（MA）

村の観光産業の活性化を図るため、重要だと思う取り組みは（2項目まで選択）、前回調査で2位だった「登山やキャンプ、ハイキングなどアウトドアスポーツの環境整備」が33.0%（前回調査28.0%）で5.0ポイント伸び1位となり、前回最も多かった「道路網の整備」が31.7%（同35.9%）で2位となった。以下、「自然環境・歴史文化などの地域資源の利活用」が27.0%（同24.1%）、「魅力ある郷土料理や特産品などの開発」が21.3%（同26.5%）と続いている。

年齢別にみると、「登山やキャンプ、ハイキングなどアウトドアスポーツの環境整備」は「18歳～29歳」「40歳～49歳」「70歳以上」で多い。また、「道路網の整備」は全般に多いが、「50歳～59歳」「60歳～69歳」では最も多くなっている。一方、「自然環境・歴史文化などの地域資源の利活用」「魅力ある郷土料理や特産品などの開発」「PR強化を通じた横浜市民の来村促進」は高齢層で比較的多い。

前回調査と比べてみると、前述の「登山やキャンプ、ハイキングなどアウトドアスポーツの環境整備」のほか、「自然環境・歴史文化などの地域資源の利活用」が2.9ポイント伸び、「職場の確保」が前回と同じ21.1%であるほかは、すべての項目で比率が下がっている。

村の観光産業の活性化を図るため、重要だと考える取り組み（MA）

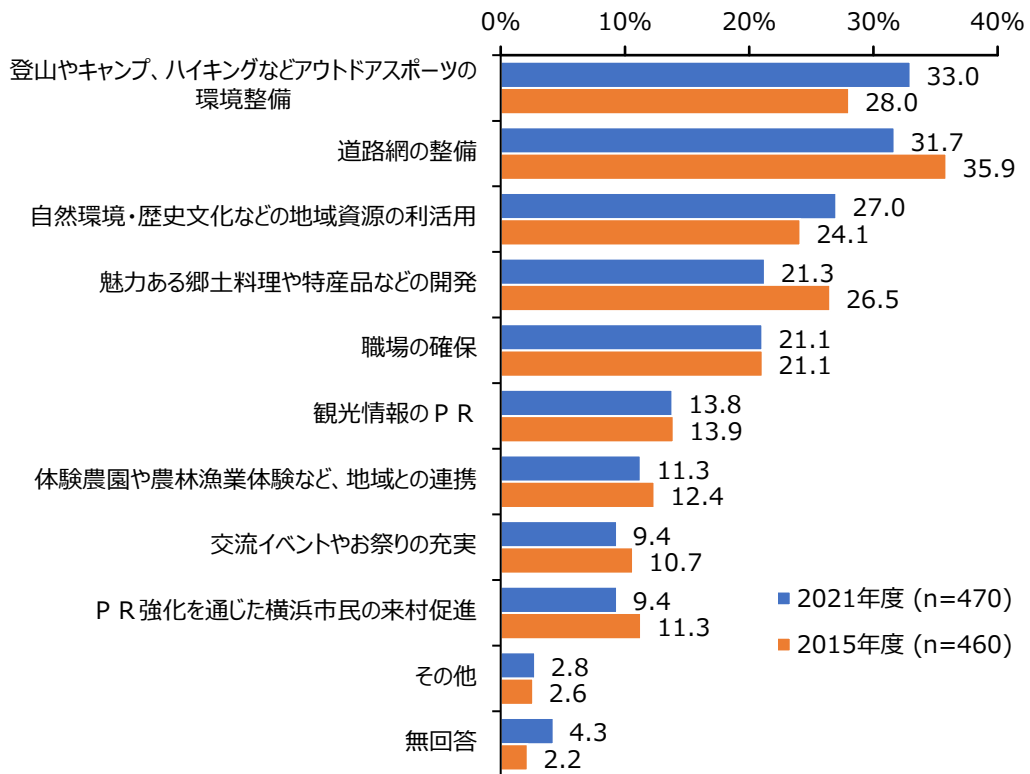


	n	%
登山やキャンプ、ハイキングなどアウトドアスポーツの環境整備	155	33.0
道路網の整備	149	31.7
自然環境・歴史文化などの地域資源の利活用	127	27.0
魅力ある郷土料理や特産品などの開発	100	21.3
職場の確保	99	21.1
観光情報のP R	65	13.8
体験農園や農林漁業体験など、地域との連携	53	11.3
交流イベントやお祭りの充実	44	9.4
P R強化を通じた横浜市民の来村促進	44	9.4
その他	13	2.8
無回答	20	4.3
	470	100.0

その他	n
名所や観光地、町づくりへの取り組み	1
道志村の自然を活用したレジャー施設を作る。	1
村内に企業を呼ぶこと	1
森林（山、川も含めて）を使った大規模な遊ぶ施設を作り、観光化していく。 （山と山を結んでターザンロープみたいな）	1
若者定住	1
最後に残るのはキャンプ場	1
夏の交通量に応じた駐車場の整備など。車を止められないと通過点にしかならない。 いかに集客するか。	1
まず、村民の安定した生活確保が必要では？	1
バスの本数をふやす	1
クレソンだけに、こだわらない。	1
無回答	3
計	13

【前回比較】

村の観光産業の活性化を図るため、重要だと考える取り組み（MA）



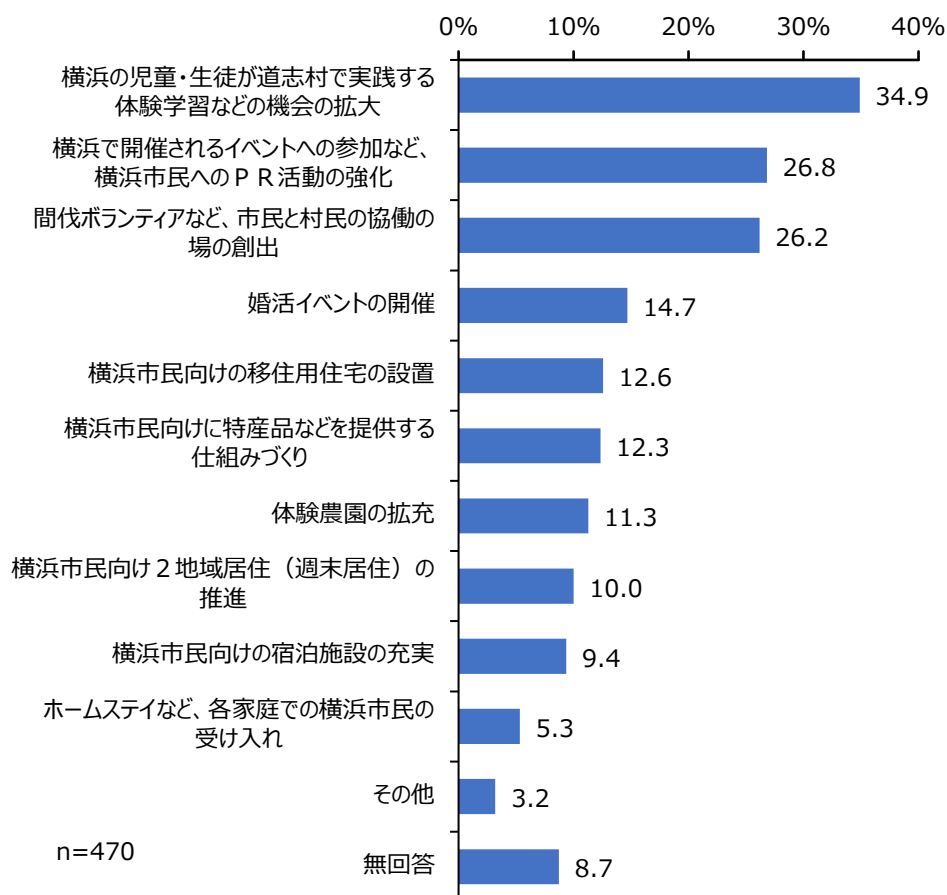
問 14：横浜市との関係をよりよいものにしていくためには、村はどのような取り組みを進めるべきだと思うか（MA）

横浜市との関係をよりよいものにしていくために、村が進めるべき取り組みは（2項目まで選択）、「横浜の児童・生徒が道志村で実践する体験学習などの機会の拡大」が34.9%（前回調査38.7%）で最も多く、以下、「横浜で開催されるイベントへの参加など、横浜市民へのPR活動の強化」が26.8%（同30.0%）、「間伐ボランティアなど、市民と村民の協働の場の創出」が26.2%（同25.7%）と続いている。

年齢別にみると、「横浜の児童・生徒が道志村で実践する体験学習などの機会の拡大」が「30歳～39歳」「40歳～49歳」「60歳～69歳」以上で最も多く、「横浜で開催されるイベントへの参加など、横浜市民へのPR活動の強化」が「18歳～29歳」「50歳～59歳」で最も多かった。

前回調査と比べると、「横浜市民向けの宿泊施設の充実」（3.3ポイント増）、「横浜市民向けに特産品などを提供する仕組みづくり」（1.4ポイント増）、「間伐ボランティアなど、市民と村民の協働の場の創出」（0.5ポイント増）など4項目で増加し、6項目で減少した。

横浜市との関係をよりよいものにしていくために、
村が取り組みを進めるべきこと（MA）

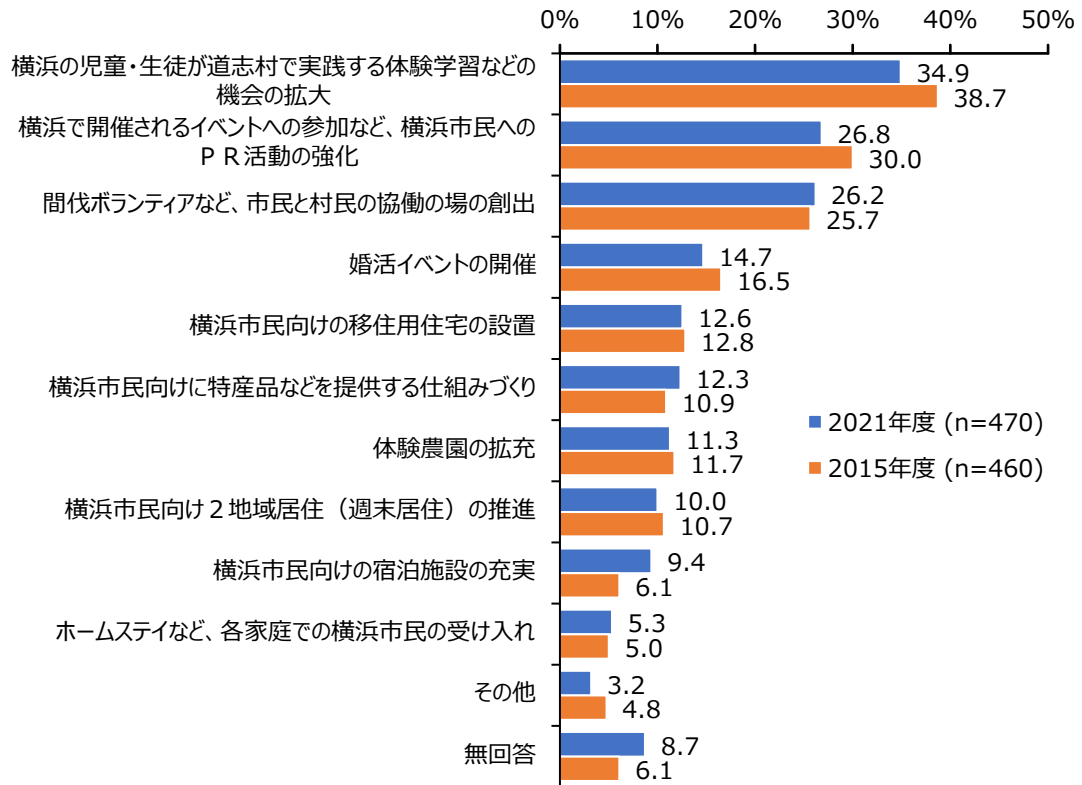


	n	%
横浜の児童・生徒が道志村で実践する体験学習などの機会の拡大	164	34.9
横浜で開催されるイベントへの参加など、横浜市民へのPR活動の強化	126	26.8
間伐ボランティアなど、市民と村民の協働の場の創出	123	26.2
婚活イベントの開催	69	14.7
横浜市民向けの移住用住宅の設置	59	12.6
横浜市民向けに特産品などを提供する仕組みづくり	58	12.3
体験農園の拡充	53	11.3
横浜市民向け2地域居住（週末居住）の推進	47	10.0
横浜市民向けの宿泊施設の充実	44	9.4
ホームステイなど、各家庭での横浜市民の受け入れ	25	5.3
その他	15	3.2
無回答	41	8.7
	470	100.0

その他	n
留学制度を取り入れないと、村の子供だけでは学校が維持できなくなる。	1
当てにならない	1
上流と下流の友好交流事業	1
市民の方に村に来ていただけるイベントの開催	1
市村の行政間の交流が必要であると思う。	1
今までやったことがない取り組みを考えてみる。	1
合併	1
行政同士の連携の強化、道志が横浜市に還元するような取組等。水での繋がりがあがるが、道志村の方が依存している感があり、持ちつ持たれつ関係ではない気がする。	1
横浜市立道志総合病院の設立	1
横浜市へのお返し	1
横浜市が一番課題にしている問題への道志村として多少なりともその支援	1
FM 横浜やラジオ日本等への取材の働きかけと定期的なPR	1
無回答	3
計	15

【前回比較】

横浜市との関係をよりよいものにしていくために、
村が取り組みを進めるべきこと（MA）



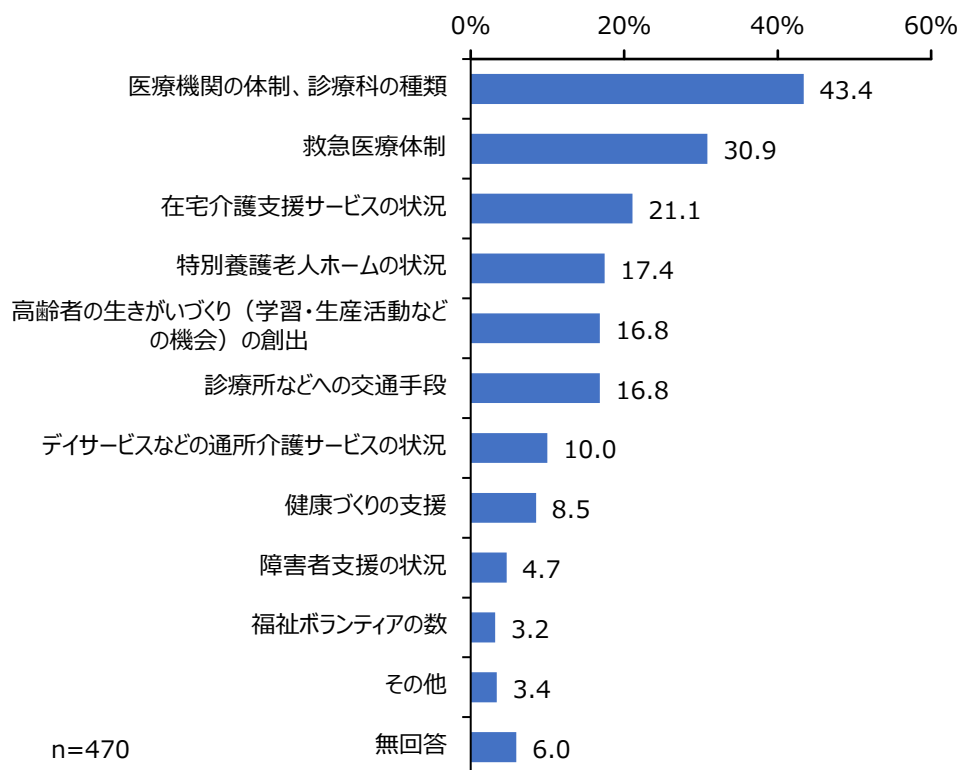
問 15：高齢社会を踏まえ、保健・医療・福祉分野に関して、不安や不満に感じること (MA)

保健・医療・福祉分野に関して不安や不満に感じることは（2項目まで選択）、前回調査でトップだった「医療機関の体制、診療科の種類」が今回の調査でも43.4%（前回調査48.0%）で最も多く、2位だった「救急医療体制」が30.9%（同31.7%）で続いた。このほか、前回6位だった「在宅介護支援サービスの状況」が21.1%（同14.1%）で3位に伸び、前回3位だった「特別養護老人ホームの状況」は17.4%（同23.5%）と4位に後退し、在宅介護への関心が高まっている様子がうかがえる。

年齢別にみると、「救急医療体制」は「18歳～29歳」で最も多く、そのほかの年代は「医療機関の体制、診療科の種類」が最も多かった。

前回調査と比べてみると、「在宅介護支援サービスの状況」が7.0ポイント増と大幅に伸びたほかは、「高齢者の生きがいづくり（学習・生産活動などの機会）の創出」が1.8ポイント増、「デイサービスなどの通所介護サービスの状況」が0.9ポイント増、「診療所などへの交通手段」が微増した以外は減少傾向にある。

高齢社会を踏まえ、保健・医療・福祉分野に関して、不安や不満に感じること (MA)

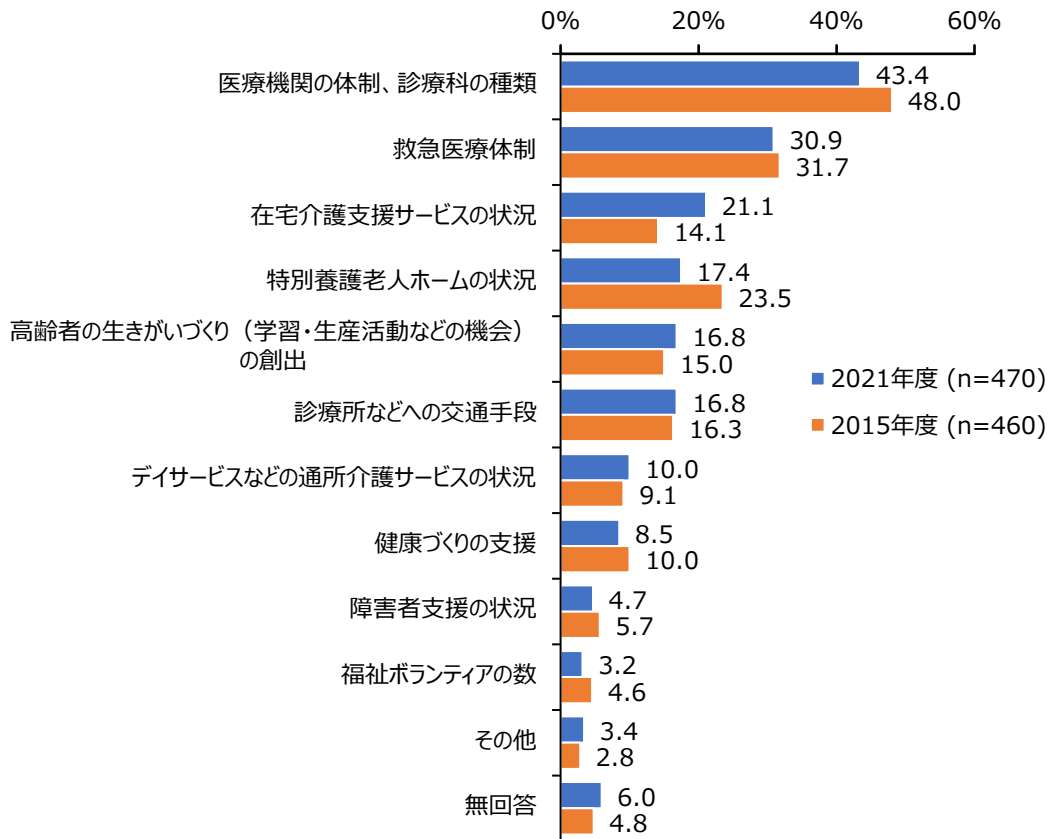


	n	%
医療機関の体制、診療科の種類	204	43.4
救急医療体制	145	30.9
在宅介護支援サービスの状況	99	21.1
特別養護老人ホームの状況	82	17.4
高齢者の生きがいづくり（学習・生産活動などの機会）の創出	79	16.8
診療所などへの交通手段	79	16.8
デイサービスなどの通所介護サービスの状況	47	10.0
健康づくりの支援	40	8.5
障害者支援の状況	22	4.7
福祉ボランティアの数	15	3.2
その他	16	3.4
無回答	28	6.0
	470	100.0

その他	n
村内循環バス	1
村内外への交通手段の欠如	1
診療所の医師による訪問診療があるといい。	1
食料品、医薬品などの購入手段。	1
食育の推進	1
若者の負担が大きい	1
歯医者さんの能力不足	1
交通手段	1
ほぼすべて	1
サービス付高齢者住宅を作る	1
特になし	2
無回答	4
計	16

【前回比較】

高齢社会を踏まえ、保健・医療・福祉分野に関して、不安や不満に感じること（MA）

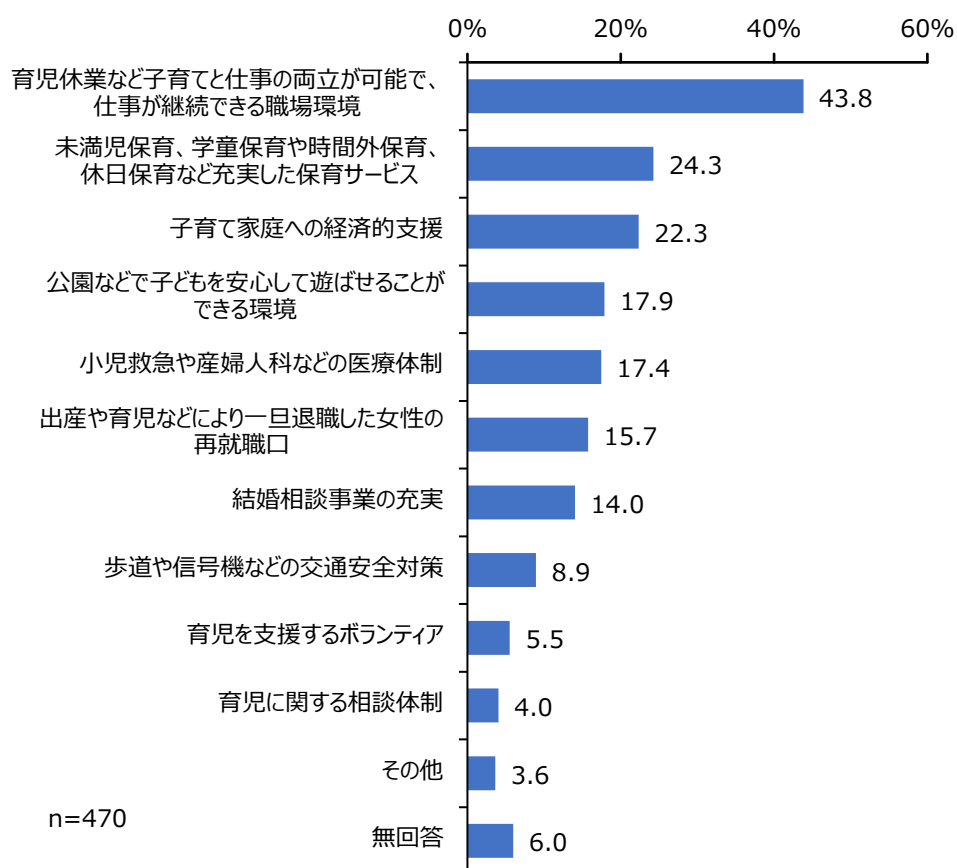


問 16：少子化の現状を踏まえ、若い世代が充実した生活を送り、安心して子どもを 生み育てたいと思える社会にするために何が必要だと考えるか（MA）

少子化の現状を踏まえ、若い世代が充実した生活を送り、安心して子どもを生み育てたいと思える社会にするために必要なことは（2項目まで選択）、「育児休業など子育てと仕事の両立が可能で、仕事が継続できる職場環境」が43.8%（前回調査41.5%）と最も多く、前回3位の「未満児保育、学童保育や時間外保育、休日保育など充実した保育サービス」が24.3%（同27.0%）、前回2位だった「子育て家庭への経済的支援」が22.3%（同28.0%）と続いている。

年齢別にみると、「育児休業など子育てと仕事の両立が可能で、仕事が継続できる職場環境」はすべての年齢層で1位となった。また、「未満児保育、学童保育や時間外保育、休日保育など充実した保育サービス」が「40歳～49歳」「50歳～59歳」「60歳～69歳」で、「公園などで子どもを安心して遊ばせることができる環境」が「18歳～29歳」「30歳～39歳」で各々2位となった。このほか「出産や育児などにより一旦退職した女性の再就職口」が「18歳～29歳」で24.4%、「40歳～49歳」で31.1%と比較的多くなった。

少子化の現状を踏まえ、若い世代が充実した生活を送り、安心して子どもを
 生み育てたいと思える社会にするために何が必要か（MA）

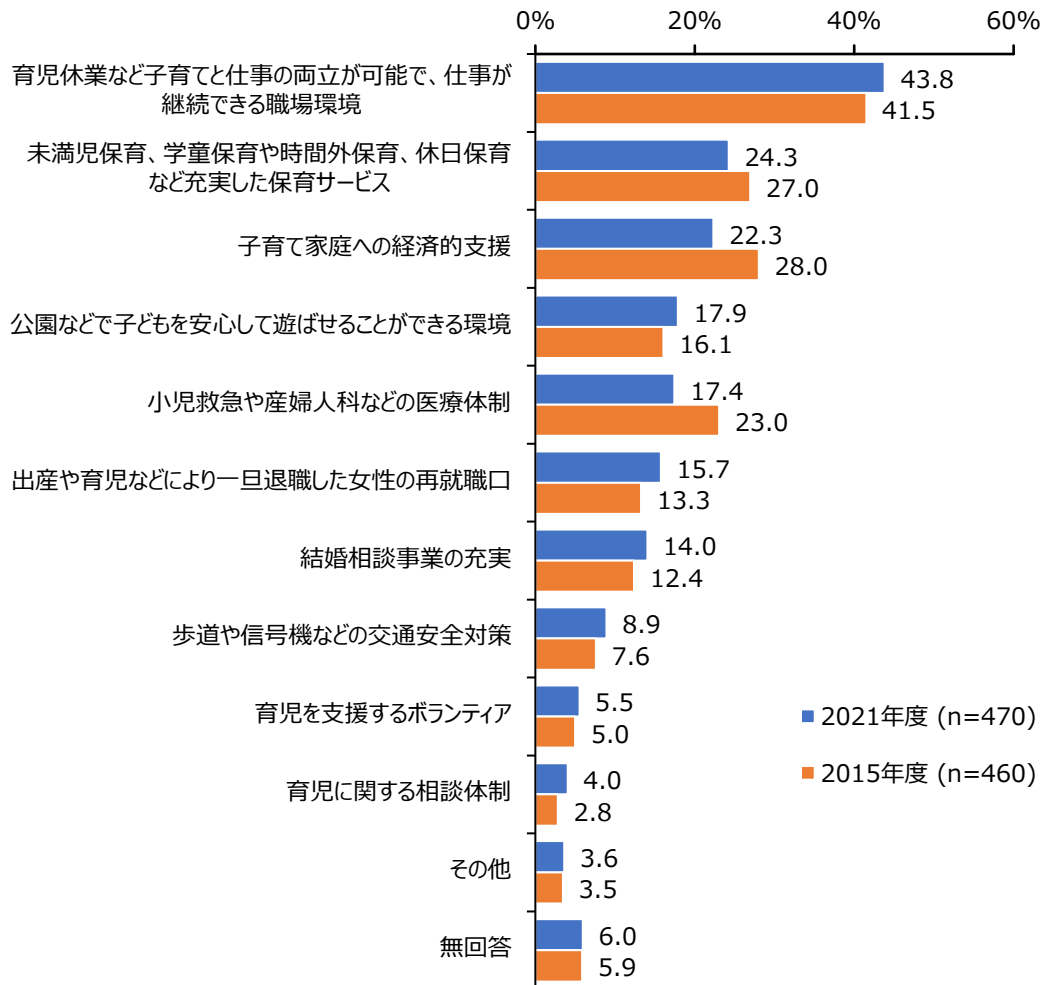


	n	%
育児休業など子育てと仕事の両立が可能で、仕事が継続できる職場環境	206	43.8
未満児保育、学童保育や時間外保育、休日保育など充実した保育サービス	114	24.3
子育て家庭への経済的支援	105	22.3
公園などで子どもを安心して遊ばせることができる環境	84	17.9
小児救急や産婦人科などの医療体制	82	17.4
出産や育児などにより一旦退職した女性の再就職口	74	15.7
結婚相談事業の充実	66	14.0
歩道や信号機などの交通安全対策	42	8.9
育児を支援するボランティア	26	5.5
育児に関する相談体制	19	4.0
その他	17	3.6
無回答	28	6.0
	470	100.0

その他	n
保育園の場所が悪い	1
道志村から離れる若い人との話し合う席作り	1
他地域への交通の便をよくすること	1
足りている項目なんかあるの？	1
若者が少なすぎる	1
子育ての経済的支援	1
子どもの病気や学校行事などのとき、休暇の取りやすい職場環境。	1
仕事のできる職場がない。	1
山を住地にして、若い世代が道志に入るようにすること。	1
高校までの交通手段	1
雇用の場の創出	1
遺伝子組み換え食品を避ける（加工品には表示なしで入れてもいいことになっています）。プラスチック製品を使うのを控える（環境ホルモン）。香りのある洗剤を控える（自分に合う人を正しく探せるため）。なるべく自然なものを食べ、そのような害のあるものを体外へ排出できるようにする。	1
“魅力ある村づくりとは何か”のテーマで全村的な目標となる会を立ち上げ追及していく。	1
ナン	1
無回答	3
計	17

【前回比較】

少子化の現状を踏まえ、若い世代が充実した生活を送り、安心して子どもを
生み育てたいと思える社会にするために何が必要か（MA）

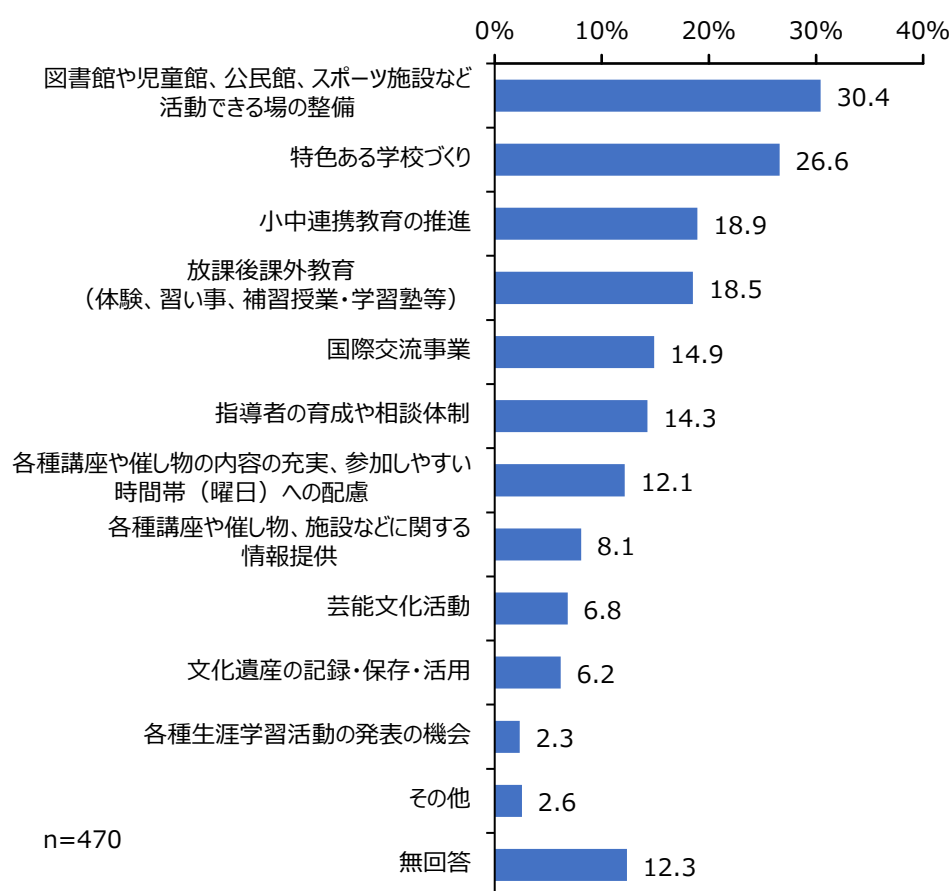


問 17：学校教育、生涯学習活動や芸術文化活動、スポーツ活動等に関して、もっと取り組んでほしいこと (MA)

学校教育、生涯学習活動や芸術文化活動、スポーツ活動等に関して、もっと取り組んでほしいことは（2項目まで選択）、「図書館や児童館、公民館、スポーツ施設など活動できる場の整備」が30.4%（前回調査35.2%）で最も多く、「特色ある学校づくり」が26.6%（同22.0%）と続き、前回同率3位だった2項目のうち、「小中連携教育の推進」が18.9%（同20.7%）で3位にとどまり、「放課後課外教育（体験、習い事、補習授業・学習塾等）」が18.5%（同20.7%）で4位となった。

年齢別にみると、「図書館や児童館、公民館、スポーツ施設など活動できる場の整備」は「30歳～39歳」以下、「50歳～59歳」で最も多く、「放課後課外教育（体験、習い事、補習授業・学習塾等）」は「40歳～49歳」で、「特色ある学校づくり」は「60歳～69歳」以上で最も支持が多くなった。

学校教育、生涯学習活動や芸術文化活動、スポーツ活動等に関して、
もっと取り組んでほしいこと (MA)

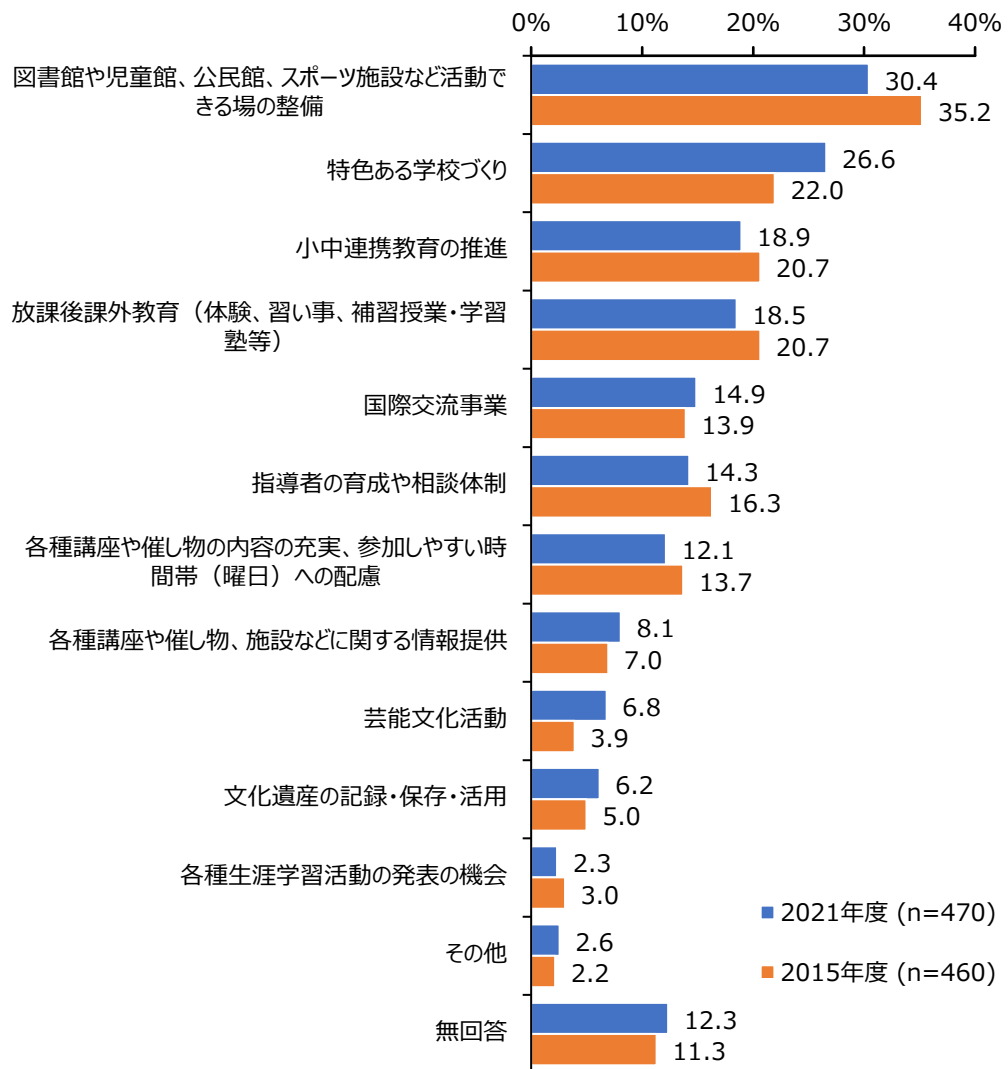


	n	%
図書館や児童館、公民館、スポーツ施設など活動できる場の整備	143	30.4
特色ある学校づくり	125	26.6
小中連携教育の推進	89	18.9
放課後課外教育（体験、習い事、補習授業・学習塾等）	87	18.5
国際交流事業	70	14.9
指導者の育成や相談体制	67	14.3
各種講座や催し物の内容の充実、参加しやすい時間帯（曜日）への配慮	57	12.1
各種講座や催し物、施設などに関する情報提供	38	8.1
芸能文化活動	32	6.8
文化遺産の記録・保存・活用	29	6.2
各種生涯学習活動の発表の機会	11	2.3
その他	12	2.6
無回答	58	12.3
	470	100.0

その他	n
道志小中学校の教育内容に不明のため回答できません	1
地域の特性と少人数学級を活かした教育	1
昔あった中国旅行	1
子供が少なく、そもそも学校で何をしているか分からない。そのためにも子育て世代の呼び込み、情報の積極的開示が必要。	1
映画会や演劇会を定期的に。	1
ICT 教育	1
特に思いつかない	1
分からない	1
無回答	4
計	12

【前回比較】

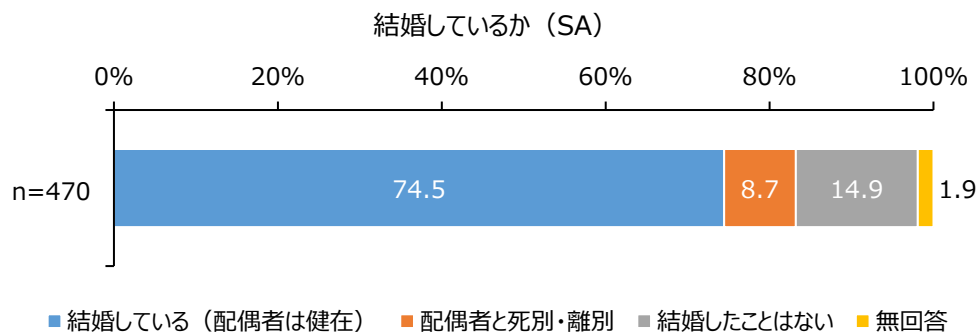
学校教育、生涯学習活動や芸術文化活動、スポーツ活動等に関して、
もっと取り組んでほしいこと（MA）



問 18：結婚しているか (SA)

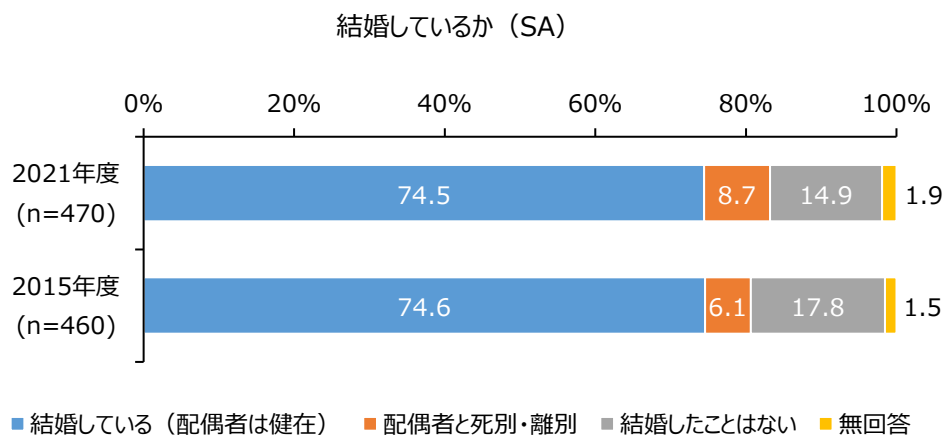
婚姻状況については、「結婚している（配偶者は健在）」が74.5%（前回調査74.6%）と最も多く、以下、「結婚したことはない」が14.9%（同17.8%）、「配偶者と死別・離別」が8.7%（同6.1%）と続いている。

年齢別にみると、「18歳～29歳」では「結婚したことはない」が87.8%となっているが、「40歳～49歳」「50歳～59歳」「60歳～69歳」は「結婚している（配偶者は健在）」が86%台となっている。なお、「70歳以上」では「配偶者と死別・離別」が約2割に上っている。



	n	%
結婚している（配偶者は健在）	350	74.5
配偶者と死別・離別	41	8.7
結婚したことはない	70	14.9
無回答	9	1.9
	470	100.0

【前回比較】

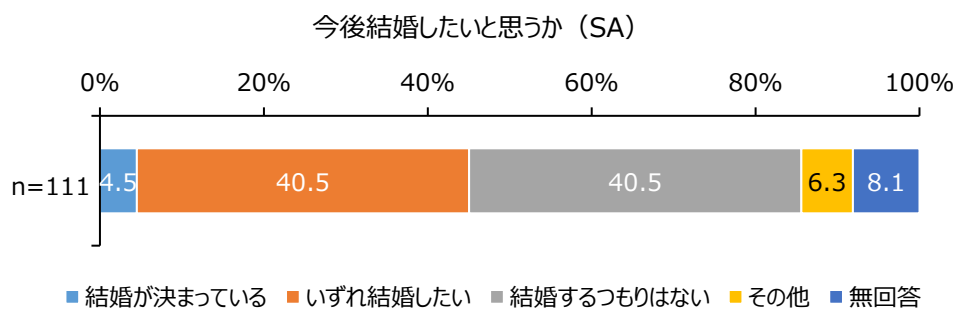


問 19：今後結婚したいと思うか（SA）

「配偶者と死別・離別」「結婚したことはない」と回答した方に対して、今後の結婚の意志を尋ねたところ、「いずれ結婚したい」が40.5%（前回調査61.8%）、「結婚するつもりはない」が40.5%（同28.2%）で同率であった。なお、「その他」が6.3%（同5.5%）、「結婚が決まっている」が4.5%（同0.0%）となった。

このため、「結婚が決まっている」「いずれ結婚したい」を合わせた「結婚したい」が45.0%で16.8ポイント減り、「結婚するつもりはない」が12.3ポイント増えているが、これは年代構成の変化によるところが大きいと思われる。

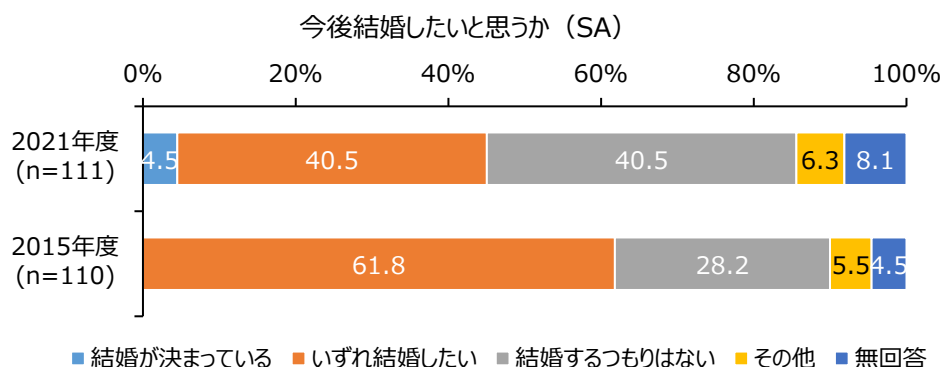
年齢別にみると、「結婚したい」は「18歳～29歳」が83.4%、「30歳～39歳」「40歳～49歳」が各々66.7%、「50歳～59歳」が50.0%と半数以上に上り、結婚を望んでいる方が多かった。一方、「60歳～69歳」「70歳以上」では、回答者の76.1%が「配偶者と死別・離別」した方であり、「結婚するつもりはない」が合わせて80.4%を占めた。



※問 18 で「配偶者と死別・離別」「結婚したことはない」と回答した方

	n	%
結婚が決まっている	5	4.5
いずれ結婚したい	45	40.5
結婚するつもりはない	45	40.5
その他	7	6.3
無回答	9	8.1
	111	100.0

【前回比較】

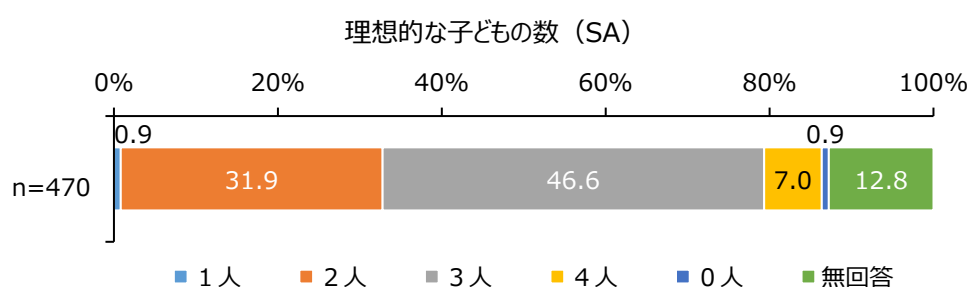


問 20：理想的な子どもの数（SA）

理想的な子どもの数は、「3人」が46.6%（前回調査48.3%）で最も多く、以下、「2人」が31.9%（同30.9%）、「4人以上」が7.0%（同8.3%）と続いている。

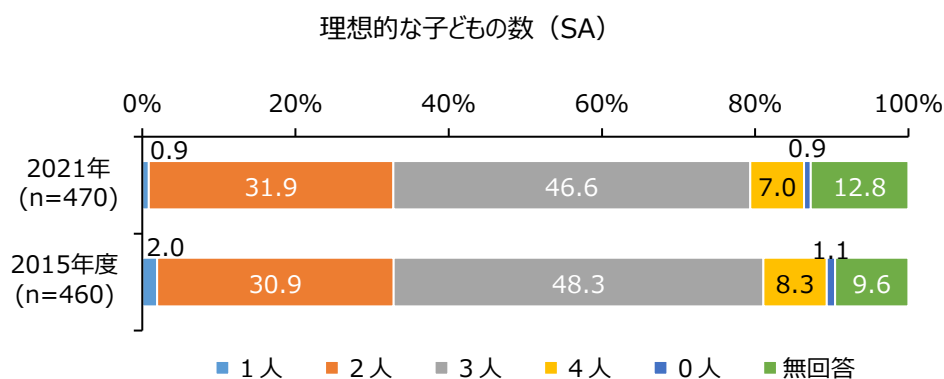
年齢別にみると、「18歳～29歳」では「2人」が63.4%を占め最も多い。「30歳～39歳」は「2人」「3人」が40.6%の同率で最も高い。「40歳～49歳」「50歳～59歳」では「2人」が51.1%、39.3%で最も多く、「60歳～69歳」「70歳以上」では「3人」が58.0%、51.2%で最も多くなっている。

なお、平均人数をみると、全体では2.67人と前回調査（2.67人）と変わらなかった。年齢別では、自身の兄弟数などの環境を反映してか、「18歳～29歳」が2.32人（同2.12人）、「30歳～39歳」が2.47人（同2.59人）、「40歳～49歳」が2.57人（同2.68人）、「50歳～59歳」が2.67人（同2.70人）、「60歳～69歳」が2.70人（同2.84人）、「70歳以上」が2.87人（同2.95人）と年齢が上がるにつれて理想的な子どもの数が増える傾向にある。



	n	%
1人	4	0.9
2人	150	31.9
3人	219	46.6
4人	33	7.0
0人	4	0.9
無回答	60	12.8
合計	470	100.0

【前回比較】

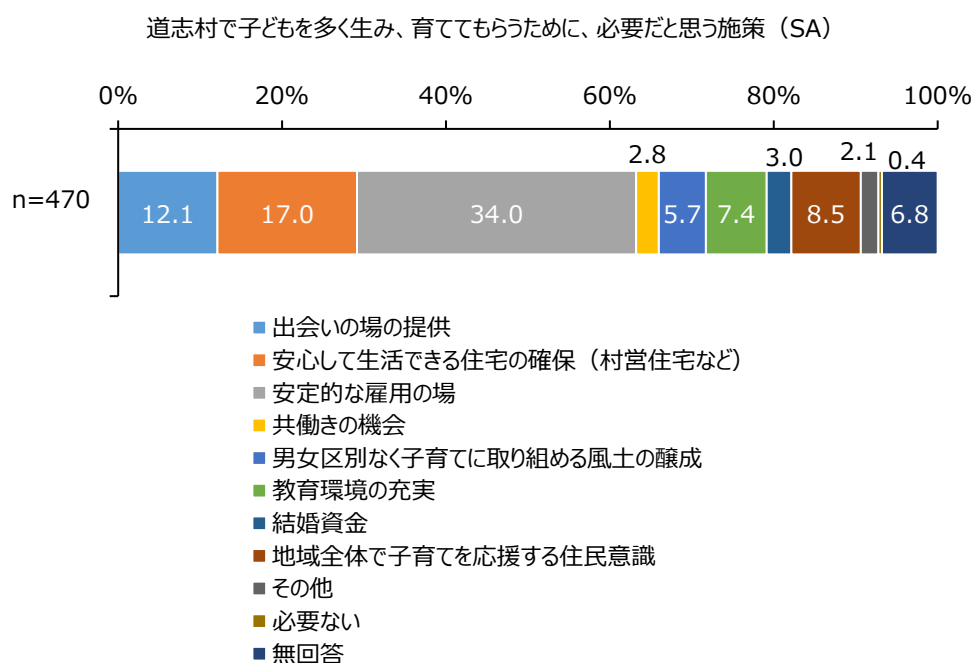


※ 2015年度は、「4人以上」と表記

問 21：道志村で子どもを多く生み、育ててもらうために、必要だと思う施策（SA）

道志村で子どもを多く生み育ててもらうために、必要だと思う施策は、「安定的な雇用の場」が34.0%（前回調査43.3%）で最も多く、以下、「安心して生活できる住宅の確保（村営住宅など）」が17.0%（同17.6%）、「出会いの場の提供」が12.1%（同8.7%）と続いている。

年齢別では、「30歳～39歳」で「安心して生活できる住宅の確保（村営住宅など）」が28.1%と比較的高かったものの、そのほかの年代では「安定的な雇用の場」が3割弱～4割弱の範囲で高かった。なお、回答率は低かったものの、「18歳～29歳」の若年層では「結婚資金」が14.6%と目立ち、「40歳～49歳」以上では「出会いの場の提供」が1割台みられた。

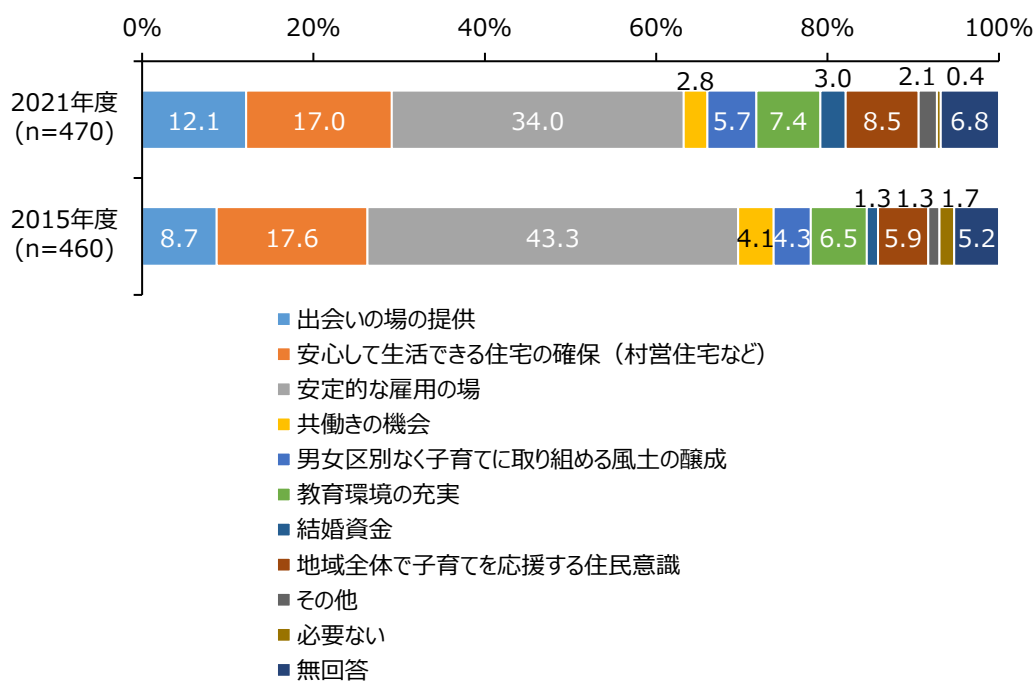


	n	%
出会いの場の提供	57	12.1
安心して生活できる住宅の確保（村営住宅など）	80	17.0
安定的な雇用の場	160	34.0
共働きの機会	13	2.8
男女区別なく子育てに取り組める風土の醸成	27	5.7
教育環境の充実	35	7.4
結婚資金	14	3.0
地域全体で子育てを応援する住民意識	40	8.5
その他	10	2.1
必要ない	2	0.4
無回答	32	6.8
	470	100.0

その他	n
高校の通学の交通手段	1
子ども手当をもっと増やせばよいと思う。	1
雇用の窓口	1
通勤可能なエリアへの支援。通学も含む。	1
道志に住んでいても、通勤しやすい、買い物に出かけやすい道路、公共交通機関の整備。	1
独身の方が住めるアパートなど	1
仲間のいないところで、子育てはできない	1
嫁としゅうととの関係	1
無回答	2
計	10

【前回比較】

道志村で子どもを多く生み、育ててもらうために、必要だと思う施策（SA）

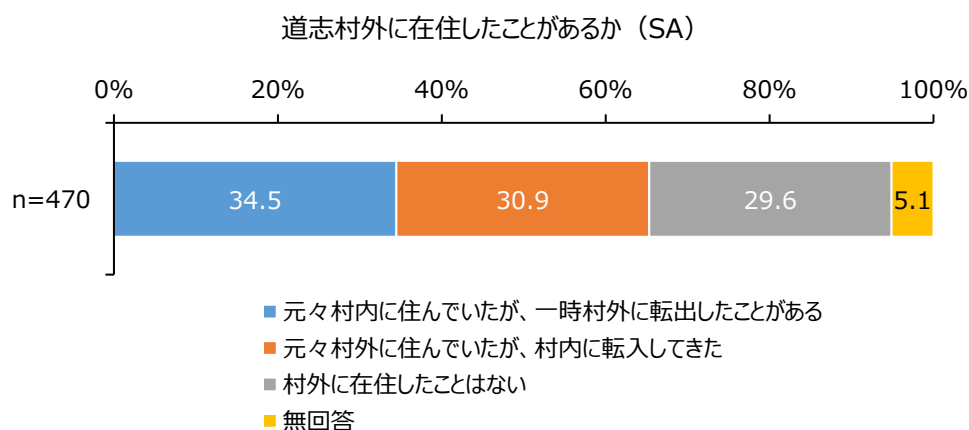


問 22：道志村外に在住したことがあるか (SA)

道志村外への在住経験の有無については、「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」が34.5%（前回調査39.1%）を占め最も多く、「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」が30.9%（同29.8%）、「村外に在住したことはない」が29.6%（同25.9%）となっている。

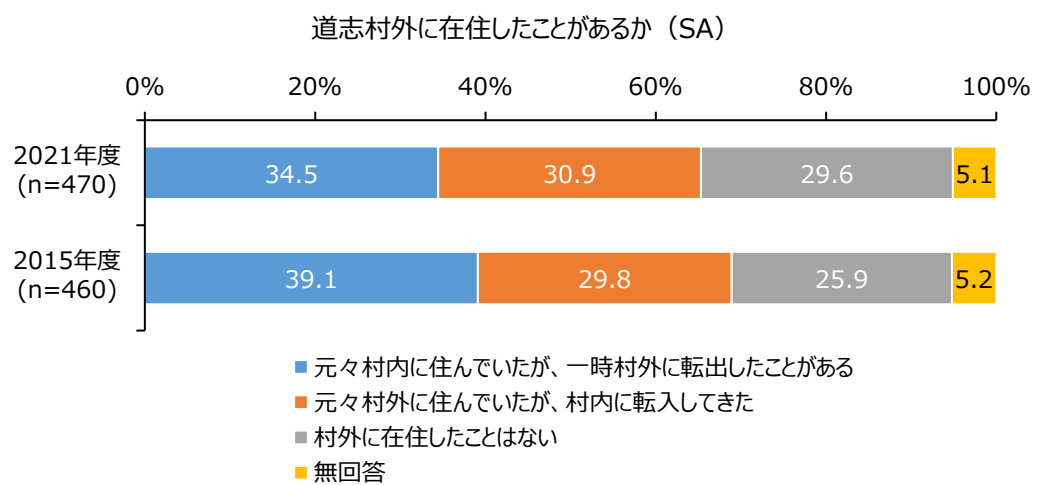
年齢別にみると、「30歳～39歳」「60歳～69歳」で「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」が最も多く、「30歳～39歳」（同率）、「40歳～49歳」「50歳～59歳」「70歳以上」で「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」が最も多い。「18歳～29歳」「70歳以上」（同率）は「村外に在住したことはない」が41.5%で最も多かった。

居住地区別では、「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」が「月夜野・久保地区」「長幡東地区」「善之木地区」でトップとなった。「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」は「長幡西地区」「神地地区」で最も多く、「村外に在住したことはない」は「川原畑地区」だけが最も高くなった。



	n	%
元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある	162	34.5
元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた	145	30.9
村外に在住したことはない	139	29.6
無回答	24	5.1
	470	100.0

【前回比較】

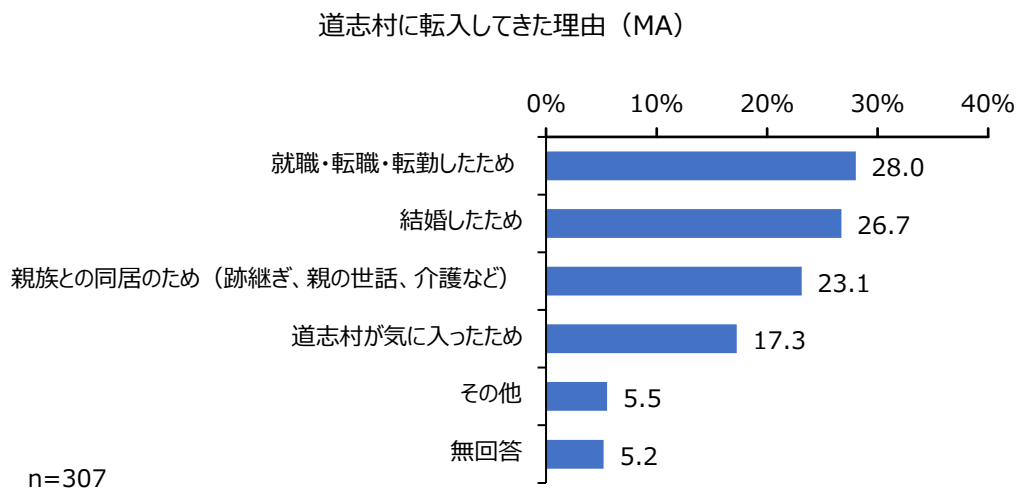


問 23：道志村に転入してきた理由（MA）

「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」と回答した方に対して、道志村に転入してきた理由を尋ねたところ（いくつでも選択）、「就職・転職・転勤したため」が28.0%で前回調査の2位（29.0%）からトップになり、次いで前回トップだった「結婚したため」が26.7%（同30.3%）でやや減った。以下、「親族との同居のため（跡継ぎ、親の世話、介護など）」が23.1%（同22.7%）、「道志村が気に入ったため」が17.3%（同13.2%）で続いた。

年齢別にみると、「就職・転職・転勤したため」が、「18歳～29歳」で69.6%、「30歳～39歳」で50.0%、「結婚したため」が「40歳～49歳」で36.4%、「50歳～59歳」で43.9%、「親族との同居のため（跡継ぎ、親の世話、介護など）」が「60歳～69歳」で31.3%、「道志村が気に入ったため」は「70歳以上」で35.1%を各々占め、最も多くなっている。

居住地区別では、「長幡東地区」「神地地区」「善之木地区」で「道志村が気に入ったため」の回答が比較的多くなっている。



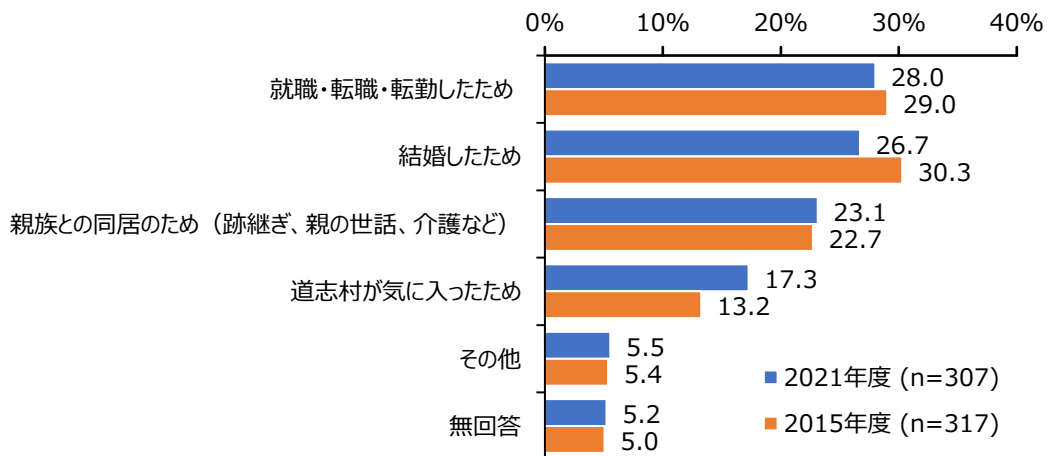
※ 問 22 で「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」と回答した方

	n	%
就職・転職・転勤したため	86	28.0
結婚したため	82	26.7
親族との同居のため（跡継ぎ、親の世話、介護など）	71	23.1
道志村が気に入ったため	53	17.3
その他	17	5.5
無回答	16	5.2
	307	100.0

その他	n
就学、学業のため	3
以前は横浜緑区に住んでいたが、家内の病後療養のため	1
田舎に住みたかったから	1
インフラ整備がもっと整っていると思った。この遅れは大きい。	1
環境	1
自然が気に入ったから	1
村内で住宅を確保できたので。	1
たまたま。両家の実家の間でちょうど良かった。	1
病気	1
別荘として使っていたが、夏の気温が低く涼しく過ごしやすかった（23年前、夏、朝夕 20℃くらいまで下がった）	1
無回答	5
計	17

【前回比較】

道志村に転入してきた理由（MA）

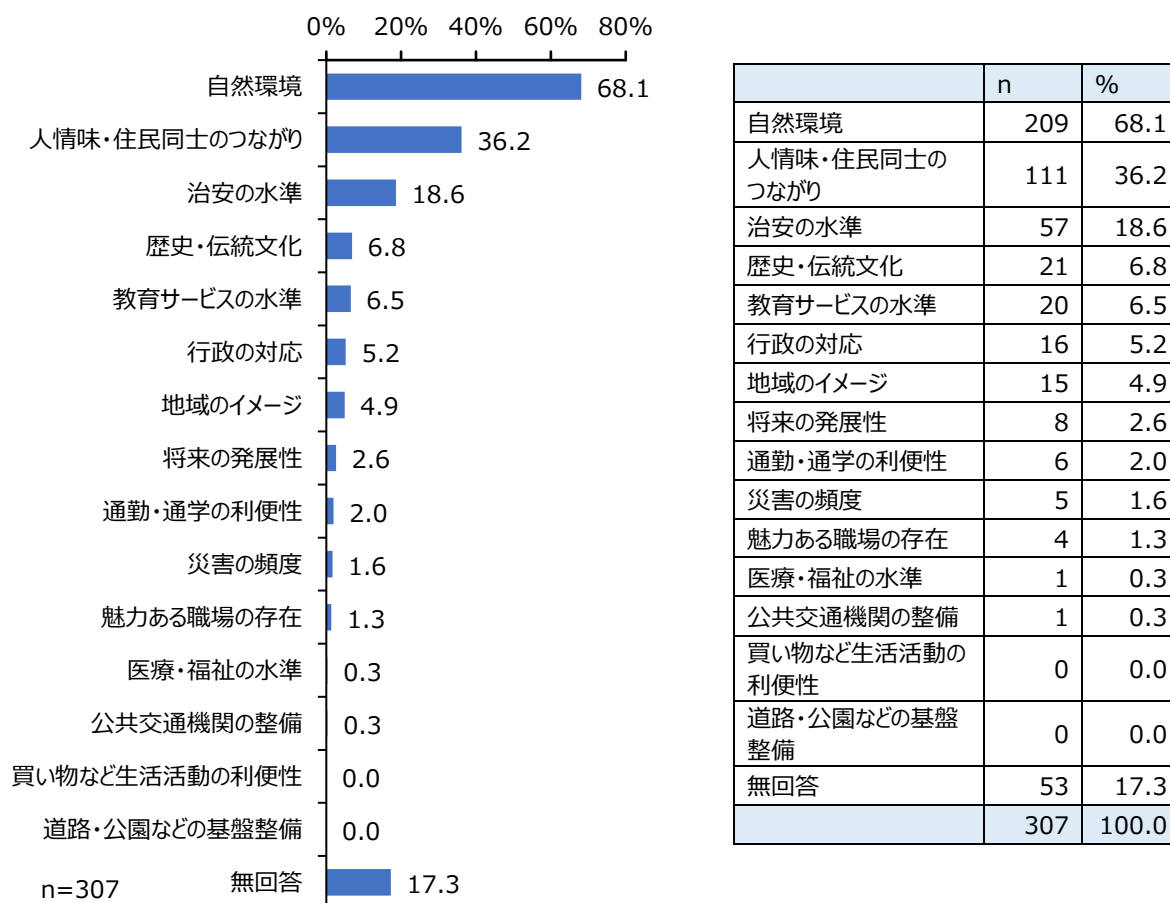


問 24（１）：他市町村と比較した、道志村の良い点（MA）

「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」と回答した方に対して、他市町村と比較した道志村の良い点について尋ねたところ（２項目まで選択）、「自然環境」が68.1%（前回調査70.7%）を占め最も多く、以下、「人情味・住民同士のつながり」が36.2%（同45.1%）、「治安の水準」が18.6%（同15.5%）と続いている。

年齢別では、「自然環境」を挙げた人が全世代で最も多く、「18歳～29歳」の56.5%が「人情味・住民同士のつながり」を挙げているのが目立っている。

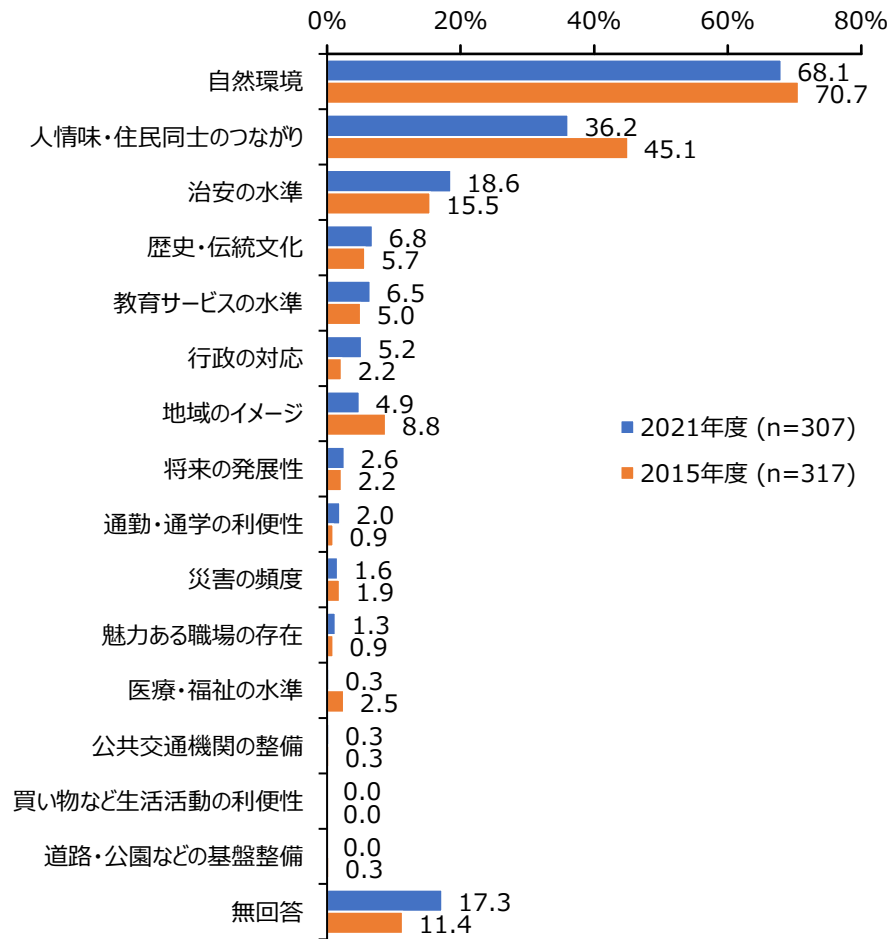
他市町村と比較した、道志村の良い点（MA）



※ 問 22 で「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」と回答した方

【前回比較】

他市町村と比較した、道志村の良い点 (MA)

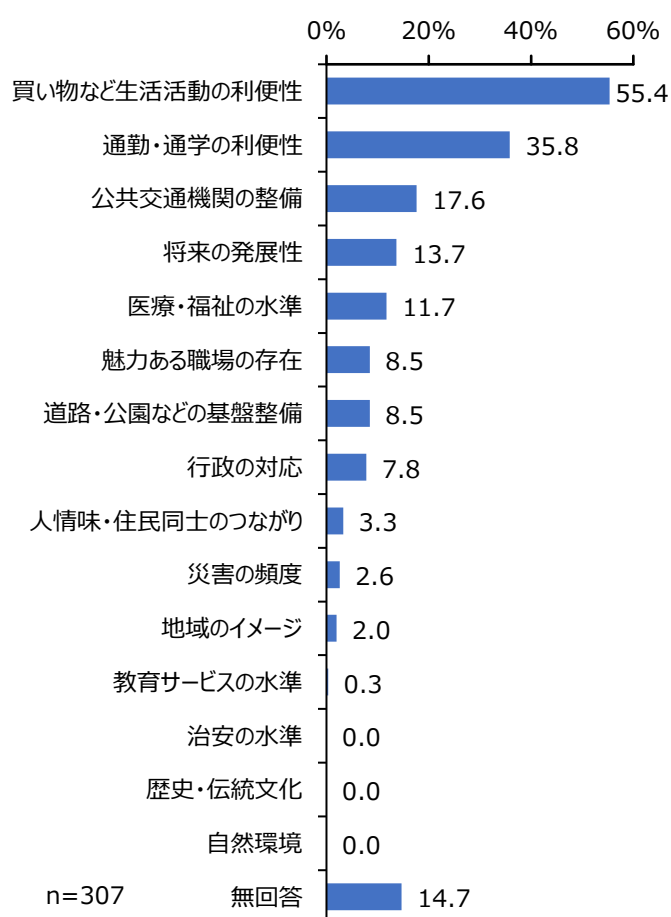


問 24（２）：他市町村と比較した、道志村の良くない点（MA）

「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」と回答した方に対して、他市町村と比較した道志村の良くない点について尋ねたところ（２項目まで選択）、「買い物など生活活動の利便性」が55.4%（前回調査49.5%）、「通勤・通学の利便性」が35.8%（同46.4%）と、この２項目が他と比べて突出した回答率となった。

年齢別にみると、「通勤・通学の利便性」「買い物など生活活動の利便性」は全年齢層で１、２位と高く、前回調査では高齢者に多かった「医療・福祉の水準」が「18歳～29歳」で21.7%と、全年齢層の中で最も割合が多かった。

他市町村と比較した、道志村の良くない点（MA）

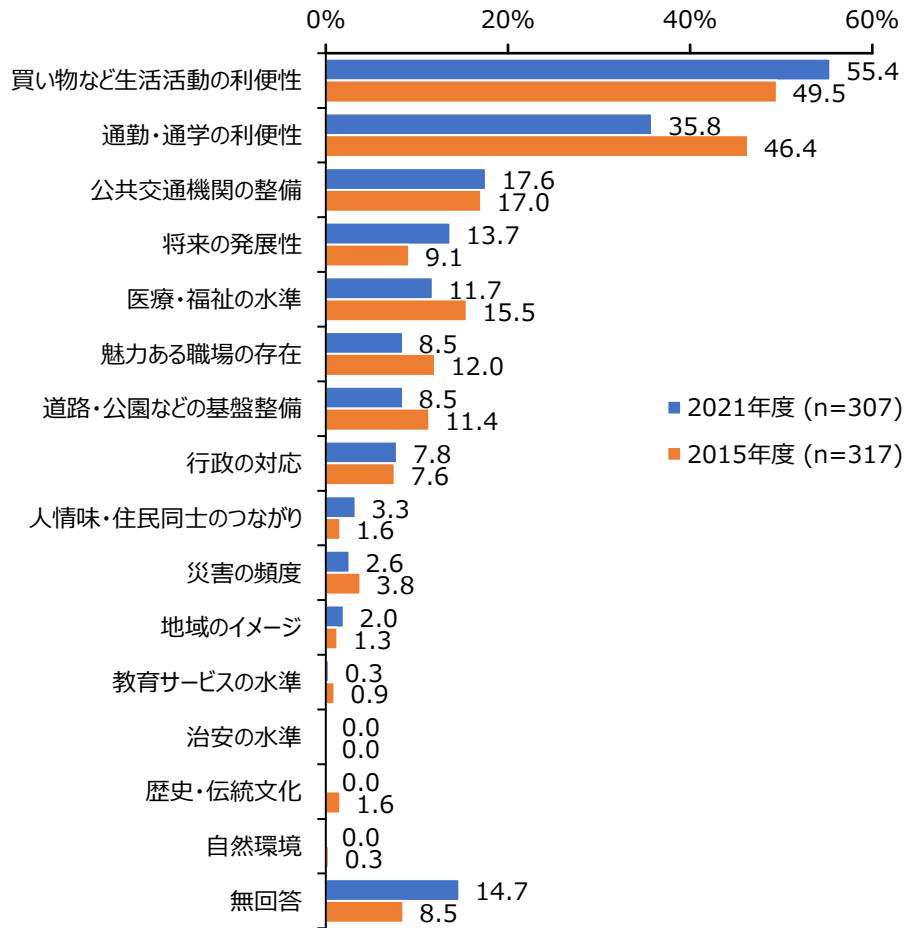


	n	%
買い物など生活活動の利便性	170	55.4
通勤・通学の利便性	110	35.8
公共交通機関の整備	54	17.6
将来の発展性	42	13.7
医療・福祉の水準	36	11.7
魅力ある職場の存在	26	8.5
道路・公園などの基盤整備	26	8.5
行政の対応	24	7.8
人情味・住民同士のつながり	10	3.3
災害の頻度	8	2.6
地域のイメージ	6	2.0
教育サービスの水準	1	0.3
治安の水準	0	0.0
歴史・伝統文化	0	0.0
自然環境	0	0.0
無回答	45	14.7
	307	100.0

※ 問 22 で「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」と回答した方

【前回比較】

他市町村と比較した、道志村の良くない点 (MA)

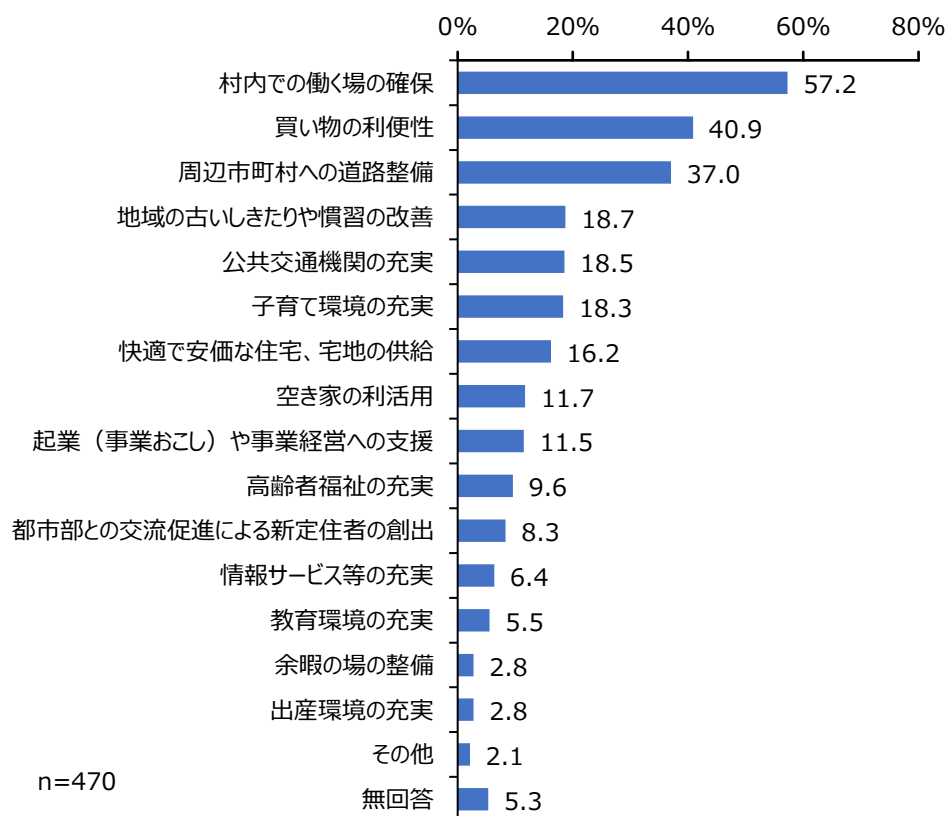


問 25：若年層をはじめ、村民の定住を促進するために、道志村として、どのようなことが特に必要だと思うか（MA）

若年層をはじめ、村民の定住を促進するために、道志村として特に必要だと思うことは（3項目まで選択）、他の設問でも多く指摘された「村内での働く場の確保」が 57.2%（前回調査 66.3%）を占め最も多く、前回調査では 3 位だった「買い物の利便性」が 40.9%（同 31.7%）、前回 2 位だった「周辺市町村への道路整備」が 37.0%（同 45.9%）で続いている。

年齢別にみると、すべての年齢層で「村内での働く場の確保」「買い物の利便性」「周辺市町村への道路整備」が上位 3 位を占めているが、「30 歳～39 歳」でのみ「子育て環境の充実」が同率で 3 位に入っている。

若年層をはじめ、村民の定住を促進するために、
道志村として特に必要だと思うこと（MA）

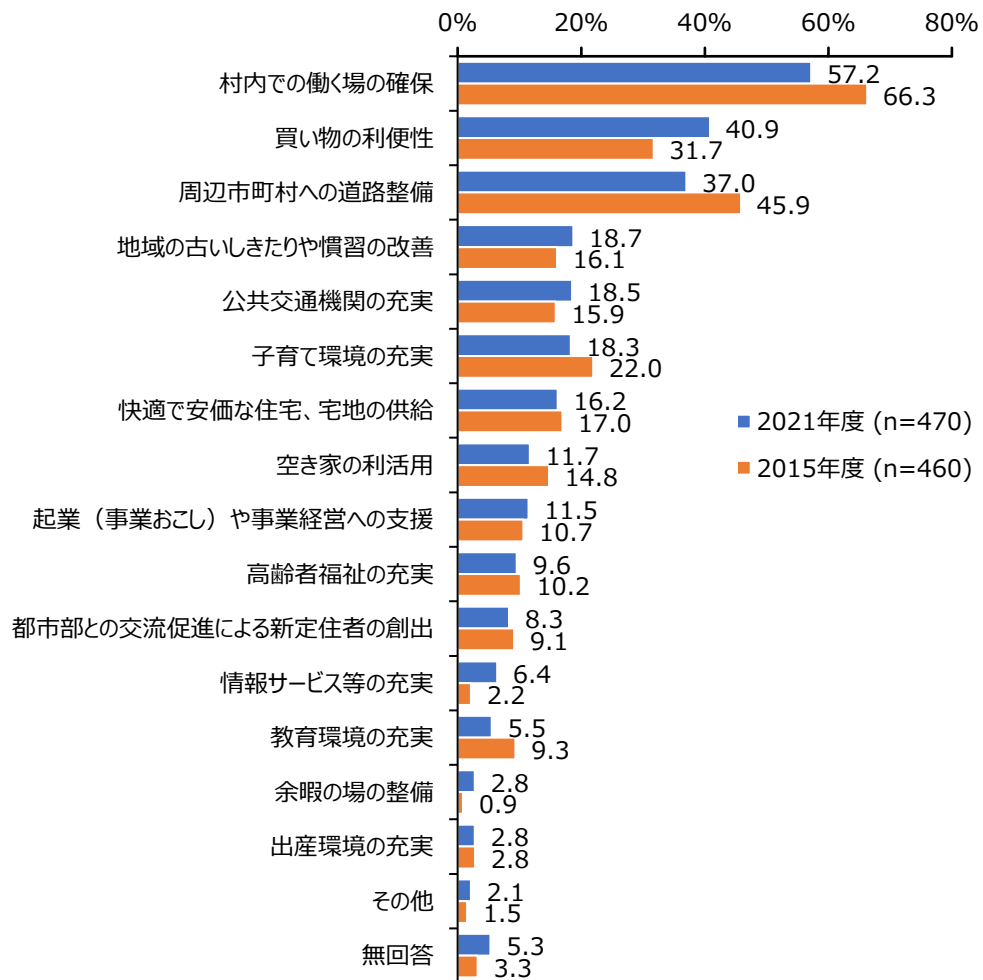


	n	%
村内での働く場の確保	269	57.2
買い物の利便性	192	40.9
周辺市町村への道路整備	174	37.0
地域の古いしきたりや慣習の改善	88	18.7
公共交通機関の充実	87	18.5
子育て環境の充実	86	18.3
快適で安価な住宅、宅地の供給	76	16.2
空き家の利活用	55	11.7
起業（事業おこし）や事業経営への支援	54	11.5
高齢者福祉の充実	45	9.6
都市部との交流促進による新定住者の創出	39	8.3
情報サービス等の充実	30	6.4
教育環境の充実	26	5.5
余暇の場の整備	13	2.8
出産環境の充実	13	2.8
その他	10	2.1
無回答	25	5.3
	470	100.0

その他	n
移住・定住環境の受け入れ体制の充実	1
今までやったことがない取り組みを考えてみる	1
行政が定住を促進する姿勢がないように感じる	1
近隣市町村との交流促進による新定住者の創出	1
相談窓口的なアドバイザーや気軽に話せる窓口の創設	1
村営住宅の新築推進	1
道志村の企業を伸ばす行政の支援	1
ネット回線の充実	1
派閥の解消	1
無回答	1
計	10

【前回比較】

若年層をはじめ、村民の定住を促進するために、
道志村として特に必要だと考えること（MA）



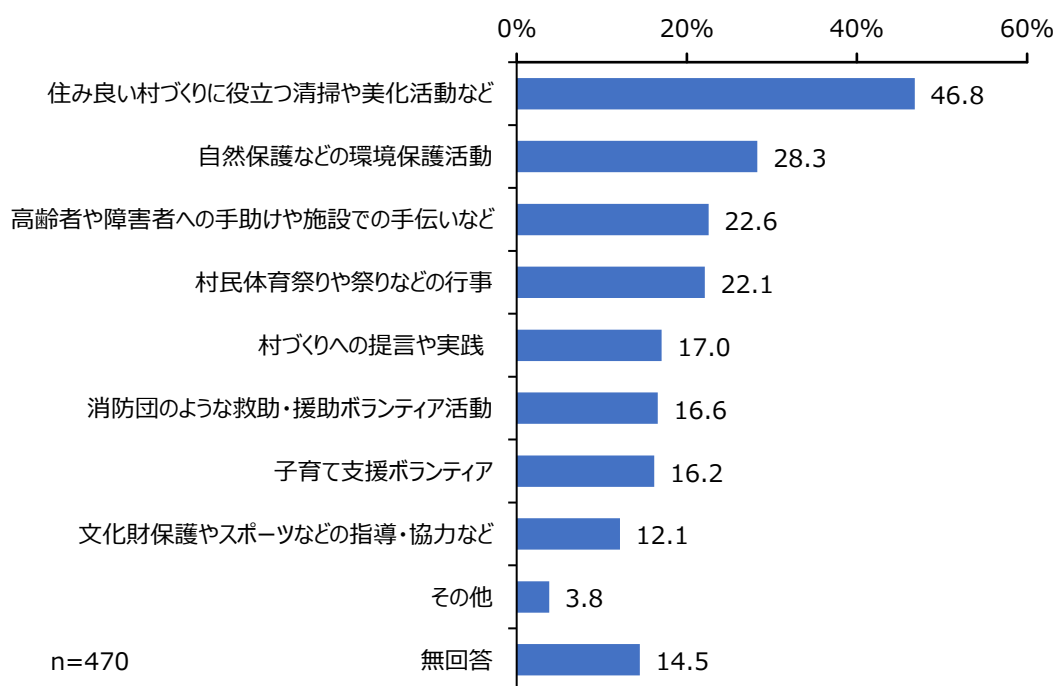
問 26：参加してもよいと考える公共的な活動（MA）

参加してもよいと考える公共的な活動は（いくつでも選択）、「住み良い村づくりに役立つ清掃や美化活動など」が46.8%（前回調査45.0%）を占め最も多く、2位に前回調査同様、「自然保護などの環境保護活動」が28.3%（同29.1%）と続いた。また、3位に前回調査で4位だった「高齢者や障害者への手助けや施設での手伝いなど」が22.6%（同22.2%）で入り、前回3位の「村民体育祭りや祭りなどの行事」が22.1%（同24.6%）と続いている。

年齢別にみると、「村民体育祭りや祭りなどの行事」は「40歳～49歳」以下で多い傾向にあり、「村づくりへの提言や実践」は「40歳～49歳」「60歳～69歳」で比較的多い。

前回調査と比べると、「消防団のような救助・援助ボランティア活動」をはじめ、4項目で減少したのに対して、増加も「住み良い村づくりに役立つ清掃や美化活動など」「村づくりへの提言や実践」など4項目となった。

参加してもよいと考える公共的な活動（MA）

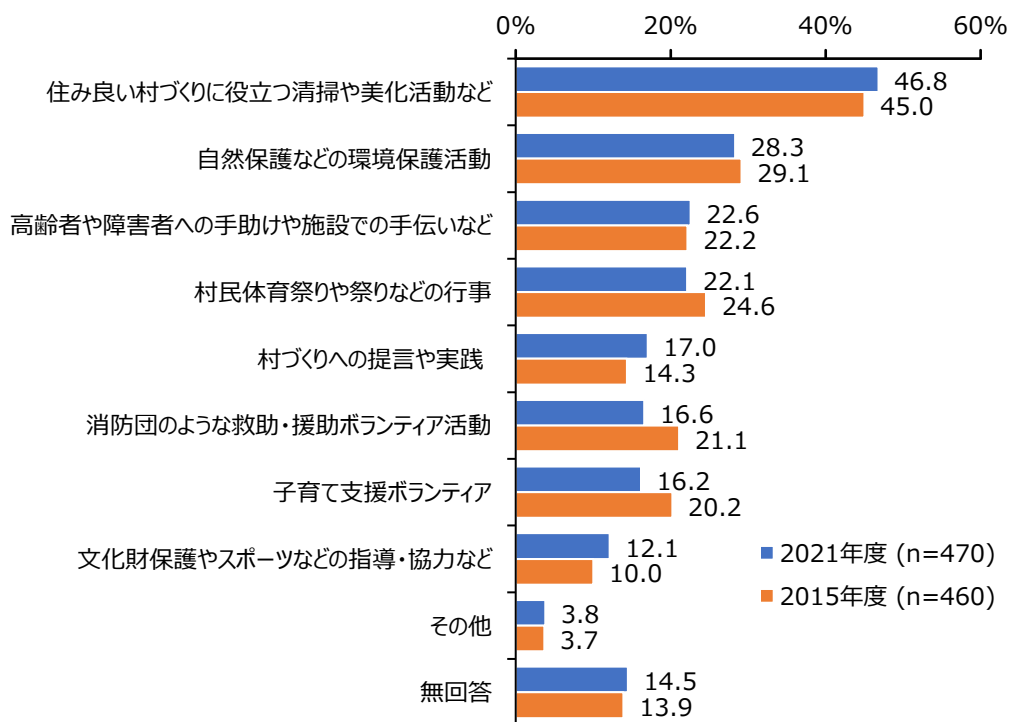


	n	%
住み良い村づくりに役立つ清掃や美化活動など	220	46.8
自然保護などの環境保護活動	133	28.3
高齢者や障害者への手助けや施設での手伝いなど	106	22.6
村民体育祭りや祭りなどの行事	104	22.1
村づくりへの提言や実践	80	17.0
消防団のような救助・援助ボランティア活動	78	16.6
子育て支援ボランティア	76	16.2
文化財保護やスポーツなどの指導・協力など	57	12.1
その他	18	3.8
無回答	68	14.5
	470	100.0

その他	n
自分の生活が安定したら何か出来たら幸いです	1
村外からの移住者を村民として迎える意識改革	1
道志村は強制になるところがよくない	1
ヤングケアラーの支援	1
特になし	7
無回答	7
計	18

【前回比較】

参加してもよいと考える公共的な活動（MA）

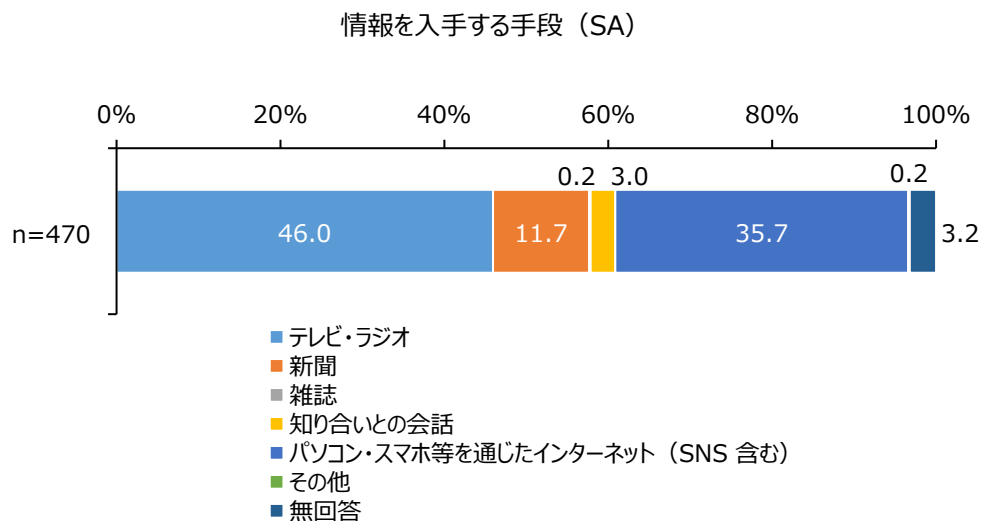


問 27：情報を入手する手段（SA）

普段、生活や社会・経済などの情報を入手する手段は、「テレビ・ラジオ」が 46.0%（前回調査 57.8%）を占め最も多く、以下、「パソコン・スマホ等を通じたインターネット（SNS 含む）」が 35.7%（同 24.1%）、「新聞」が 11.7%（同 12.0%）と続いている。

前回実績と比べてみると、「テレビ・ラジオ」の比重が下がり、「パソコン・スマホ等を通じたインターネット（SNS 含む）」が上昇している。

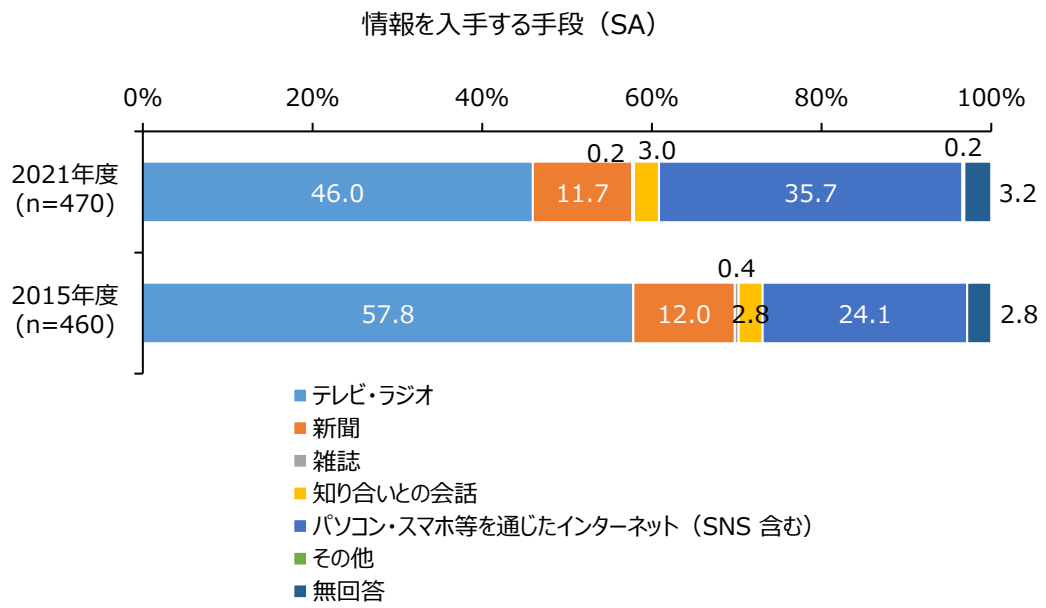
年齢別にみると、「50 歳～59 歳」以下は「パソコン・スマホ等を通じたインターネット（SNS 含む）」が最も多く、「テレビ・ラジオ」は 2 位となっているが、「60 歳～69 歳」以上は「テレビ・ラジオ」が最も多い。なお、「60 歳～69 歳」では「テレビ・ラジオ」に次ぎ、「パソコン・スマホ等を通じたインターネット（SNS 含む）」が、「70 歳以上」では「新聞」が各々 2 位となった。



	n	%
テレビ・ラジオ	216	46.0
新聞	55	11.7
雑誌	1	0.2
知り合いとの会話	14	3.0
パソコン・スマホ等を通じたインターネット (SNS 含む)	168	35.7
その他	1	0.2
無回答	15	3.2
	470	100.0

その他	n
無回答	1
計	1

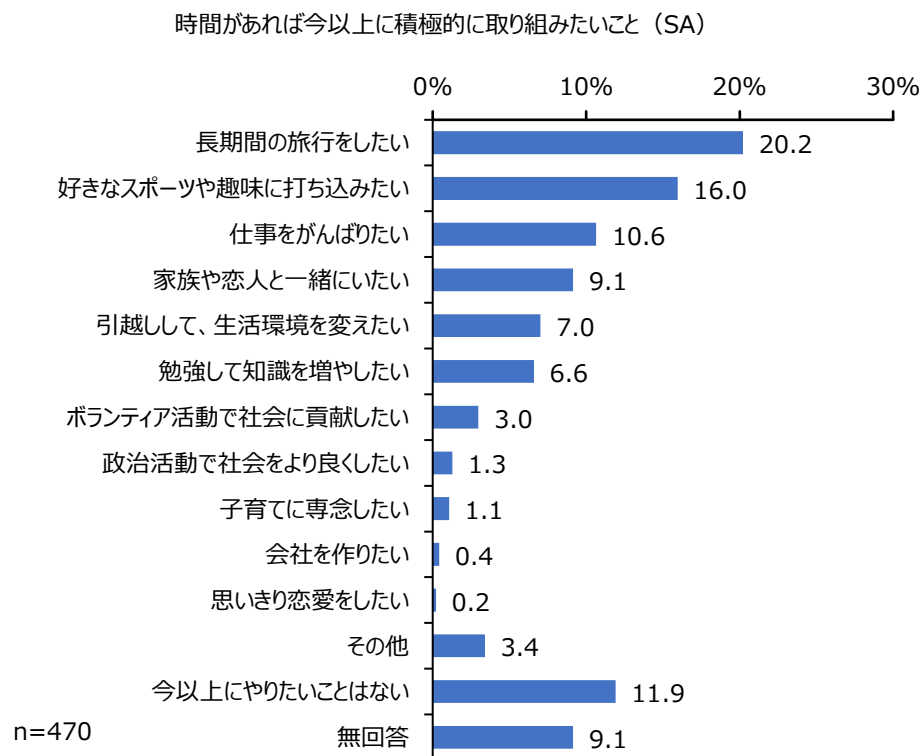
【前回比較】



問 28：時間があれば今以上に積極的に取り組みたいこと（SA）

時間があれば今以上に積極的に取り組みたいことについては、回答が分散したが、「長期間の旅行をしたい」が20.2%（前回調査21.3%）で前回同様に最も多かった。以下、「好きなスポーツや趣味に打ち込みたい」が16.0%（同16.1%）、「仕事をがんばりたい」が10.6%（同9.8%）と続き、前回とほぼ同様の傾向となった。

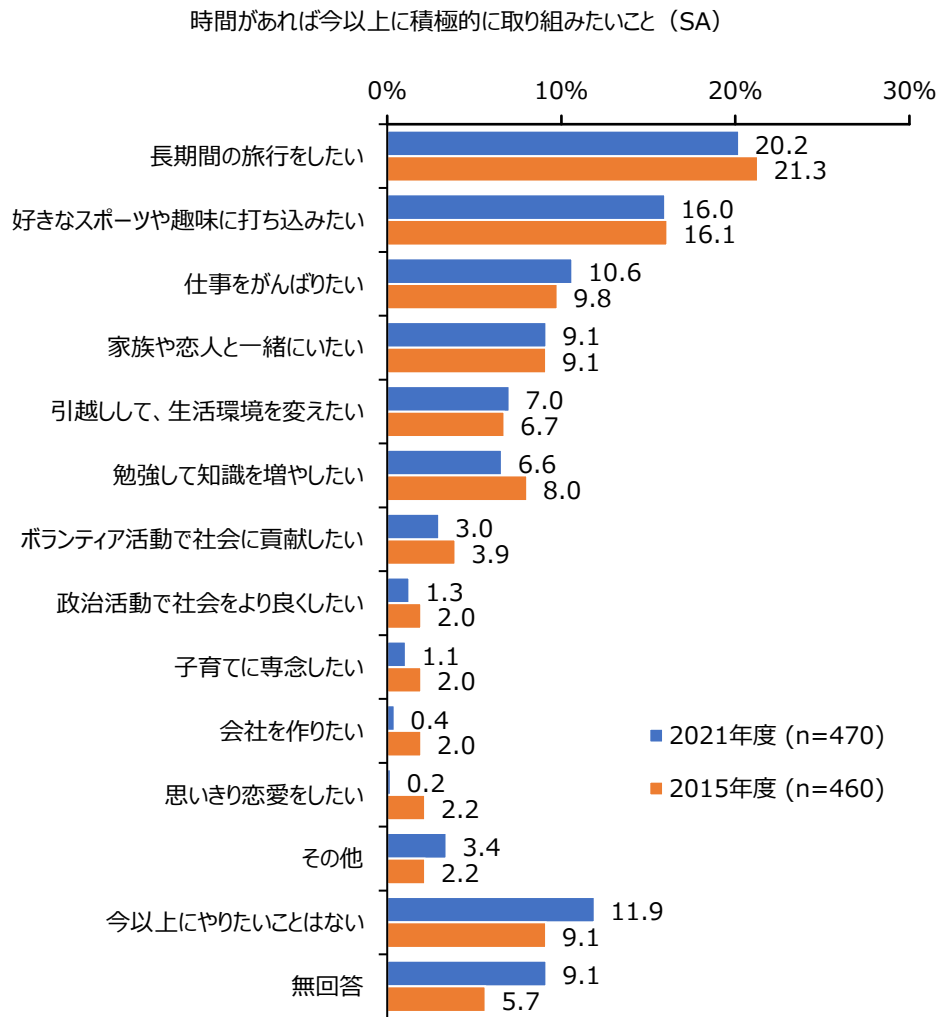
年齢別にみると、「家族や恋人と一緒にいたい」「子育てに専念したい」「仕事をがんばりたい」は若年層で、「長期間の旅行をしたい」は中高年層で比較的多く、「好きなスポーツや趣味に打ち込みたい」はすべての年齢層で1～2割台となっている。一方、「今以上にやりたいことはない」は「60歳～69歳」で16.0%、「70歳以上」で19.4%と高くなっている。



	n	%
長期間の旅行をしたい	95	20.2
好きなスポーツや趣味に打ち込みたい	75	16.0
仕事をがんばりたい	50	10.6
家族や恋人と一緒にいたい	43	9.1
引越して、生活環境を変えたい	33	7.0
勉強して知識を増やしたい	31	6.6
ボランティア活動で社会に貢献したい	14	3.0
政治活動で社会をより良くしたい	6	1.3
子育てに専念したい	5	1.1
会社を作りたい	2	0.4
思いきり恋愛をしたい	1	0.2
その他	16	3.4
今以上にやりたいことはない	56	11.9
無回答	43	9.1
	470	100.0

その他	n
以前の仕事の再構築	1
イベント活動による観光事業	1
おしゃべり友達を作りたい	1
趣味・活用	1
趣味や旅行等その他。ひとつには絞れない。	1
水耕栽培に挑戦したい	1
道志村の自然好きで縁も所縁もない所ですが、19年経ちました。地域のお茶飲み会のスタッフや作品教室等をやらせて頂き（コロナでお休み中で残念です）楽しく暮らしています。	1
農業を勉強してみたい	1
ボランティア活動、多趣味を含め行動したい	1
まだ死にたくない	1
町の名所づくり	1
もっと村をよくしたい。今は最低！	1
林業	1
無回答	3
計	16

【前回比較】

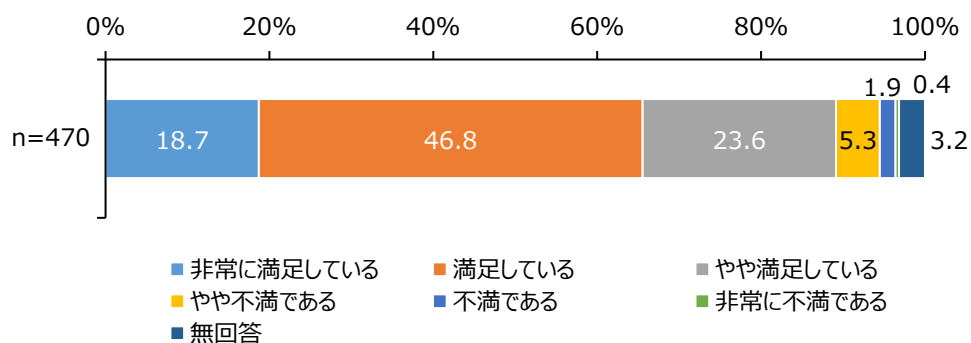


問 29（1）：道志村がこれまで実施してきた新型コロナウイルス感染症対策の主な事業をあなたはどのように評価するか（SA）

道志村がこれまで実施してきた新型コロナウイルス感染症対策の主な事業について、「満足している」が46.8%、「やや満足している」が23.6%、「非常に満足している」が18.7%となり、これらを合わせた「満足派」が89.1%と約9割を占め、村民はこれまでの村の対策に満足していることがうかがえる。

年齢別にみると、満足派は「18歳～29歳」で97.6%、「40歳～49歳」で93.3%、「70歳以上」が90.7%と高くなっている。

道志村がこれまで実施してきた新型コロナウイルス感染症対策の主な事業を
あなたはどのように評価するか（SA）



	n	%
非常に満足している	88	18.7
満足している	220	46.8
やや満足している	111	23.6
やや不満である	25	5.3
不満である	9	1.9
非常に不満である	2	0.4
無回答	15	3.2
	470	100.0

問 29（２）：新型コロナウイルス感染症対策で、今後実施したほうがよいと思う対策があれば記入してください（FA）

村の新型コロナ対策への「満足派」も「不満派」も、全体的に地域活性化商品券事業についての再度実施を期待する声や、事業方法についての改善の提案、商品券ではなく現金支給を望む声など、主に商品券事業に関係する内容の記入が多かった。

これまでの道志村の新型コロナウイルス感染症対策の事業に対して「非常に満足している」「満足している」「やや満足している」と回答した方（年齢順に掲載）

- 商品券の政策（29歳以下/女性）
- 商品券の配布。学校等への対策（費用、物品の用意）（29歳以下/女性）
- できればワクチンの接種を土日にも行えるようにしていただきたいです。（29歳以下/女性）
- 商品券の利用店が限られていて使いにくく、期限も短かったので、そこを改善し、商品券自体は助かるので、実施してほしい。（30歳代/女性）
- 子育て世帯に対する支援。ATMの整備。コンビニ交付やキャッシュレスの推進。（40歳代/男性）
- 地域振興券を使用できる所が少なすぎる。道の駅などをもっと活用して、今後取り組んだ方がよいと思います。（40歳代/男性）
- コロナ感染症は今後も続くものです。外食する機会や人との交流を避けることがよしとされる現状なので、地域活性化商品券は、食堂などの飲食店支援にとっても有効だったと思います。（40歳代/女性）
- 村外でも使用できるように、補助金の配布。（50歳代/男性）
- 医療機関が、よくがんばっていると思う。もっと環境を整えスタッフの待遇を良くしてほしい。（50歳代/男性）
- 子供への支援事業は、他地域より努力している。商品券の事業も生活に役立ち、地域の産業・商店のためにもとても良かったと思う。（50歳代/男性）
- 村長選の時、面倒くさいので、道志村の事を普段からみんなで話し合い、決めてほしいです。お互いに協力できる関係ができれば、いい道志村になると思うので、よろしく願います。（50歳代/男性）
- 地域活性化商品券は、食べられる物とそうでない物とに分けていただけたら、さらによかったですよ。（60歳代/男性）
- 一部の人の為でなく、村民全体のことを考えて下さい。農業・林業・製造業・勤め人でも苦しい人は沢山います。コロナ禍の中での食事用の券は使い難い。（60歳代/男性）
- 抗原検査ができるようにしてほしい。（60歳代/女性）
- これからも、わからない感染症対策、いつまで続くのか。そういった面で、不安もあり、ということで、やや満足であるということです。（60歳代/女性）

- 小規模な自治体であるため、非常にフットワークが良く、対応が早かった。（60歳代/女性）
- 地域活性化商品券事業の活用がしにくい。（60歳代/女性）
- 心に残っていて心配なこと。新型コロナワクチンに対する情報が一方的ではないか。ワクチンだけでなく他の処方もあるのではないか。免疫力のことは。（70歳以上/男性）
- 人口が少ないといえども村当局が早めに行動を起こさないと早い手は打てないと思います。良いと思います。（70歳以上/男性）
- 道志村村民の感染者の通知がない。村外の方々の散漫な態度への注意喚起が足りない。道の駅でのマスクの不着用やキャンプ場のパーティー等。（70歳以上/男性）
- 人口が少ないせいもあるが、ワクチンの行き渡るのが早かったのは評価できるが、地域活性化商品券はそもそも使える店が少ない。村の財源規模から考えて適切だったのか。（70歳以上/男性）
- 一部事業者だけ得をしているようだ。全村民公平に。（70歳以上/男性）
- 現在、ガソリン価格の上昇が止まらず、車はもとより家庭内暖房の対応に苦慮している。寒冷地対策として、暖房費の一部補助をしていただくと、ありがたい。他地域でも実施している所もあるので、ぜひ実現していただきたい。（70歳以上/男性）
- 道志村は人口が少ないためか、新型コロナの感染者が少なくてよい。ワクチン接種も大きな市より早くでき、予約も簡単にできてよかった。地域活性化商品券やマスク等配られてありがたかった。早くコロナが収まってくれるといいが。（70歳以上/男性）
- 診療所や歯医者に行くときはバスで行き、帰りはバスの本数が無いので歩きで帰ってききましたが、今は膝が痛くなり社協の車の送迎に頼っています。曜日が決まっている（金、月曜日のAM中）ので、合わせて行くことになるが、ありがたいことです。買い物ツアーに参加させていただきとても助かります。（70歳以上/女性）
- 続けてほしいです。（70歳以上/女性）
- 現金が良い（商品券）（70歳以上/女性）

これまでの道志村の新型コロナウイルス感染症対策の事業に対して「やや不満である」「不満である」「非常に不満である」と回答した方（年齢順に掲載）

- 商品券は飲食店に重きをおいている。なぜ。みんなコロナで大変だよ。（30歳代/男性）
- いろいろな意味で対応が遅すぎる。（40歳代/女性）
- この対策で得するところがだいたい決まってお（食事処、スタンド、車屋）、不公平感があるので印刷代もかからない現金支給にしたらよかったのではないか。（40歳代/女性）
- 高齢者の3回目ワクチン接種が遅かった。（50歳代/女性）
- 地域活性化商品券事業2回目も1回目と同様だが、飲食店利用にウエイトが高い。近くに飲食店がないし、利用できないので不公平だ。（60歳代/男性）

- 地域活性化商品券事業等で高齢者が使い切れずにいる（交通手段、買いたくとも行けない）など問題がある。また、本当に困っている人に手を差し伸べているのか、まだやることはあるのでは？（70歳以上/男性）
- 今回3回目のワクチン接種が、大雪による交通弊害でキャンセルせざるを得なかった。こういったことに対する善後策を、村としてどう考えているか聞きたい。（70歳以上/男性）

問 30：道志村の将来像、未来の道志村の村づくりについての考えや、意見を自由記述してください (FA)

道志村の将来像等、未来の村づくりについての考えや意見を自由に記述していただいた。なお、いただいたお考え、ご意見は地区ごと、年齢順に掲載した。

<月夜野・久保地区>

- 立地が理由で人が来なかったりするので、それを上回るメリットが提示できたら良いと思う。(29歳以下/男性)
- 子どもが将来、また村へ戻ってきたいと思えるような、働く場、地域の良さを大切にしてほしい。(29歳以下/女性)
- 若い人が活躍できる、閉塞感のない村を目指していけばよいと思います。(40歳代/男性)
- 新しく造る役場の中に、コンビニや図書館、子どもが遊べる場などを入れてもらって巡回送迎すればよいと思う。(40歳代/女性)
- 役場職員の皆様にはいつもお世話になっております。他地域に誇れる村だと思っております。これからもよろしくお願いします。(50歳代/男性)
- 小規模自治体に何の都会並みのサービスが期待できよう。(60歳代/男性)
- 道路一本のところ、住宅など、医療で急な時バイパス的な道路がもう一本あってもいいのかなと思います。大きく言えば、左右にトンネルなど必要と思います。すべてのアンケートに当てはまるのではないのでしょうか。(60歳代/男性)
- 「村民参加型の行政推進に取り組んでいます」と村は言っているが、参加の機会はなく、総合計画で掲げていても意味はない。計画を作ったなら実行しろ！ 村民の意見を聞く耳を村長は持て！ 村民懇談会を開催しろ！(60歳代/男性)
- 限られた財政なので無駄使いはしないで村民のために使ってほしいと思います。(60歳代/女性)
- 現在の政策で本当に心配ないか。村民の気持ちがどこにあるのか。何も感じていないか。二分した村民意識がどうなるのか非常に気になります。(70歳以上/男性)
- 留学制度導入。英国への。(70歳以上/男性)
- 通院などの交通手段(70歳以上/男性)
- 農業をしている者ですが、畑や山へ行くとヒルなどがいて、体に飛びつき気持ちが悪い。これを何とかならないものかな。近くの病院への送迎車を作って欲しい。(70歳以上/女性)
- 横浜市との交流があり、横浜の人々を呼び込みたい。山や川の道志の良い所をもっと散歩道など作り利用したい。川沿いに散歩道を、月夜野から長又まで散歩道がほしいです。(70歳以上/女性)
- 村民の村民による村民のための政治をしてほしい。(70歳以上/女性)

<長幡東地区>

- 忍野のように、企業の誘致などで、働く場所や住む人が増えたらいいなと思います。(30歳代/女性)
- 新しいものは作らなくてよいから、今あるものを活用してってください。豊かな自然を活かした教育や保育、福祉活動など工夫して取り組めばできることは沢山あると思う。ただ、行政が取り組んでいないから、村は何も変わっていない。村長のリーダーシップがまったく見えない。村民や役場職員らから、尊敬されるような前向きな政策ができる村長のリーダーシップ、指導力、価値観が、今、この道志村に最も不足しているものです。そのようなリーダーシップが発揮できるリーダーになってください。(30歳代/女性)
- 村の特徴あるものは、小中学校だと思う。村外の人を道志で学びさせたいと思う。教育方法を独自に掲げ実施すれば、住民も増えるかも。横浜の人材や教育方法など取り入れてみるなど、いいと思う。(40歳代/男性)
- 長田村長の言ったトンネルについて。村議会だよりで拝見しておりますが、当面無理なのは？と感じておりますが、早期に現実的に願っております。(50歳代/男性)
- 移住者を増やすのは大変なので、道志出身者のUターンを狙う。(50歳代/男性)
- 今後一人暮らしの老人が増えるのは確実である。そのような人のために共同住居を作り、プライバシーを確保しながら、医療体制・交通手段などを併設できればよい。(60歳代/男性)
- 現在、村外に通勤し、仕事をしています。通勤は大変ですよ。大風、大雨、大雪での坂道やまぶし峠日々経験しないと苦労は理解できません。やはり道路（公共交通整備）は必須です。本当に、道志村を住みやすい、住んでみて良かった！と思う村づくりを、行政、議会、その他は考えているのか疑問です。個人的な中傷より、本当に「良い村づくり」を考え、行動してもらいたいです。(60歳代/男性)
- 人口減少に歯止めをかける為に、道路整備や公共交通・医療に力を入れてください。また、他県民がおとずれ、お金をおとしてもらえる場所を増やしてください。サテライトオフィス強化もその一つだと思います。(60歳代/男性)
- 今進めている道路網のインフラ整備が未来の村づくりの基盤になると捉えている。その上で若者世代の雇用の創出、災害に強い村環境の整備、教育環境の充実、移住の促進等がダイナミックに展開してくものとする。(60歳代/男性)
- 職場が村内にあり収入があれば、若い人たちも落ち着き結婚して村に住み着くと。(60歳代/女性)
- 若い人が活気にあふれて生活できるような環境づくりを、全村民が意識して取り組めるようにできたら良い。老人も若人も未来の道志村づくりの一つの目標に向けて心の交流が必要。こういうアンケート結果を、ぜひ未来の道志村づくりに生かしてほしいです。結果は公表されますか。(60歳代/女性)

- 人口が増加してほしい。若いお嫁さん、お婿さんが来ないと始まらないと思う！！（60歳代/女性）
- 今、移住している人を村から出すような嫌がらせ。なぜ役場が竹ノ本でなければならないのか。空いているグラウンドなどの活用。村外の人が寄れるところがない。休めてほっとできるところはできないのでしょうか。（60歳代/女性）
- 前に安心して暮らせる村づくりとして女性だけの会合がありました。女性からの村の現状、これからの道志村をどのようにしたらよいか意見交換をして、よい成果ができました。その中で現状実施している買い物ツアー、お茶飲み会が実施されています。女性だけの意見も大事だと思います。今の村の現状をみれば、いろいろな話し合いができると思います。（60歳代/女性）
- ともかく道路の整備を。年をとると公共交通機関の整備をお願いしないと生きていけないと思います。（60歳代/女性）
- 独身者が1人でも多く結婚して子供を増やせるように、村で支援して、人口を増やしてもらいたい。希望します。（70歳以上/男性）
- 村民参加をうたっているが、現村長は本当に村の中へ入り話をし、村のために働いているのか聞きたい。道志村全体の住民の声を聞いてほしい。（70歳以上/男性）
- 子どものいない村には将来はない。子育てに全力を注ぐべきだ。（70歳以上/男性）
- 村を大きくするなら、働く場が第一であり、企業を呼び込むことが一番だと思う。仕事が村ででき、収入があれば自然と村内に住むようになる。（70歳以上/男性）
- ”老若男女問わず、安心して住める村づくり目指して”のテーマで全村的な懇談会が持てればいいなと思いつつ、アンケートに答えてみて、役場の方々がその先頭に立ってくれることをひたすら願う。（70歳以上/男性）
- 独身者が多いので、婚活をして、人口を増やしてもらいたいです。もちろん、時代の変化もあると思いますが、人口減少を食い止めて人口増加を切に望みます。（70歳以上/女性）
- 以前は豊かに往来していた村民だったはず。今ほど寂しい思いをしていることはなかったのでは。高齢化しているが、体力的、生活の質は向上しているはず！村政のバックアップがあればこそ村としての質を向上させる力になれる。この村で過ごせてよかったと思わせてください。（70歳以上/女性）

<長幡西地区>

- 役場のみなさんいつもお疲れ様です。私は村外から転入して2年になりますが、道志村の環境がとても好きです。そんな道志村がより良く、今の雰囲気を残したまま発展していくことを願います。子育てをしていると身としては、外と内で両方遊べる施設があるととてもうれしいです。今は思いきり遊ばせるのに村外へ行っているのが現状です。距離も長いですし、交通事故の心配もあります。昔の学校の体育館や校庭を活用し、遊具などを設置していただけるとうれしいと思います。これからもよろしく願います。（29歳以下/女性）

- 行政と住民が一体となって進める村づくりが大切と思います。（30歳代/男性）
- 甲府まで行くのと同じ時間で東京まで行くことができる、位置はとても良い村だと思っています。ただ運転する道のカーブがきつかったり、どこに行くにも必ず峠を通らなければいけなかったりするところが大変です。道が良くなれば人が増える、人が増えれば店も増え利便性が上がる、そうなっていけば良いなと思っています。（30歳代/女性）
- 新しく道志村に住みたいと思ってくれる人が心地よく住むことができ、元々村で生まれ育った人も一緒に、明るく開けた村づくりができるといいなと思っています。（30歳代/女性）
- みんなで道志村を守っていきましょう。（40歳代/男性）
- 若い人が住みたいと思える村づくりを考えてほしいと思います。コロナ禍で地方移住に関心が高まっているので、自然環境や教育環境の良さを強化して魅力ある村づくりをしてIターンやUターン者を増やして欲しいと思います。（40歳代/女性）
- 毎日の生活に不可欠な商店（コンビニ）、ガソリンスタンドの経営を支援していくべき。（50歳代/男性）
- 少子化に歯止めをかけて、子どもを増やす施策を迫りつめていくことが重要と考えます。（60歳代/男性）
- 人づくりから。まず、役場から。（60歳代/男性）
- この調査結果はぜひ全村民に公表してください。でないと、この調査の意味がありません。住んでみたい村、住んでよかった村にはほど遠い感じがします。ここで数人が転出。村で就職した人が村外に職を見つけて転出する方がいます。もっと魅力がある村、なんでも言える村、明るい村、活気のある村になってほしい。こんなに何も言えない疲弊した村はよくない！（60歳代/男性）
- 未来というよりは、今、現実にしなければならないことがたくさんあるように思います。皆、すばらしい村になることは、思っていますが、今が充実することが、つながりになっていくのでは？（60歳代/女性）
- 道志川側に植林（桜やモミジ）。静岡県河津町のように！（70歳以上/男性）
- トンネルが早くできて、東京、横浜の人達が来てくれると、本当に活力が出ますので。また、自然を大切にしてほしいです。まずは、走路整備をしてください。（70歳以上/男性）
- 現在、自分も運転できていて、好きな時に買い物や用事に出かけることが出来て幸せです。いつまでこれができるのか、心配すればきりがないので、一日一日を大切に生きていきたいと考えています。（70歳以上/女性）
- 高齢による運転免許を返納した後の“足”をどうするか。気軽に利用できる公共バスやタクシーがあればいいなと思います。（70歳以上/女性）
- 豊かな自然を守り続けてほしい。（70歳以上/女性）
- 平日、診療所に常に先生がいることを望みます。内科の先生がいてくれればいいな、と思います。（70歳以上/女性）

- 道志の自然を生かした定住化を促進する。(70歳以上/女性)
- トンネルが早くできますように。(70歳以上/女性)

<川原畑地区>

- 移民と移住者との壁がなくなるような風土になってほしい。業務お疲れ様です。(29歳以下/男性)
- 難しい事だとは思いますが、村内の雇用を増やすことと、子育てのサポートや高齢者の方が住みやすい村、というようなことを目指して村づくりをしてほしいと思います。(29歳以下/女性)
- 週に1回ペースで村内全域交通指導、毎日やってもらいたいものだ。(40歳代/男性)
- 村がどういうことをしているのか、よく分からない。(50歳代/男性)
- 生活を送っていく中で、必要最低限の環境を整えて欲しい。(売店やスタンド)(診療所の固定医)。高齢経営者が亡くなったあと、跡継ぎもなく買い物もできなくなるのではと不安がある。村内で働ける職場を増やしてもらいたい。村外へ通勤していても、年を重ねるごとに厳しくなってくるので、年老いたら地元で転職できる職場が欲しい。(50歳代/女性)
- 診療所の体制をどうにかしてもらいたい。(50歳代/女性)
- 他の市町村への道路整備(トンネル)を早めにしてほしい。村での働ける場所の確保。医療機関体制をよくする。(50歳代/女性)
- 果たしてアンケート結果が活かされるのか。また、意味があるのか。村民個々が見えていないのではないのでしょうか。何も改善されない行政。同じ事の繰り返しでは。村民の意見を聞く機会がなさすぎる。コロナのためではないと思う。(60歳代/男性)
- みなさんの意見考えをまとめるなかで、すばらしいアイデア、実践を期待していますよ。ふるさと納税にもう少し力を入れてもよいのでは。自主財源を獲得するよい機会だと考える。返礼として土地の特色ある物を出すいい機会。富士吉田市60億円以上、給食費、観光施設などへ。道志村は5年前、県下で最低額。今は4千万円くらいかな。もっと伸ばせるはず。2、道の駅の赤字解消。もっと精通した人を入れるなどした工夫を。8年前から赤字。(60歳代/男性)
- 子どもが遊べるような公園等の設備。(60歳代/男性)
- 現在における役場の人事が良いとは思わない。村の一部の人間の感情で動きすぎ。事業においても、サービスにおいても、役員においても、平等かつ透明であるべきである。(60歳代/男性)
- 道の駅、道志温泉の赤字の補てんを税金で賄うのではなく、黒字化にする努力がない。(60歳代/男性)
- 今の行政には将来は期待できない。それよりは、今、まさに崩壊しかけている道志村行政の早い立て直しを、若い職員の皆様をお願いしたい。村民の多くは皆様の行動力に期待している。(60歳代/男性)

- 古民家の利用者が増える。若い人たちが移住。子どもたちが増える。こじんまりしているが活発な子どもたちと、安心して暮らせるお年寄り。そんな村が理想。少しでも近づけるように、努力協力していきたい。（60歳代/女性）
- 村人口が減少していくが、村人どうしの交流は残してほしい。村の人々の人柄の良さ、面倒見の良さを、身をもって体験してきて、自分より若い世代に伝えていけたらと思います。ウォーキング・物作り・講演会・芸術鑑賞・健康作りなどの催しの機会を村役場が設けてくれるので、できるだけ多くの村民に参加してもらい、心の交流ができれば嬉しいです。（60歳代/女性）
- 駐車場の設備。誰もが自由にあそべる、公園等の設置。（60歳代/女性）
- 子どもが少ない現状。今、道志村で育っている子供達が何人道志村に残って生活するでしょうか。未来が心配です。銀行もない、コンビニもない。昔より過疎化はしていると思います。道志村に住んでも収入の少ない人は出費が多く、生活するのは大変です。未来に希望はあまり感じていません。でも、子どもや孫のために希望のある道志村であってほしいです。（60歳代/女性）
- 村民に対しての行政の公明性・透明性の確保。信頼される村政。（60歳代/女性）
- 413号線を通る車や人はとても多いので、道の駅以外に環境客が立ち寄ってくれ、お金を使ってくれる、道志村の収入につながるレジャー施設、観光施設があればよいと思う。耕作放牧地が沢山あるので、特産品を生産したり、花を植えたりして環境をよくしていき、村のイメージをよくするよう心がけていくとよいと思う。（ごみが一つも落ちていないという村にしたい）河原の護岸工事で道志川の景観はとても悪くなった。石垣を貼り付けるだけでなく、もっと自然景観を考えた工事を望みます。（60歳代/女性）
- 益々高齢者が増えていく中で、都内や都会や近隣の若い方々や、50・60代の早期リタイヤ組が喜んで移り住みたい魅力に欠けています。国道以外の歩道や散策路の整備。朽ちた建物や看板の放置、ブロック塀の撤去。景観に配慮した自動販売機の設置。金属質の外壁や塀や平らな屋根の建物の建設を禁止。農民レストランの前の廃墟と化した公衆便所の撤去。新築をする場合は道路から1mのセットバックの義務付け。公共交通機関が脆弱なため、村内外の足への支援と助成（いつの日か自分も運転できなくなる）。道志の湯の設備の充実化（ジェットバス、バブルバス等）。道の駅食事メニューの道志らしさの特徴や演出、旅路を感じるメニューがない（美味しくない）。忍野の蕎麦屋ではヤマメやイワナがよく売れている。自宅近くの利用するゴミステーションのごみ袋が無分別という理由で、数年間そのままになっていて不潔。捨てた人を探るか、撤去してほしい。（70歳以上/男性）
- 未来が見えません。（70歳以上/男性）
- 公共交通の整備。相模原市～山中湖間の電車開設。相模原市の道路整備。（70歳以上/男性）
- 村民参加の村政（70歳以上/男性）

- 空き家をリフォームし、住みやすいように。移住者がたくさん来られるような村になればいいと思う。(70歳以上/女性)
- 思いがけずマスクや消毒液等なかなか購入できない時に、役場から支給され大変助かりました。また防災グッズの支給も有難うございました。(70歳以上/女性)
- 子供達に村の歴史や文化について学ばせて欲しい。村外から農業体験に来るのに村の子供達は農業について無知な気がします。行政職員の採用について、資格や才能を有し、仕事が出来て村民に信頼される人材の採用を望みます(自分の仕事がこなせる人)。(70歳以上/女性)

<神地地区>

- 何よりも、若い層の人口を増やすべき。(29歳以下/男性)
- 「何か」をしないとイケない時期であると思う。旧来の不透明で不公平な政治をまずなんとかしてほしい。村民は気付いているけど言えないだけである。(29歳以下/男性)
- 人口が増加し、外国の方も増加し、異文化交流ができる村。(29歳以下/女性)
- 未来の道志村の村づくりに向けて、より良い村となるために、村外に行きやすくするために、道路の整備などをするとより良くなると思います。特に、買い物に不便さを感じているので、村で買い物がしやすくなったり、村外に行きやすくなったりするといいなと思います。また、村内で村の人々が働ける場をつくることで、村に帰ってくる人も増えるのではないかと思います。(29歳以下/女性)
- 小さい子供が遊べる場所が欲しい。ブランコ、滑り台だけでもいいので。公園で遊ぶために村外に出るのが大変。村にそのような場所があれば、親も子も親睦ができると思う。(30歳代/女性)
- 新しく来てくれる人も大事だとは思いますが、まずは今住んでいる人が充実した生活を送れることが大切だと思う。(30歳代/女性)
- 長い年月がかかるとは思いますが、道路整備が重要だと思います。都留から道志のトンネル計画はもちろんですが、都留。道志から小田原方面の山から海をつなぐ計画などはどうでしょうか？また、村営によるコンビニ経営、及び、大型キャンプ場。コテージ経営を実施していくのはどうでしょうか。民間経営ではいろいろな万で大変なので、地域雇用も増えると思います。(40歳代/男性)
- 現状の道志村では村外に出たい人は多くいます。①医療体制として、診療所をどう思いますか。アンケート必要。②人が少ないのでいろいろな役がまわってくる。③高校生の送迎体制を検討してください。④子供が遊べる大規模な公園が必要です。⑤トンネル工事道志～都留線、村民への周知はしていますか。最後に、このアンケートの大きさ厚さに対してこの封筒(返信用)は小さいですね。(40歳代/男性)

- 村民全体で未来の道志村を考えていく必要があると思います。昔からの関係にこだわって足の引っぱり合いをしていて、マイナスにしかならないと思います。だから道志はよくならないと。特に選挙はバカらしいと思います。(40歳代/男性)
- どこへ行くにも峠越え。人口減少を止め、コンビニひとつくらい作ってもらいたい。(40歳代/女性)
- 住みやすい村には、居住と買い物できる場づくりが必要だと思います。コンビニ機能はATMも納付もでき民間コンビニの誘致をすることで、かなり解消できるのではないのでしょうか。村の見どころをPRできるよう、看板やサインの効果的な掲示もいいと思います。お土産や、村の所々に面白味やユーモア感が足りないのも、その点も村づくりに必要な考え方は。(40歳代/女性)
- 一部の村民への優遇や偏った人事採用の廃止。公平な入札の実施。(50歳代/男性)
- 退職後、高齢になっての移住者が多く、透析に通っている等の話をよく耳にします。健康保険、介護保険等、財政は大丈夫なのか？と感じます。(50歳代/女性)
- 子ども達の将来のために、英語、ICT教育環境に力を入れてください。(60歳代/男性)
- 多くの村民が参加できる行政の推進。村民の各年代層の意見・考えを聞く体制づくり。道志村を思うファンづくり(道志を愛する人々)。村づくりは”人づくり”、教育と地域コミュニティーを推進する。人口の減少対策(定住・移住対策と資源活用)。移住者の村づくりへの参加推進(移住者の力を、技を村づくりへ)(60歳代/男性)
- 若い人が住みやすい魅力ある村づくり。コンビニとかの店がほしい。人口の増加。企業の融資。(60歳代/男性)
- 村の中のパワースポットとよばれる神社や、矢崎の山のこの花咲くや姫のやしろなどを、観光のために整備してもらいたいです。(60歳代/男性)
- 今の道志村は昭和時代だ。なぜトップを替えない。わからない。トンネル都留線、どうなった。選挙のときしか聞かないトンネル？これから、道志はどうなる。心配。(60歳代/男性)
- 若い世代を応援していける村づくりと目上の人を思いやる村づくり。自由に発言できると良いですね。道志村は良いところだと思います。(60歳代/女性)
- 有機農業の推進。水や森林資源を活かした村づくり。公共施設(やまゆりセンター、村役場、社協など)にカフェコーナーを設けて、人々が気軽に立ち寄ってくつろげる場にする、というのはどうでしょうか。(60歳代/女性)
- 道志村は水に対しては自信をもって環境を整備して水上は水下を思う気持ちをもって、森林整備など充実して独自のブランド商品を作って若者～老人までが充実して社会をおくれる状況をつくれれば、まだ救えると思います。例、クレソン田園を村で作って働ける場所をつくれれば、もっと皆が住みよくなると思います。(70歳以上/男性)
- 道志に来て長いですが、未だに在来住民と移住民の間には心の壁を感じる。近隣の村では移住者に比較的オープンに感じるのは気のせいだろうか。村長選等では真っ二つになる村民も。移

住者には一致して他所者扱いするように見える。行政も村民ももっといろいろな意味でオープンにならないと、今世紀半ばあたりまで道志村が残っているだろうか。いい人も沢山知っているの、嫌いで言う意見ではない。ただ、このままでは道志の未来は厳しいと思う。こういったアンケートが来るようになっただけでも進歩か。(70歳以上/男性)

- 村長に都留とのトンネルは村民をだましたのか。(70歳以上/男性)
- 行政に魅力ある人材を。(70歳以上/男性)
- 相模原市(橋本)までを通勤圏内にできるよう、道路整備をしてほしい。神奈川中央バスを村内(山中湖)まで運行できないものか。防災トンネルはどうなっているの。(70歳以上/男性)
- 若年層等、定住を促進するアイデアが必要。(70歳以上/男性)
- 今の村には魅力がありません。将来性がなく感じ、村から出て行く若い人もいます。残念です。私も出て行きたいくらいです。(70歳以上/女性)
- 子供達の声があちこちで響き渡る村になったらと思います。(70歳以上/女性)
- 横浜の30代40代の若い人が村長になってくれたらなーと思っています。(70歳以上/女性)
- 人は一人では生きられません。助け合い支えあって生きることが大切だと思います。「年よりも若い人も子供たちも、みんなが集まって楽しくすごせる所ができないかなあ」と夢みながら一人ぐらしを楽しんでいる私です。(70歳以上/女性)

<善之木地区>

- 道志村に既にある魅力を内外にわかりやすく発信することができれば、道志村内に埋もれている良い要素に気付けると思う。(29歳以下/男性)
- 早く、道志都留のトンネルを作ってください。(29歳以下/男性)
- ①魅力ある働き場の確保。②自然とテクノロジーの融合。③充実した子育て環境の充実化。(29歳以下/男性)
- 安い住地をつくること。長男が家をつくって道志に入るようにすること。トンネルを早くつくること。(29歳以下/女性)
- 村の中に学校(小・中学校)がなくなると村の発展は難しい。留学制度等を取り入れないと、閉校せざるを得なくなるのは時間の問題であり、教育の質の向上も難しくなる。(29歳以下/女性)
- 村民のための行政としての説明をわかりやすくしてほしい。児童、生徒の人数の現象を放置すると、学校教育が維持できなくなる。早期に、横浜等との留学生の対応を考えた方がよい。(29歳以下/女性)
- 人口減少で村が機能しない。移住者受け入れ体制を整え若者移住者を増やすことに努力が必要である。村長の村づくりの考え方、何をしているのかお聞きしない。村の考えがわからない。(30歳代/男性)

- コンビニ必要（30歳代/男性）
- 何か事業を始めようとする、反対する村民が多いと思う。（40歳代/男性）
- 子育て世帯の増のために、抜本的な施策が必要。どの自治体にもあるものでなく、道志村に転入したくなるような手厚い施策があるといい。（40歳代/男性）
- アンケート結果を公表して頂けるとありがたいです。（40歳代/男性）
- 若い世代が定住するのに協力して頂きたい。相談窓口等をもうけて、相談しやすいようにして頂きたい。（40歳代/男性）
- 一度出た若者が戻って来られやすい環境が大事かと思います。昔からの風習、しきたり、親戚行事など、簡素化する方向へいくと良いのかと思います。移住し続ける特典（土地代に比べて借地権の場合、好立地でもないのに高すぎるため、土地代を超える地代を払ったら所有できるとか）があると、定住する率が高くなると思います。地代の適正を期待します。地主さん方の歩み寄りを希望します。（40歳代/女性）
- 観光PRの強化を。SNSなど。インターネットを充実させ、都会からの移住者を増やす。スーパーかコンビニの普及。無駄な風習の廃止。（40歳代/女性）
- コンビニを作りたい。（50歳代/男性）
- 観光には力を入れているイメージだが、村内には様々な企業が多くあるにもかかわらず、企業に対しての行政の補助や、知識がないので県や国の補助も知らないことが多すぎて。村内企業を伸ばして、村民在住を考えた方がいい。（50歳代/男性）
- 少子の面で、学校が存続できなくなると若い方は定住できない。横浜市との連携で留学制度を創設してほしい。（50歳代/男性）
- いつも村民の意見を聞いてくださりありがとうございます。突然の停電で役場に電話した時も、丁寧にご対応いただきありがとうございます。中学校は先生方も保護者の皆さんも子どもたちもとっても良い方々で感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちの全身全霊の七里太鼓は本当に素晴らしくて。道志村の自然の中にいるような、ご先祖様と対話をしているようでした。文化、伝統の真髄を見た気がして、とめどなく涙がこぼれました。道志村は自治会で「山の神」の行事などもあるようで素晴らしいな・・・と思いました。道志村で皆様からそして自然から学んだ目に見えない大切な事、そして生きている奇跡に感謝しながら生きていきたいです。（50歳代/女性）
- 地デジが変わってからTVチャンネルがほぼ映らなくなりました。コロナ禍で唯一楽しみなTVも満足に見られません。へき地、交通不便、店がない、コンビニもない。病院も毎日やってなく何もかも不便なところ。TVくらい映してほしいです。今回、広報を郵送され安心しました。配る人も嫌だと思えます。お金集め、広報などの配りものなど自治会長の負担も軽減されることを望みます。（50歳代/女性）
- コンビニが無いので作ってほしい。買い物不便すぎる。（50歳代/女性）

- 住民（大人）が道志村の良さに気付く事によって、子供にも定住したい気持ちが生まれる。村外にも道志村の良さをアピールすると同時に、村内にも道志村の良さをアピールする。良さを実感することのできる環境やサービスを提供することを期待します。（50歳代/女性）
- コンビニを取り入れてほしいです。（50歳代/女性）
- 国道413は土日に交通事故多発しているのはご存じだと思います。交通違反取締はやっていますが、交通安全キャンペーン中がほとんどですので、分散して多くやって欲しいです。村民は土日に車に乗るのが怖くなっていますよ。（50歳代/女性）
- 村民の古い考えが残っており、地域の葬儀等の働きに、2日間も仕事が休めず参加することができない。そうしたときなど近所からの陰口が酷く、人間不信になり近所との交流を避けたい。こんな地域に子どもを住ませようとは思わない。（50歳代/女性）
- 役場職員の知恵と知識の向上（60歳代/男性）
- 道の駅の活用によるコンビニ等の設置。道の駅の運営方法、村に少しでも収益のあるやり方。（60歳代/男性）
- 行政にビジョン・目標がなく、動きが遅い。麻痺している。村民はそれぞれ努力して頑張っているが、行政が村全体の今の状況を把握していないので進まない。持続可能な目標は行政主導でべきだ。アンケートもいいが、村民の生の声を聞けば、村の実態が見えてくると思う。（60歳代/男性）
- 私は現在、村のごみ集積場にごみを出していません。相模原市の別宅から出しています。市では徹底したごみの分別をしており、それが習慣になっています。一番多いのは、何といてもプラごみで、分けると家庭の普通ごみは少ないです。独自のごみ処理施設が無いのですから、分別を更に進めてはどうかと思います。（60歳代/女性）
- 大雨になると川になる所にキャンプ客がごみを捨て困っています。キャンプ場の人に言っても掃除をしないので、近所の人達と拾い、分別して捨てている状況です。キャンプで出たごみはキャンプ場の方が有料にしてでも回収処分して欲しいです。美しい川を大切に。（60歳代/女性）
- 行政（役場）に対して。役場内に勤務している人達の考え方を見直してほしい。行政はサービス業であるということを忘れないでほしい。（60歳代/女性）
- 役場内の活性化に努め、職員ひとりひとりが与えられた仕事に専念することにより、村民が住みやすい村づくりにつながると思います。派閥に関係なく、村民一人ひとりの活力が生かせるような村づくり。村民が自由に発言できる場づくり。（60歳代/女性）
- コンビニがあればよい。（60歳代/女性）
- 未来の道志村が住み良い村になる事を願うばかりです。行政の方々頑張ってください。（60歳代/女性）
- 早くトンネルをつくってもらいたい。周辺市町村との往来が活性化されると思います。道志村⇄相模原・都留（トンネル）。なにしろ、人が集まらないと、発展しないんじゃないかな。（70歳以上/男性）

- 自然豊かな村、明るい村、やさしい村、若い人の意見を取り入れる。男。女。（70歳以上/男性）
- 住みやすい環境づくりをつくってもらいたい。コンビニを作ってもらいたい。（70歳以上/男性）
- 長田村政になってから、公約と思える事業は何一つ実現していません。選挙の度にトンネル問題だけが繰り返し掲げられますが、移住サテライト等の誘致はままならず、肝心の人口は減少傾向が早まっています。なぜなのか。行政がそれらの問題を村民に公表せず村民との「かたる会」を取りやめたので、その理由はわかりません。村民が何を考え、何を求めているのか行政の第一義は村民の暮らしであることを明確にすべきです。現村長はその責務を放棄しているように見受けられます。その上で今回のアンケート調査が結果を紙面で報告して終わりではなく、村民との対話によって活かしていただきたいと思います。報告会を行い、情報を収集し、じっくり検討してからたたき台を村民に再提示し、実現可能な方法を行うことを要望します。このままでは、道志村の未来はいばらの道です。（70歳以上/男性）
- 人口が増え、スーパー（コンビニでもいい）ができ、医療が更に充実し、村民が明るく元気に暮らし、長生きできる村になりますよう。ボランティアの皆様には頭が下がります。交通の便もよくなるといいですね。（70歳以上/男性）
- 生活道路の改良・通勤圏の確保。自然を生かした、桜の丘・頼朝等の観光名所作り（70歳以上/男性）
- 役場の皆様様の御苦勞に感謝して居ます。（70歳以上/男性）
- 美しい自然や景観を守るため、ごみひとつ落ちていない村を目指す。ポイ捨てや不法投棄が目立ちます。特にキャンプ場に続く道には、袋ごとのごみやたばこの吸い殻（まとめて捨ててある）、犬の糞が落ちています。キャンプに来る人たちのマナーを徹底してほしいです。（70歳以上/女性）
- 長男家族が村外に家を建てることが多くなっています。道志村に住めるよう、土地を見つけてもらいたいです。（70歳以上/女性）
- コロナ禍で外国に依存していると、食料や工業製品や医療に必要なものが入ってこない。とくに安心安全な食料は地産地消でやっていく、これが持続可能な社会へ大切。高齢化で耕作放棄地が増えている。担い手を増やすには補助金や住宅があれば村外の若い人も来るのではないのでしょうか。そのために協力隊など受け入れ、援助を。（70歳以上/女性）
- 年をとるにつれ、村のつきあいができなくなります。村の改善をお願いします。（彼岸）春秋各3日、計7日間ですが、皆さん仕事があつたりして、家をあける事ができないので大変なようです。3日間ぐらいにきめたらどうでしょうか。（70歳以上/女性）
- 交通の充実をはかり、個人で外出が自由にできるようになる事。また、外からも自由に来村できる事を願う。（70歳以上/女性）
- 若者が結婚後、村にとどまれるように、住所（アパート・戸建）の支援が必要かと思いません。（70歳以上/女性）

<居住地区無回答>

- 今の村政では、未来はないと思います。（40歳代/男性）
- 頑張って働いて納めた税金なので、無駄のないように使ってほしい。（40歳代/女性）
- 派閥、コネの存在にうんざり。（40歳代/女性）
- 小菅村や丹波山村のように、トップ自ら村のことを考えて行動にしてほしいです。（60歳代/女性）
- 45歳までの人が家を新築すると助成金があり、村外から道志に移り住んで村外に仕事に行っている人には交通費が助成され、もともと道志に住んでいる若者が結婚しても道志を出ていかないためにも何か考えてほしいと思います。今いる若者を大事にしてほしい。子供も大事だけど子供は今けっこう優遇されていると思います。（60歳代/女性）
- 役場側（公務員）に都合悪い話を村内で話して世論に訴えることはやめてもらいたい（守秘義務違反）（年齢無回答/男性）
- 小菅村、丹波山村を見習ってほしい。トップの意識改革が必要（無理かな）。役場のみなさん、少ない人数でがんばってくれてありがとう。自分をこわさないように、程々で取り組んでください。（年齢無回答/男性）
- 行政と村民に一体感がない。（年齢無回答/性別無回答）